



0017784000

0017784-000

328.611-Ko655k

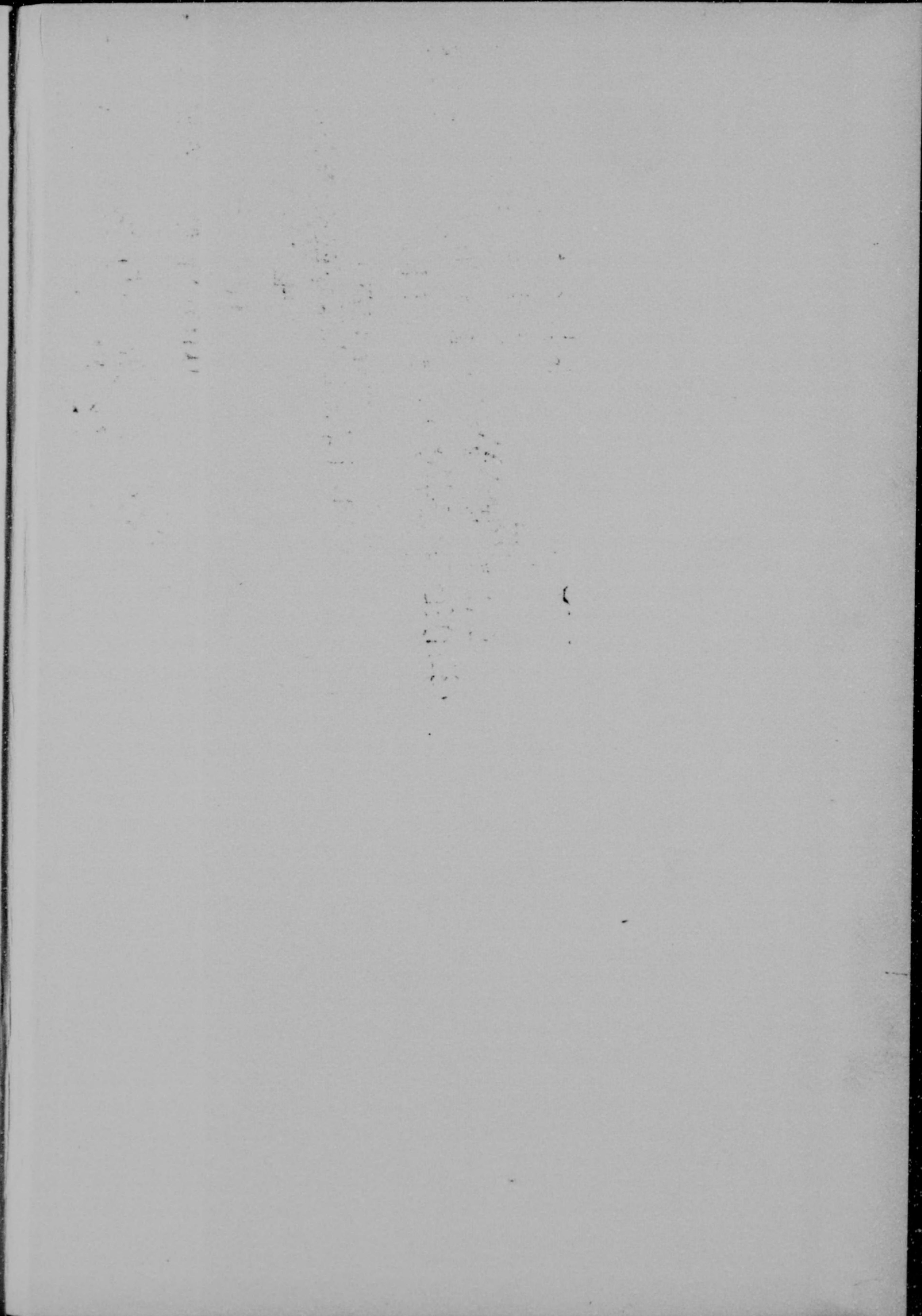
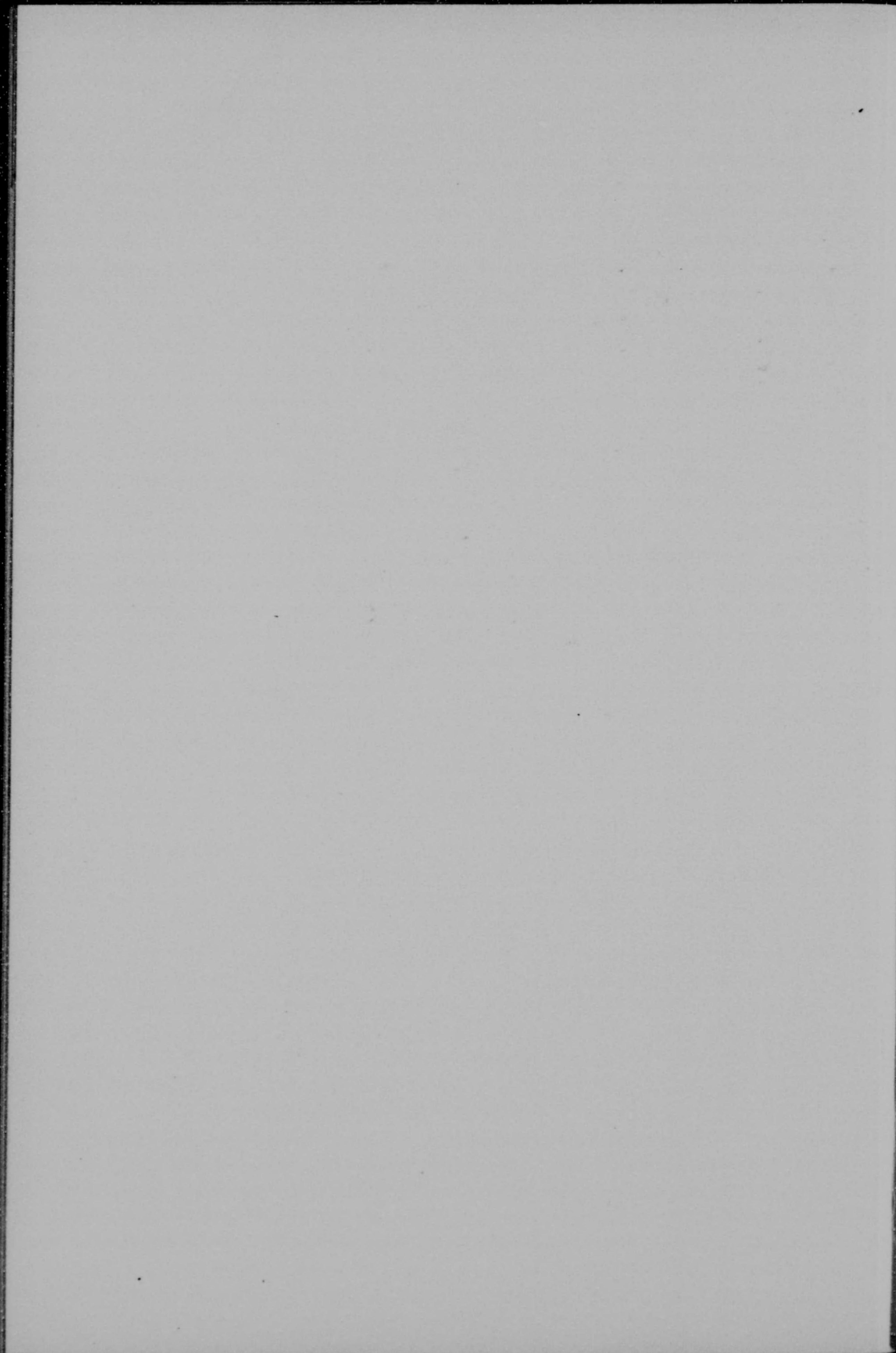
小作調査会議事録

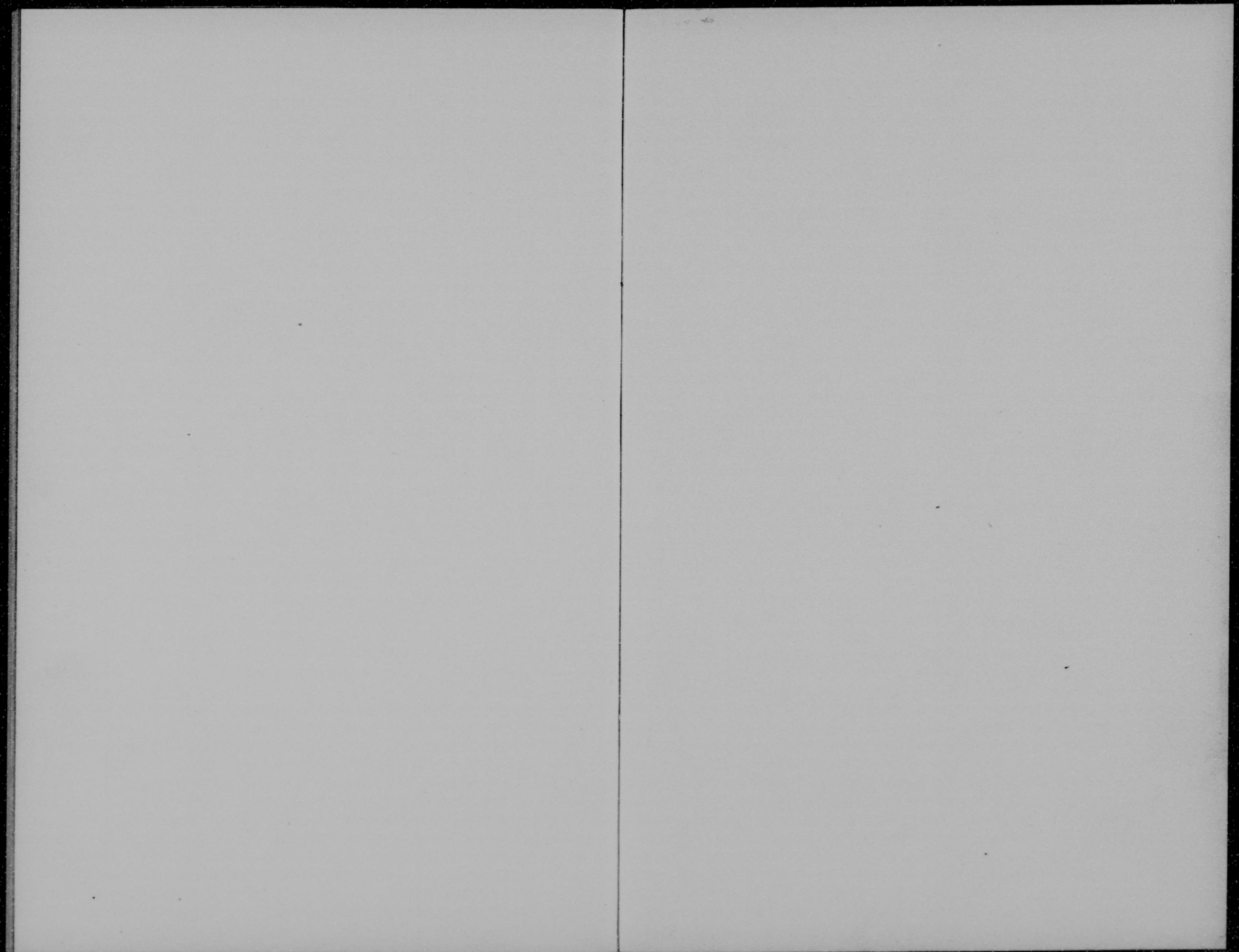
農林省農務局

其1-2

1928

ACI





52150

V2211

昭和三年五月

(換謄寫)

小作調查會總會議事錄

其一

(自作農地法案ニ關スル分)

農林省農務局

328.611
K0655A

(611.23)

頁	行	誤	正
一七	七	農地全庫	農地金庫
〃	一四	農債券	農地債券
三三	五	百五十分ノ一	二百五十分ノ一
五七	一四	居ルヨイ高イ	居ルヨリ高イ
七九	二	レンデンブリーフ	レンデンブリーフ
一一八	六	思モマス	思ヒマス
一三二	九	買ツ方ガ	買フ方ガ
一五〇	四	レンデンブリーフ	レンデンブリーフ
一八六	二	思モマス	思ヒマス

小作調査會第四、五回總會議事録

目次

- 一 小作調査會々長、委員、幹事及書記名簿……………一
- 二 第四回總會(第一日)議事速記録……………五
 - (一) 山本農林大臣ノ挨拶……………五
 - (二) 農林大臣ノ諮問事項(自作農地法案)……………八
 - (三) 松村農務局長ノ説明……………二
 - (四) 諮問事項ニ對スル質問應答……………三
- 三 第四回總會(第二日)議事速記録……………九七
 - (一) 諮問事項ニ對スル質問應答……………九七
 - (二) 特別委員指名……………一六八
- 四 第五回總會(第三日)議事速記録……………一六九
 - (一) 特別委員長ノ報告……………一七〇
 - (二) 答申ニ關スル審議……………一七六
 - (三) 答 申……………一七八

贈
寄
村上龜太郎 殿

704119

328.611
K065

(611.2

第一回總會	第一回總會	第一回總會	第一回總會
第二回總會	第二回總會	第二回總會	第二回總會
第三回總會	第三回總會	第三回總會	第三回總會
第四回總會	第四回總會	第四回總會	第四回總會
第五回總會	第五回總會	第五回總會	第五回總會



贈
寄
村上蒼太郎
殿

704119

小作調査會第四、五回總會議事録

目次

- 一 小作調査會々々長、委員、幹事及書記名簿……………一
- 二 第四回總會(第一日)議事速記録……………五
 - (一) 山本農林大臣ノ挨拶……………五
 - (二) 農林大臣ノ諮問事項(自作農地法案)……………八
 - (三) 松村農務局長ノ説明……………二
 - (四) 諮問事項ニ對スル質問應答……………三
- 三 第四回總會(第二日)議事速記録……………七
 - (一) 諮問事項ニ對スル質問應答……………七
 - (二) 特別委員指名……………一六
- 四 第五回總會(第三日)議事速記録……………一六
 - (一) 特別委員長ノ報告……………一七〇
 - (二) 答申ニ關スル審議……………一七六
 - (三) 答 申……………二二八

小作調査會第四回總會議事錄

一 小作調査會長、委員、幹事及書記名簿

會長		委員	
農林大臣	山本悌二郎	內務省地方局長	潮惠之輔
社會局長官	長岡隆一郎	司法省民事局長	池田寅二郎
農林政務次官	東	農林次官	阿部壽準
農林參與官	砂田重政	農林省農務局長	松村真一郎
正三位勳一等	淺田德則		

從四位勳一等 菅原通敬
 正三位勳一等 犬塚勝太郎
 從三位勳一等 小橋一太
 正四位勳二等 阪本鈺之助
 從四位勳三等 矢作榮藏
 正五位勳四等 佐藤寛次
 從五位勳五等 末弘嚴太郎
 正四位 伯爵 堀田正恒
 正五位勳三等 濱田國松
 從五位勳三等 齋藤珪次
 從四位勳三等 志村源太郎
 勳三等 鵜澤總明
 正五位 男爵 稻田昌植
 從四位勳四等 東郷實
 勳四等 齋藤隆夫

二

臨時委員

幹事

勳四等 小西和
 正六位 增田義一
 從六位 橋本傳左衛門
 從六位 那須皓
 岩田宙造
 氣賀勘重
 鹽澤昌貞
 內務省警保局長 山岡萬之助
 大藏省理財局長 富田勇太郎
 司法書記官 長島毅
 遞信省簡易保險局長 田邊隆二
 農事試驗場技師 安藤廣太郎
 從六位 岡田温

三

書記

農林書記官	小	平	權	一
農林事務官	重	政	誠	之
農林屬	八	卷	弘	馬
同	金	子	松	治
同	難	波	理	平
同	兩	角	信	也
農林省小作官補	夏	目	喜	好

(第一日)

開期 昭和二年十二月一日

場所 麴町區富士見町農林大臣官舎

出席者 山本會長

潮、長岡、池田、東、阿部、砂田、松村、
 淺田、菅原、犬塚、阪本、矢作、佐藤、末弘、

堀田、濱田、東郷、齋藤(隆)、増田、橋本、那須、
 岩田、氣賀、鹽澤、山岡、富田、長島、田邊、
 安藤、岡田ノ各委員
 小平、重政ノ各幹事

開會

- 一 大臣挨拶
- 二 大臣ノ諮問事項(自作農地法案)
- 三 農務局長説明
- 四 諮問事項ニ關スル質問應答

一 第四回總會(第一日)議事速記録

午前十一時 開議

○山本會長 ソレデハ開會致シマス、本日ハ自作農地創設維持ニ關スル案ニ付キマシテ御審議ヲ願ヒ
 タイト存ジマシテ、御集リヲ願ヒマシタ次第デゴザイマス

就テハ冒頭ニ一寸申上ゲテ置キマスガ、自作農地創設維持ニ關スル諮問案ハ御手許ニ差上ゲテアル筈デゴザイマスガ、實ハ大體此法案ニ付テハ其骨子サヘ極マリマスレバ豫算ヲ取ツテ置キマシテ、後トカラ本案ニ付キマシテハ政府ニ於テモ尙ホ研究ヲ重ネ、又此調査會ニモ諮ツテ成案ヲ得タイト考ヘテ居リマシタ、然ルニ豫算閣議ノ場合ニ於キマシテ、案ノ細カナ内容ノ所ニ付キマシテモ多少ノ意見ガアリマシタノデ、之ヲ解決シテ參リマスト、本豫算ヲ定メル日限迄ニ間ニ合ハナイヤウナ處ガアリマシタノデ、已ムヲ得ズ一時之ヲ本豫算カラ引外ヅシマシテ、ソレデ今回此案ニ付キマシテ御審議ヲ願フコトニナリマシタノデアリマス、ソレデ成案ヲ得マシタナラバ追加豫算ト共ニ來ル議會ニ提出シタイト考ヘテ居リマス

小作問題ハ御承知ノ通り近年著シク其重要ノ度ヲ加ヘテ參リマシタ、大正九年十一月以來之ニ關スル委員會ヲ設ケマシテ、之ガ對策ニ付テ審議ヲ致シタノデアリマスガ、其結果ハ小作調停法ノ制定ト云フコトノ結果ヲ得マシタ、又國費ヲ以テ助成スル自作農創設維持ト云フコトヲモ實行サレルコトニ相成ツタ次第デアリマス、又當時此委員會ニ於テ非常ニ御熱心ニ御審議御立案相成リマシタ小作法制定上規定スベキ事項ニ關スル要綱竝ニ舊慣永代小作整理要綱及小作法中永小作關係ニ關シ規定スベキ要綱、此等ニ付キマシテ御立案御審議ヲ願ヒマシタノデスガ、是ハ其實現ノ必要ナルコトハ申ス迄モ

ナイコトデアリマス、併ナガラ此小作法ノ制定ト申スコトハ私ガ申上グル迄モナク、其關係スル所ガ極メテ廣汎デアリマシテ、其影響スル所モ亦甚ダ大ナルモノガアルヤウニ考ヘマス、政府ニ於キマシテモ尙ホ世間ノ輿論モ更ニ參酌スル必要ガアリ、又各地方當局ノ意見ヲ徵スル必要モアリマスノデ、引續キ慎重ニ攻究ヲ重ネテ行キタイ、只是ガ今期ノ議會ニ提出スル迄ニ小作法ガ間ニ合ヒマスカドウカト云フコトハ申上ゲ兼ネル次第デアリマスガ、併シ斯様ナ譯デ重大ナ法案デアル丈ケニ、多少是ガ實行ノ遲延スルト云フコトモ亦已ムヲ得ザルコトデアリマスマイカト考ヘテ居ル次第デアリマス、此點ハドウカ宜シク御了承ヲ願ヒマス

儲此自作農地創設維持ニ付キマシテハ、既ニ簡易生命保險積立金ノ運用ト、ソレカラ政府ノ補助ニ依テ、只今迄各府縣ニ於ケル所ノ事業ヲ助成シテ居リマスノデ、其效果ハ極メテ良好デアルト思フノデアリマス、唯併ナガラ農村一般ノ之ニ對スル要望ハ極メテ熾烈デアリマシテ、只今迄ノ運用資金位ノ程度デハ到底自作農ノ創設維持ノ目的ノホソ一部ノ目的スラモ達シ得ラレナイヤウナ状態ニ在ルノデアリマス、ドウカ致シマシテ之ヲモウ少シ促進スル方法ハアルマイカト斯様ニ考ヘマシタ結果ガ、只今御手許ニ差上ゲマシタヤウナ施設ニ由リタイト、斯様ニ當局ハ考ヘタ次第デアリマス、此案ノ組立ノ骨子ハ御手許ニ廻ハシテアリマスモノニ依テ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、大體農地金庫

ト云フモノヲ設ケマシテ、農地債券ノ作用ニ依リテ、自作農地創設維持ノ目的ヲ達シタイト云フノガ其骨組デアリマス、今迄ノ型ト全然變ツタ型デアリマスガ、併ナガラ是ハ外國ニ於キマシテハ必ズシモ新シイ施設デハナイノデアリマシテ、之ニ類似ノ組立方ニ依テ既ニ相當ノ年月ノ間實行シテ相當ノ成績ヲ擧ゲテ居ル所モアルノデアリマス、左様ナ次第デアリマスカラ我國ニ於テハ今迄ニナイ新シイ施設デ、隨テ法制上其他ニ就テモ新シキ試ミヲシナケレバナラヌヤウナ次第デアリマス

ドウゾ此問題ノ解決ガ極メテ今日ノ國情ニ照シテ有要デアルト云フ御諒解ノ下ニ篤ト御審議アラシコトヲ希望致シマス——是ヨリ議事ノ進行ニ付テ御諮リ致シマスガ、御手許ニ廻ハシテアル法案ニ付キマシテ一應先ヅ當局カラ説明ヲ申上ゲマシテ、ソレカラ御質問ガアリマスレバ、之ニ對シテ御答ヲ申上ゲルコトニ致シテハ如何デアラウカト考ヘマス——御異議ガナケレバサウ云フ順序ニ致シマス

諮問事項

自作農地法案ニ對スル意見如何

説明

農村ノ現状ニ鑑ミルトキハ自作農ノ創設又ハ維持ハ最モ急務トスル所ニシテ政府ハ從來簡易生命

保險積立金ヲ運用シテ之カ施設ヲ爲シツ、アルモ其ノ規模小ニシテ甚タ徹底セサルノ憾アリ仍テ別冊自作農地法案ニ示スカ如キ制度ニ關シ小作調査會ノ意見ヲ徵セントス

自作農地法案

第一章 自作農地

第一條 自作農地ノ創設契約ハ土地所有者ガ自作ヲ爲スノ目的ヲ以テ土地ヲ取得セムトスル者（創設者）ニ對シ土地所有權ヲ移轉スルコトヲ約シ、農地金庫ハ土地所有者ニ對シ所有權移轉ノ對價トシテ農地債券ヲ交付スルコトヲ約シ且土地ヲ取得セムトスル者ハ農地金庫ニ對シ其ノ對價ニ相當スル金額ノ年賦支拂ヲ爲スコトヲ約スルニ因リテ其ノ效力ヲ生ズ

自作農地ノ維持契約ハ抵當權者又ハ質權者ガ現ニ自作ヲ爲ス土地ノ抵當權ヲ消滅セシメムトスル土地所有者（維持者）又ハ自作ヲ爲スノ目的ヲ以テ質權ヲ消滅セシメムトスル土地所有者（維持者）ノ爲ニ其ノ債權ヲ消滅セシムルコトヲ約シ、農地金庫ハ抵當權者又ハ質權者ニ對シ其ノ債權ノ消滅ノ對價トシテ農地債券ヲ交付スルコトヲ約シ且土地所有者ハ農地金庫ニ對シ其ノ對價ニ相當スル金額ノ年賦支拂ヲ爲スコトヲ約スルニ因リテ其ノ效力ヲ生ズ

第二條 農地金庫ハ前條ノ對價ニシテ農地債券ヲ以テ交付スルコトヲ得ザル十圓未滿ノ金額ハ現金ヲ

以テ之ヲ交付スルコトヲ得

第三條 第一條ノ年賦支拂ノ期間ハ一年以内ノ据置期間ノ外三十四年トシ年賦支拂金額ハ第一條ノ對價ヲ元本ト看做シテ利率年五分ニ依リ算出シタル金額タルコトヲ要ス

農地金庫ニ對シ年賦支拂ヲ爲ス者ハ命令ノ定ムル所ニ依ルニ非ザレバ期限前ニ未支拂年賦金ノ全部又ハ一部ノ支拂ヲ爲スコトヲ得ズ

第四條 創設又ハ維持セムトスル土地ノ價額及第一條第二項ノ債權ノ額ハ命令ノ定ムル制限ヲ超ユルコトヲ得ズ

第五條 創設者又ハ維持者ノ資格及創設又ハ維持セムトスル土地ノ制限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第六條 自作農地ノ創設又ハ維持ノ契約ニ依リ土地所有權ノ移轉又ハ債權ノ消滅アリタルトキハ農地金庫ハ年賦金債權ニ付其ノ土地ノ上ニ先取特權ヲ取得シ其ノ土地ハ自作農地トナルモノトス

前項ノ先取特權ハ他ノ權利ニ對シテ優先ノ效力ヲ有ス但シ國稅徵收法ニ依リ徵收スルコトヲ得ベキ請求權及共益費用不動産保存不動産工事ノ先取特權ニ後ル

第七條 北海道、府縣、市町村若ハ之ニ準ズベキモノ又ハ産業組合ヨリ資金ヲ借受ケ自作ヲ爲スノ目的ヲ以テ土地ヲ取得シ又ハ現ニ自作ヲ爲ス土地ノ抵當權ヲ消滅セシメ若ハ自作ヲ爲スノ目的ヲ以テ其ノ所有スル土地ノ質權ヲ消滅セシムル場合ニ於テ地方長官ノ認定ヲ受ケタルトキハ其ノ土地ハ自

作農地ト爲リタルモノト看做ス

地方長官ハ左ノ各號ニ該當スル場合ニ非ザレバ前項ノ認定ヲ爲スコトヲ得ズ

- 一 第四條及第五條ノ規定ニ依ル制限及資格ニ適合スルモノナルコト
- 二 前項ノ資金ノ償還方法ハ据置期間一年以内、償還期間三十四年以内、年賦償還金額ノ元本ニ對スル割合ハ百分ノ六・三三未滿ナルコト

第八條 自作農地ノ所有者ハ自作ヲ爲サズ、自作農地ニ永小作權、地上權、質權其ノ他自作ノ障礙トナルベキ權利若ハ抵當權ヲ設定シ又ハ自作農地ヲ貸付シ若ハ之ヲ讓渡スルコトヲ得ズ但シ命令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲シタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ場合ニ於テ第四條及第五條ノ規定ニ準ジ自作農地讓渡セラレタルトキハ其ノ讓受人ハ自作農地ニ關スル權利義務ヲ承繼ス

第九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農地金庫又ハ第七條ノ資金ノ貸付ヲ爲シタル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ自作農地ノ所有權ヲ取得スルコトヲ得

- 一 年賦支拂又ハ年賦償還ヲ怠リタルトキ
- 二 第四條又ハ第五條ニ規定スル制限又ハ資格ニ適合セザルトキ
- 三 前條第一項ノ規定ニ違反シタルトキ

四 前條第一項但書ノ規定ニ依リ自作農地ヲ讓渡セムトスルトキ

前項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テ農林大臣ハ農地金庫又ハ第七條ノ資金ノ貸付ヲ爲シタル者ニ自作農地ノ所有權ノ取得ヲ命ズルコトヲ得

第十三條及第十四條ノ規定ハ前二項ノ規定ニ依リ土地ヲ取得スル場合ニ之ヲ準用ス

第十條 自作農地ハ登記ヲ爲スニ非ザレバ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ自作農地ハ解消ス但シ第一號ノ期間ヲ延長シタルト

キハ其ノ延長シタル期間ヲ經過シタルトキ解消ス

一 年賦支拂又ハ年賦償還ノ期間ヲ經過シタルトキ

二 自作農地ノ讓渡(第八條第二項ノ場合ヲ除ク)アリタルトキ

三 第九條ノ規定ニ依ル自作農地ノ所有權ノ取得アリタルトキ

四 差押ニ因ル自作農地ノ處分アリタルトキ

五 自作農地ガ不可抗力ニ因リ荒地ト成リタル爲未支拂年賦金又ハ未償還年賦金ノ全部ノ免除アリタルトキ

第十二條 自作農地ノ創設若ハ維持又ハ其ノ讓渡ニ關スル證書ニハ印紙稅ヲ課セズ

第十三條 自作農地ニ關スル登記ニ付テハ登録稅ヲ課セズ

第十四條 自作農地ニ關スル所有權ノ取得ニ付テハ地方稅ヲ課スルコトヲ得ズ

第十五條 農地金庫又ハ第七條ノ資金ノ貸付ヲ爲シタル者ガ第九條ノ規定ニ依リ取得シタル土地ヲ自

作ヲ爲スノ目的ヲ以テ土地ヲ取得セムトスル者ニ讓渡シタル場合ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スルト

キハ自作農地ノ創設アリタルモノト看做ス

一 農地金庫ノ取得シタル土地ニ在リテハ第三條乃至第五條ノ制限及資格ニ適合スルトキ

二 第七條ノ資金ノ貸付ヲ爲シタル者ノ取得シタル土地ニ在リテハ地方長官ノ認定ヲ受ケタルトキ

第七條第二項ノ規定ハ前項第二號ノ認定ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第十六條 本章ノ規定ハ自作農地ト共ニ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ土地ニ附隨スル宅地ノ所有權ヲ取得シ又ハ其ノ抵當權若ハ質權ニ依リ擔保セラルル債權ヲ消滅セシムル場合ニ之ヲ準用ス

第二章 農地金庫

第一節 總 則

第十七條 農地金庫ハ法人トシ其ノ主タル事務所ヲ東京市ニ置ク

第十八條 農地金庫ノ設立ハ農林大臣ノ許可ヲ受クベシ

第十九條 農地金庫ノ存立期間ハ設立許可ノ日ヨリ七十年トス

第二十條 農地金庫ニ基金ヲ置ク

政府ハ農地金庫ノ基金ニ充ツル爲其ノ設立ノ時ヨリ十年間毎年五十萬圓ヲ醸出ス

基金ハ農林大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ農地金庫ノ事務費ニ充ツルノ外之ヲ使用スルコトヲ得ズ

第二十一條 農地金庫ハ農林大臣ノ認可ヲ受ケ從タル事務所ヲ設置スルコトヲ得

農林大臣必要ト認ムルトキハ農地金庫ニ對シ從タル事務所ノ設置ヲ命ズルコトヲ得

第二十二條 民法第四十五條、第四十六條第二項、第四十七條及第四十八條ノ規定ハ農地金庫ニ之ヲ準用ス

第二十三條 登記スベキ事項左ノ如シ

一 目的

二 名稱

三 事務所

四 設立ノ年月日

五 理事長、副理事長、理事及監事ノ氏名、住所

第二十四條 農地金庫ニハ所得稅ヲ課セズ

第二十五條 農地金庫第九條ノ規定ニ依リ取得シタル土地ヲ讓渡シ又ハ賃貸スル場合ニ於テハ之ニ關スル證書ニハ印紙稅ヲ課セズ

第二十六條 農地金庫ノ存立期間滿了後ノ殘務ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ處理ス

第二節 役員

第二十七條 農地金庫ニ理事長、副理事長、理事及監事ヲ置ク理事長及副理事長ハ各一人トス

第二十八條 理事長ハ農地金庫ヲ代表シ其ノ事務ヲ總理ス

理事長事故アルトキハ副理事長其ノ職務ヲ代理シ理事長缺員ノトキハ副理事長其ノ職務ヲ行フ

理事長及副理事長事故アルトキハ理事其ノ職務ヲ代理シ理事長及副理事長缺員ノトキハ理事其ノ職務ヲ行フ

務ヲ行フ

副理事長及理事ハ理事長ヲ補助シ農地金庫ノ業務ヲ掌理ス

從タル事務所ヲ設置シタル場合ニ於テハ理事長ハ其ノ從タル事務所ノ事務ニ付理事ヲシテ農地金庫

ヲ代表セシムルコトヲ得

監事ハ農地金庫ノ業務ヲ監査ス

第二十九條 理事長、副理事長、理事及監事ハ農林大臣之ヲ任命ス

理事長、副理事長及理事ノ任期ハ五年、監事ノ任期ハ三年トス

第三十條 農地金庫ニ評議員二十名以内ヲ置キ農林大臣之ヲ任命ス

評議員ハ名譽職トシ命令ノ定ムル所ニ依リ業務ニ關スル重要ナル事項ニ付理事長ノ諮問ニ應ズルモ

ノトス

評議員ノ任期ハ三年トス

第三節 業務

第三十一條 農地金庫ハ農地債券ノ發行、年賦金ノ取立其ノ他自作農地ノ創設又ハ維持ニ關スル業務ヲ行フモノトス

農地金庫ハ第九條ノ規定ニ依リ取得シタル土地ヲ讓渡シ又ハ貸貸スルコトヲ得

農地金庫自作農地ノ創設若ハ維持ノ契約ヲ爲シ又ハ前項ノ土地ヲ讓渡セムトスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

第三十二條 市町村ハ其ノ市町村内ニ居住スル農地金庫ノ債務者ヨリ年賦金其ノ他自作農地ノ創設又ハ維持ニ關スル債務ヲ取立テ其ノ取立金ヲ農地金庫ニ送付スルノ義務アルモノトス

農地金庫ハ前項ノ規定ニ依ル取立及送付ノ費用トシテ其ノ取立金額ノ二百五十分ノ一ニ相當スル金額ヲ其ノ市町村ニ交付スベシ

第三十三條 市町村ハ避クベカラザル災害ニ因リ既ニ取立タル金額ヲ失ヒタルトキハ其ノ事實ヲ證明シ農地金庫ニ取立金送付ノ義務免除ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ請求アリタルトキハ農地金庫ハ其ノ事實ヲ審査シ農林大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ免除ヲ爲スコト

ヲ得

第三十四條 前二條中町村トアルハ町村制ヲ施行セザル地ニ在リテハ町村ニ準ズベキモノトス

第三十五條 自作農地ガ不可抗力ニ因リ荒地ト成リタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ農地金庫ハ其ノ未支拂年賦金ノ全部又ハ一部ヲ免除スルコトヲ得

第三十六條 不可抗力ニ因リ自作農地ノ收穫著シク減少シ又ハ皆無ト爲リタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ農地金庫ハ未支拂年賦金ノ支拂方法ヲ變更スルコトヲ得

第三十七條 農地金庫ノ事業年度ハ毎年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第四節 農地債券

第三十八條 農地債券ハ毎年度八千萬圓ヲ限リ之ヲ發行スルコトヲ得

第三十九條 農地債券ハ交付ノ方法ニ依ルニ非ザレバ之ヲ發行スルコトヲ得ズ

第四十條 農地債券ハ券面金額ヲ十圓以上トシ無記名利札附トス但シ債券ノ交付ヲ受ケムトスル者又ハ其ノ所持人ノ請求ニ因リ之ヲ記名ト爲スコトヲ得

記名農地債券ハ其ノ所有者ノ請求ニ因リ之ヲ無記名ト爲スコトヲ得

第四十一條 記名農地債券ノ移轉ハ取得者ノ氏名ヲ農地債券原簿ニ記載シ且其ノ氏名ヲ債券ニ記載スルニ非ザレバ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第四十二條 農地債券ハ命令ノ定ムル所ニ依リ券面金額ヨリ低キ價額ヲ以テ之ヲ發行スルコトヲ得

第四十三條 農地債券ノ利率ハ年五分トシ其ノ元金ハ發行ノ日ヨリ一年以内据置キ爾後三十四年以内ニ之ヲ償還スルモノトス

第四十四條 農地債券ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載シ理事長之ニ記名捺印スベシ

一 名稱

二 番號

三 券面金額

四 利率

五 償還ノ方法及期限

第四十五條 理事長ハ主タル事務所ニ農地債券原簿ヲ備ヘ置クベシ

利害關係人ハ農地金庫ノ事務取扱時間内何時ニテモ農地債券原簿ノ閱覽ヲ求ムルコトヲ得

第四十六條 農地債券原簿ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

一 農地債券ノ總額

二 農地債券ノ數

三 各農地債券ノ番號、券面金額、償還期限及發行ノ年月日

記名農地債券ニ付テハ前項ノ事項ノ外權利者ノ氏名及記名ノ年月日ヲ記載スベシ

第四十七條 農地債券ヲ發行シタルトキハ理事長ハ二週間内ニ各事務所所在地ニ於テ左ニ掲グル事項ヲ登記スルコトヲ要ス其ノ事項中ニ變更ヲ生ジタルトキ亦同ジ

一 農地債券ノ總額

二 各農地債券ノ金額

第四十八條 農地金庫ハ少クトモ年賦支拂金高ニ應ジ毎年二回以上抽籤ヲ以テ農地債券ヲ償還スベシ

第四十九條 農地債券ノ利子ハ毎年二回命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ支拂フベシ

第五十條 農地債券ノ消滅時効ハ元金ニ在リテハ十五年、利子ニ在リテハ五年ヲ以テ完成ス

第五十一條 農地債券ノ模造ニ關シテハ通貨及證券模造取締法ヲ準用ス

第五十二條 農地債券ノ利子ニ對シテハ所得税ヲ課セズ

第五節 監督及補助

第五十三條 農地金庫ノ業務ハ農林大臣之ヲ監督ス

第五十四條 農地金庫業務規程ヲ定メ又ハ之ヲ變更セムトスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受クベシ

第五十五條 農林大臣ハ農地金庫監理官ヲ置キ農地金庫ノ業務ヲ監視セシム

第五十六條 農地金庫監理官ハ何時ニテモ農地金庫ノ業務及財産ノ狀況ヲ検査スルコトヲ得

農地金庫監理官ハ監視上必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ農地金庫ニ命ジテ業務上諸般ノ計算及狀況ヲ報告セシムルコトヲ得

第五十七條 農地債券ノ發行及年賦支拂金ノ取立ニ要スル費用並農地債券ヲ券面金額ヨリ低キ價額ヲ以テ發行シタルニ因リテ生ズル農地金庫ノ損失ハ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ政府之ヲ補給ス

第五十八條 第三十五條又ハ第三十六條ノ規定ニ依リ未支拂年賦金ノ全部若ハ一部ヲ免除シ又ハ支拂方法ヲ變更シタルニ因リテ生ズル農地金庫ノ損失ハ政府之ヲ補給ス

第五十九條 前二條ノ場合ヲ除クノ外農地金庫其ノ業務上受ケタル損失ヲ填補スルコト能ハザルトキハ政府之ヲ補給ス

第六節 罰 則

第六十條 左ノ場合ニ於テハ農地金庫ノ理事長、副理事長、理事又ハ監事ヲ百圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス

- 一 本法ニ規定セザル業務ヲ行ヒタルトキ
- 二 農林大臣ノ命令ニ違反シタルトキ
- 三 農林大臣ノ認可ヲ受クベキ場合ニ其ノ認可ヲ受ケザルトキ

第六十一條 非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前條ノ過料ニ之ヲ準用ス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

農林大臣ハ設立委員ヲ置キ農地金庫ノ設立ニ關スル一切ノ事務ヲ處理セシム

農地金庫設立ニ要スル費用ハ政府ノ負擔トス

農地金庫設立ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

農地金庫ニハ當分ノ内副理事長ヲ置カザルコトヲ得

本法施行前自作農創設維持補助規則ニ依ル補助金ノ交付ヲ受ケテ行フ施設ニ依リ所有權ヲ取得シ又ハ抵當債務ヲ消滅セシメタル土地ハ地方長官ノ認定ヲ受ケタルモノニ限り之ヲ第七條ノ規定ニ依ル自作農地ト看做ス

第七條第二項ノ規定ハ前項ノ認定ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

○松村農務局長 ソレデハ農林大臣カラ小作調査會ニ御諮問ニナリマシタ案ニ付キマシテ、其大要ヲ私カラ御説明申上ゲテ置キマス、今日御手許ニ議案ヲ漸ク差上ゲマシタヤウナ次第デアリマスノデ、甚ダ急速ノ際デ御一讀ノ邊モナイコト、存ジマスカラ、便宜上書類ヲ眺メナガラ大要丈ケヲ御説明申上ゲタ方ガ良カラウト思ヒマス

只今大臣カラ仰セノ如ク此自作農地創設維持ノ法案ノ骨子ハ、農地金庫ヲ作りマシテ、其仲介ニ依ツテ仕事ヲ致スト云フコトガ骨組ニナツテ居リマス、農地金庫ノ仲介ニ依テ自作農ノ創設維持ガドンナヤウナ具合ニ出來テ來ルカト云フコトヲ第一條ニ書イテ置キマシタ、從來ノ遣リ方デ申シマスト、土地ヲ持ツテ居ル地主ト、土地ヲ買ヒマス者——主トシテ小作人デアリマスガ——小作人トノ間ニ賣買契約ヲ締結スルノデアリマス、其際ニ買主タル小作人ハ土地ノ代金ヲ支拂フ程ノ金ガゴザイマセヌカラ、從來ハ簡易生命保險ノ積立金約一千萬圓ヲ地方ニ運用シテ居リマシテ、地方廳ガ之ヲ買主ニ融通致シ、買主タル小作人ハ此金ヲ地主ニ拂ツテ自分ガ自作農ニナル、斯ウ云フ形ニナツテ居リマシタ其現金ノ融通ガ只今ノ状態デハ餘リ多クヲ期待スルコトガ出來ナイノデアリマス、簡易保險ノ金ガ今日ヨリモ遙ニ多額ノ運用ガ出來マスレバ今ノ方法デモ宜シウゴザイマス、或ハ他ニ政府ノ方デ預金部カラ多額ノ金ヲ融通スルコトガ出來マスレバソレデモ宜シウゴザイマスガ、ソレガ出來マセヌ爲ニ地方ノ要望ニ應ズル丈ケノ資金ヲ得ルコトガ出來ナイ、其關係上農地金庫ガ仲介ニ在致シマシテ、自作農地創設スル場合ニ土地ノ賣主、買主及農地金庫ノ三人ノ當事者デ相談ヲシテヤルノデアリマス、地主ガ土地ヲ提供スル、小作人ガ買フ、農地金庫ガ仲介ニ入ツテ融通ヲ附ケル、三人デ相談ヲシテ、サウ云フ地價ノ土地ナラバ良カラウト云フコトヲ農地金庫ガ認メタ場合ニ於テ地主ノ方カラ土地ヲ提供スル、サウシテ買主ノ方カラハ代金ヲ直グニ拂フコトノ代リニ年賦デ金ヲ拂フ、斯ウ云フコトニナツテ

居リマス、若シ賣主ト買主トノ間ニ年賦デ土地ノ賣買契約ガ出來レバ、農地金庫ノ介在スル要ハナイノデアリマスガ、代金ヲ年賦デ濟シ崩シテ支拂フト云フ賣買契約ハ、地主ト小作人ダケデハ出來ナイ、併シ其代金ヲ年賦ノ濟シ崩シニセスト云フト小作人ハ所有權ヲ得ラレナイ、ソコデ農地金庫ガ仲介ニ入ツテ仲介スル、ドウ云フ仲介事務ヲ致スカト申シマスト、地主ハ土地ヲ提供シテ、從來デアレバ直グ金ヲ貰フ、其金ノ代リニ農地金庫カラ發行スル農地債券ヲ受取ル、サウシテ農地金庫ハ農地債券ヲ地主ノ方ニ渡シタ代リニ、其ノ農地債券ヲ後ニ現金ニ換ヘテ償還シテ行カナケレバナラス、其現金ヲ償還スル財源ノ方ヲ、新ラシク買主ニナツタ者カラ年々年賦ニテ返シテ貰フ、斯ウ云フコトニナル、ソレデ地主ハ直ニ所有權ヲ買主ニ移轉シテシマウ、買主ハ其代金ヲ年賦デ支拂フ、其年賦デ支拂フ金ヲ農地金庫ガ取次イデ受取ツテ置ク、其金ガ集マルニ從ツテ前ノ農地債券ヲ償還シテ參ル、斯ウ云フ形ニ出來テ居ル、結局現金ハゴザイマセヌガ、農地債券ニ依ツテ此賣買契約ヲ圓滑ニシヤウト云フ趣旨デ出來テ居リマスノガ第一條デアリマス、以上ハ自作農地ノ創設契約ノ説明デアリマスガ、尙第一條ニハ自作農地ノ維持契約ニ付テモ規定シテオリマス、自作ノ目的デ土地ヲ購入シ、其ノ代金支拂ノ爲其ノ土地ニ抵當權又ハ質權ヲ設定シテ資金ヲ借入レ其ノ債務ニ苦ンデ居ル者ニ對シ、農地金庫ガ仲介シテ其ノ抵當權又ハ質權ヲ消滅セシムルデアリマス、從來ノ補助施設デハ現金ノ支拂ヲ受ケテ抵當權又ハ質權ヲ消滅セシムル仕組デアルガ、本案デハ農地金庫カラ現金ヲ受ケル代リニ農地債券ヲ受取ツテ抵當權、質權ヲ消滅セシムルコトニナルノデアリマス、斯クシテ維持契約ガ成立スルト、自作農

地ヲ維持シタ者ハ以後年々年賦デ農地金庫ノ方ニ金ヲ支拂フ、結局創設ノ場合ト維持ノ場合トハ形ハ違ツテ居リマスガ、農地債券デ仲介スルコトハ同ジコトデアリマス、結局三人ノ當事者ガ寄ツテ一ツノ契約ヲスル、ソレガ趣旨デアリマス

ソレデ債券ハドノ位發行スルカト云フト、此計畫デハ第三十八條ニ書イテアリマス「農地債券ハ毎年度八千萬圓ヲ限り之ヲ發行スルコトヲ得」是ハ何故毎年總額八千萬圓ト云フトニ致シタカト申シマスト、今日簡易保險ノ方デ運用シテ居ル金ガ一千万圓、此金ト此農地債券ノ發行ニ依ツテ仲介ノ出來ル八千萬圓ト合セテ、全國ノ小作農地ガ現在二百八十七萬町歩アリマス、其二百八十萬町歩ノ約三割、ソレヲ三十五年間ニ自作農地ニシヤウト云フト目標ニシテ、八千萬圓ト云フト書イタ譯デアリマス

自作農地ノ創設ノ手續ハ先程申シタヤウニ致スノデアリマスガ、現在簡易保險ノ積立金ハ四分八厘デ地方ニ融通致シテ居ル、ソレニ對シテ國庫ノ方カラ一分三厘ノ補助ヲ農林省カラ致シテ居リマス、結局今ハ三分五厘ノ金ヲ買主ノ方ハ借りテ居ル、ソレデ今日ハ一年以内据置キ、二十四年デ返ヘス、結局二十五年デ返スコトニナツテ居ル、所ガ農地債券ノ方ハ三十五年デ返スコトニナツテ居リマスガ、其意味ハ結局小作人ガ地主ニナリマシテ、サウシテ年々償還スル金高ハ、現在ノ小作料ヨリモ高クナツテハ困ル、小作料以内ニ止メル、斯ウ云フ趣旨デ此案ガ出來テ居ル、結局小作人ハ小作ノ場合ニ較ベテ經濟狀態ニ於テハ苦痛ヲ餘計ニ負擔シナイト云フト目標ニナツテ居ル關係上、小作料以内ノ

金ヲ年々二十五年ナリ三十五年ナリ拂ツテ居ルト、年限ガ經過スレバ何等小作料ヲ拂ハナイ地主ニナツテシマフ、自然ノ間ニ地主ニナツテシマウト云フトコトニナツテ居ル、片方ハ三分五厘ノ利デアルガ故ニ二十五年デ宜シイガ、是ハ五分ノ利ニ致シテ居ルカラ三十五年掛カルケレドモ、小作人ノ經濟上ノ苦痛ハ此案ト簡易保險ノ間ニハ差ハナイ、唯利息ガ違ツテ居ル關係上年限ガ長イ、斯ウ云フノデアリマス、ソレデ利子ハ農地債券ノ方モ五分、ソレカラ新シク地主ニナル農民ノ年賦金モ五分ニナツテ居リマシテ、結局五分ノ農地債券ノ償還ヲ五分ノ利息デ片方ノ者カラ金ヲ返シテ來ル、其金デ農地債券ヲ償却スル、斯ウ云フ形ニナツテ居リマス、農地債券ノ五分ノ利ハ、大體有價證券ノ普通ノ利率ハ五分位ナ見當ニシテ宜クハナイカト云フヤウナコトデ五分ニ致シテ居ルノデ、結局地主ハ土地ヲ提供シテ得タ所ノ現金ニ代フルニ農地債券ヲ受取ルノデアリマスカラ、是ハ世間並ノ債券ヲ受取ツタ形ニシテアルノデアリマス、利息ノ關係ニ於テハ矢張同ジ五分ニナツテ居リマスケレドモ、要點ハ小作人ノ小作料以内デアルト云フト目標ニシテ、其關係カラ眺メタモノト五分トガ略々相匹敵スルト云フノデ、五分ト云フトニ歸着致ス次第デアリマス

ソレデ自作農創設維持ヲ致スニ付テノ一番ムツカシイ問題ハ土地ノ價ノ問題デアリマス、土地ヲ新シク求メタ場合ニ其土地ヲ取得シタ小作農ガ、農業ヲ健全ニ經營シテ行クカドウカ、此點ガ非常ニ重大デアル、ソレハ第四條ニ創設又ハ維持セムトスル土地ノ價格ハ命令ノ定ムル制限ヲ超ユルコトヲ得ズト云フトニ書イテゴザイマス、是ハ結局自作農ニナツテ引續キ自作ヲ營ンデ行クコトノ出來ルヤ

ウニ、サウシテソコニ苦痛が生ジナイヤウニト云フコトヲ目標ニシテ居ル結果、土地ノ値段が高イ場合ニ於キマシテハ五分ノ利廻テハ逆モ小作農トシテノ現在ノ小作料デハ納マラナイ、サウ云フ譯ニナル、現在ノ小作料デ納マルヤウニ、サウシテソレヲ五分デ眺メテ見テモ、元金トナル所ノ土地ノ價ガ小作人ニハ苦痛ニナラナイト云フコトヲ、逆ニ考ヘタ値段ヲ目標ニ致シテ居ル譯デアリマスカラ、土地ノ方ガ先ニ決マリマシテ、ソレカラ利率ガ決マルノデナイ、利率即チ小作料ノ方面カラ見テ、逆ニ土地ノ價格ハ此位デナケレバ農家トシテ維持ガ出來ナイト考ヘル意味ニ於テ、特ニ命令デ定ムルコトニシテ居リマシテ充分ニ價格ニ付テハ考慮致スノデアリマス、又世間ニ色々土地ヲ騰貴セシムルコトハナイカ、色々ノ問題ガ第四條ノ運用ニ依ツテ生レテ來ル譯デアリマス、從來ヤツテ居リマスノハ、審議會ト云フモノヲ各府縣ニ作ツテ居リマシテ、是ガ充分研究シタ結果、是デ適當デアルト云フコトヲ認メテカラ承認シテ、賣買契約ヲ登記セシムル譯デアリマス、其ノ遣り方ト今度ノ遣り方ト別ニ變ツタノデナイ、新シク地主ニナル者ガ自作農トシテ長ク堅實ニ維持シ得ルカドウカト云フコトヲ要點トシテ、地價ヲ考ヘルコトニナツテ居リマス

モウ一ツ重要ナ點ハ創設者維持者ニナル者ヲドウ云フ風ニ致シタヲ宜イカト云フ點デアリマシテ、從來ハ矢張現ニ農業ヲ營ンデ居ル者ヲ目標ニ致シテ居ル、主トシテ矢張小作人ヲ考ヘテ居ル、長ク農業ニ從事シテ居リ、引續キ農業ニ從事シ得ル者ヲ要點ニ致シテ居ルノデ、最モ堅實ナ人、信用ノ置ケ

ル人、眞面目ナ人デナケレバナラヌト云フコトハ、資格ヲ定メル上ニ於テ充分ニ考慮スル、ソレハ第五條ニ書イテアリマス「創設者又ハ維持者ノ資格及創設又ハ維持セムトスル土地ノ制限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム」土地ノ制限ト申シマスノハ、元來大キナ自作農ヲ作ル目的デヤナイノデ、凡ソ一人是レダケノ地價ニ相當スル地面ヲ持テバ宜カラウト云フコトヲ標準ニシテ居リマス、從來ハ土地ノ購買價格四千圓ノ範圍内ノモノナラバ認メルト云フコトデヤツテ居リマス、大體其標準ハ動カサナイ、四千圓ト云フノハ自分ノ今持ツテ居ルモノト新シク取得スルモノト合計シテ四千圓ト見テ居ル、ソレ以上ノモノハ斯ウ云フヤウナ施設デオ世話スルノデヤナイ、只今申シマシタ如ク要點ハ自作農地ヲ創設シテ之ヲ維持セシメテ行ク所ニ在ルノデアリマシテ、農業ノ經營ノ方面カラ申シマス、人ノ土地ヲ借りテ耕作スル者ヨリモ自分ノ土地ヲ耕作スル者ノ方ガ力ガ這入ル、卑近ノ例ヲ申シマス一段歩當リノ收穫高ヲ各地ノ標準調査ヲ致シマシタガ、最近ノ調査デハ一斗八升ノ增收ガ小作農地ヨリモ自作農地ニアツタノデアリマスカラ、日本全體カラ申シマス自作農地ノ方ガ大變ナ収益ヲ得ル譯デアリマス、サウ云フヤウナ利益ヲ擧グル上カラ申シマシテモ、健實ナル自作農地ヲ長ク維持スルコトガ必要デアルト云フノデ、小規模經營デ出來ル丈ケ作ラセル、斯ウ云フ趣旨デ之ヲ眺メテ居ル譯デアリマス

サウシテ只今申シマシタ如ク永ク自作農地トシテ維持セシムル關係上、自作農ガ小作ニ落ちテ行クコトノナイヤウニスル心配カラ第八條ガ設ケラレタノデアリマス、折角自作ニナツタ以上ハ、自作ヲ

續ケテ貫ハナケレバナラス、止メテハ困ル、又ソレヲ小作ニ出シテモ困ルノデ、引續キ自作ヲサセルコトヲ、法律ハ要望シテ居リマス、ソレカラ自作ノ障礙ニナルヤウナコトヲシテ貫ツテハ困ル、自作農地ノ上ニ、永小作權、地上權其他自作ノ障礙トナルベキ權利、若クハ質權、抵當權ヲ設定スルコトハ止メテ貫ヒタイ、永ク土地ノ占有ガ外ニ移ツテシマウヤウナ状態ノ權利ヲ設定スルコトハ止メテ貫ヒタイ、又自作ヲシテ貫ヒタイト云フ關係カラ貸借ノ關係ノ小作ヲヤツテ、自分ハ地主トシテ居ルコトハ困ルト云フ意味合ヲ含ンデ居リマス、サウ云フ譯デアリマスカラ自作農トシテ自作ヲ續ケテ貫ヒタイ、根本的ニ其土地ヲ讓ツテシマウコトハ困ル、讓ツテシマウト自作農ガ無クナリマスカラ、一定ノ間ハ自作ヲ續ケテ行ツテ、農業ヲ勤勉ニ働イテ貫ヒタイト云フ希望ヲ第八條ニ書イタノデアリマス、併ナガラ之ヲ何時迄モ杓子定規ニ續ケルコトハ、不動産ノ不融通ト云フ問題モ起リマスカラ、命令デ別段ノ定メヲシタ場合ハ崩シテ行クノモ差支ナイ、一例ヲ申シマスレバ一定年間經過後未支拂年賦金ノ全部ヲ期限前ニ償還シタル場合、其ノ他自作農地ノ取得者ガ兵役、疾病、移住其ノ他自作ヲ爲スコト能ハザル場合ニ於テ農地金庫ガ承認スル場合等ニ於テハ其ノ土地ヲ讓渡シ又ハ一時自作ヲ廢止スルコトガ出來ルコトニ致シテオリマス、結局自作ヲ續ケテ貫ヒタイ、自作カラ落テテ行クコトガナイヤウニシテ貫ヒタイト云フコトヲ希望シテ居ルノデアリマス

ソレデ新ラシク地主ニナリマシタ者ガ、年賦償還ノ義務ヲ終リマス迄ノ間ハ、其ノ農地ガ「自作農地」ト云フ或ル身分ヲ持ツタ土地ガ産レテ來ルヤウナ具合ニ眺メテ居リマス、其ノ關係上、色々登記ノ問題モ起ツテ參リマス、其事ヲ第十條ニ書イテアリマス、尙ホ登記ヲシマシテ「自作農地」ト云フ土地ノ一種ノ身分ガ確定スル結果、適當ノ時期ニ其身分ガ消エルコトガ必要デアリマスカラ、年賦ガ終ツタ時ニ自作農地トシテハ消エテシマウ、結局自由ニ移轉スルコトモ處分スルコトモ出來ルヤウニナルノデアリマス

只今申シマシタ如ク自作農地ニ就テハ、此ノ法案トシテハ成ベク土地ヲ持ツテ居ツテ貫ヒタイ、自作ヲシテ貫ヒタイト云フコトヲ要求シテ居リマス、其ノ半面ニ於テ何等カ保護シナケレバナラスコトニナツテ來ル譯デス、其保護トシテ考慮スベキ問題ハ、地租ノ問題デアリマス、現ニ自作農獎勵ノ趣旨ニ於テ、地價二百圓以下ノモノハ地租ノ免除ヲ致シテ居リマス、此自作農地法案中ニ、初メ其ノ規定モ考慮致シマシタガ、大體地價二百圓ガ從來ノ慣例ニ依リマスルト、略々一町歩ニ近イ地積ニナリマス、私共ノ考デ恰度四千圓ハ略々一町歩ヲ目標ニシテ居リマス、ソレカラ地價二百圓ハ九段幾ラニナリマス、略々同ジ所ニナリマス、現在モ一方ニ地租免除二百圓以下ト云フコトガアレバ、茲ニ條文的ニ纏メルコトハシナクトモ、大體目的ヲ達シテ居ルノデ、地租ノ免除ノ條項ヲ法案中ニ入レナカッタノデアリマス、印紙稅ノ免除ハ第十二條ニ書イテアリマス、登録稅ノ免除ハ第十三條ニ書イテアリマス、是ハ從來政府ノ補助ヲ得テ居ルモノハ免除ヲシテ居リマスカラ、ソレト同ジコトニシタノデアリマス、ソレカラ第十四條ハ、自作農地ニ關スル所有權ノ取得ニ就テ地方稅ヲ課スルコトヲ得ズト規定致シマシタ、是ハ瞬間的ノ問題デアリマスカラ、課サナイコトニシテ居リマス、現在ニ於テハ此外

ノ地方税ヲ課シテ居ラナイモノガアリマスガ、併シソレハ法律ニソコマデ要求ヲ致サナイデ地方ニ委カシテ置イテ、税法ニ付テノ保護ノコトハ其程度ニ止メテ置イタノデアリマス、大體只今申シマシタヤウナ具合デ、自作農地ヲ創設維持シテ參ルノガ此仕事ノ根柢ニナツテ居リマス

農地金庫ノ組織ハドウデアるかト云ワト、第十七條以下ニ規定シテゴザイマス、農地金庫ハ仲介ノ世話ヲ致スニ止マリマスガ、成ルベク事務ヲ簡單ニスルト同時ニ、國家ノ要望シテ居ル自作農地創設維持ノ仕事ヲ、仲介立ツテヤルノデアリマスカラ、成ルダケ仲介機關ニ面倒ヲ懸ケナイデヤル、成ルダケ國ノ方デ世話ガ出來ルナラバスルト云フ趣旨デ、農地金庫ヲ作ツタ譯デアリマス、農地金庫ト云フ法人ヲ作りマシテ、是ガ仲介ノ事務ヲ執ル爲ニ一ツノ人格者ト致シマシタ、先程申シマシタ如ク、農地ノ賣却、ソレト購入トノ間ニ介在スルノデアリマスカラ、法律上人格者ト認メテ、農地金庫ヲシテ、其ノ事務ヲ人格者ノ資格ニ於テヤラセルノデアリマス、ソレカラ此ノ農地金庫ノ活動ノ基金ヲ第二十條ニ規定致シマシタ、此ノ基金ハ普通ノ會社ナドノ資本金ト其意味ヲ異ニシテ居リマス、資本金ハ出資ヲ何時迄モ維持シナケレバナラス、缺如スレバ缺損トシテ次ノ營業年度デ填補シナケレバナラスノデアリマスガ、農地金庫ノ場合ニ於テハ、サウ云フ金ヲ維持シテ置ク必要ハ、經營上恐ラクナイノデアリマス、一方ニ於テ買主ノ方カラ金ヲ納メテ來ルト、ソレヲ賣主ノ農地債券ノ償還ニ充テルノデアリマスカラ、農地債券ノ利率ノ關係、ソレカラ買主カラ提供致シマス年賦金ノ利率ノ關係、サウ云フ所

ニ色々ノ工夫ヲ加ヘマス場合ニ於テハ、一文モ金ガ要ラナイ、場合ニ依ツテハ儲カリ得ルノデアリマスカラ、元來資本金ハ要ラナイノデアリマス、ソレデ其ノ意味ノ資本金デナク、茲ニ基金ヲ置イテ、其ノ基金ニ依ツテ事業ノ經營ヲヤツテ行カウ、事業ノ經營費ダケヲ置イテ、其ノ金ヲ十年間毎年五十萬圓ヅ、繰出シテ、此ノ金ヲ濟シ崩シニ使ツテ、農地金庫ノ存續期間中此ノ基金ヲ事務費ノ財源ニ充ツル譯デアリマス、ソレハ二十條ノ末項ニ書イテアリマス「基金ハ農林大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ農地金庫ノ事務費ニ充ツルノ外之ヲ使用スルコトヲ得ズ」、事務費ニ充ツル爲ニ是ダケノモノデ七十年間ヤツテ行クノデアリマス、認可ヲ受ケレバ外ノモノニ使ツテモ宜イト云フコトハ、自作農地ノ取得者ガ年賦償還ヲ怠ツタ場合等ニ於テ其ノ土地ヲ農地金庫ガ取得スル場合モ起ツテ參リマスカラ、其ノ場合ニ金ヲ運用スルコトガアルカ知レマセヌ

農地債券ノ償還ハ大體三十五年デアリマスカラ、今カラ三十五年ヲ目標トシテ續ケテ行クト云フコトニナリマスノデ、三十五年ニ契約ノ出來タモノハ、此ノ先キ三十五年續ク結果、農地金庫ノ存續期間ヲ七十年ト致シタノデアリマス、サウシテ農地金庫ノ組織ハ財團的ノモノデアリマシテ、政府ヨリ或程度ノ補助ヲ爲シ、サウシテ事業ノ出來テ行クヤウニ財政上ノ援助ヲ與ヘテ、其ノ財産ヲ基礎トシテ農地金庫ハ活動シテ行クノデアリマス、活動スルニ付テハ普通ノ財團ニ役員ガアルト同ジ意味ニ於テ、農地金庫ニモ役員ガアルノデアリマス、二十七條ニ理事長、副理事長、理事、監事ノ役員ヲ置ク

コトヲ規定シテアリマス、サウシテ之ニ二十人以内ノ評議員ヲ置キマシテ、農地金庫ノ事務ノ重要ナルコトハ相談スルト云フコトニナツテ居リマス、ソレハ三十條ニ規定ガアリマス、大體ニ於テ其ノ立テ方ハ從來ノ法人ノ例ヲ眺メマス、産業組合中央金庫ニ略ボ組織ハ似テ居リマスガ、併ナガラ其ノ法人ノ基礎ガ社團法人デハナイ、財團的ノ基礎ニ必要ナル金ヲ政府デ出シテ、ソレヲ基トシテ働ク、公益法人ノ本質ヲ持ツテ居ル所ノモノデアリマス

次ニ業務ノ大體ヲ申シマス、ソレハ三十一條ニ規定シテアリマスガ、先程申シマシタ如ク一方ニ於テ農地債券ヲ發行スル、併シ此發行ハ全然市場ニ發行シナイ、金ノ代リニ債券ヲ渡ス所謂交付發行デアリマス、土地ノ賣主ニ渡シテ、ソレガ期限ガ參ツタ場合ニ償還スル、斯ウ云フ形デ進ンデ居リマス、其都度其都度ニ渡シテ參ツテ、サウシテ一方ニ於テ之ガ償還ニ當テマス爲ニ年賦金ノ取立ト云フコトガアル譯デアリマス、尙其ノ外ニ已ムヲ得ズシテ取得シタル土地ヲ讓渡シタリ賃貸シタリスルコトモアリマス、併ナガラ土地ヲ取得スルト云フコトハ農地金庫トシテハ極メテ例外ノ場合デアリマシテ、斯ウ云フ事例ハ餘リ起サナイト考ヘテ居ル、從來ノ實績カラ徴シテモ初メノ創定ノ際ニ非常ニ慎重ニ考慮致シテ、是ハ大丈夫ダト思フ人間ニ大丈夫ト思フ金額シカ認メナイ、ソレデ斯ウ云フ事例ガ起ルコトハ先ヅナイト考ヘテ居ル次第デアリマス、サウシテ元來此仕事ニ一番面倒ノモノハ年々ノ年賦金ノ取立デアリマス、此年賦金ノ取立ハ農地金庫ガ全國ニ支店ヲ置ク譯ニモ參リマセヌ、或ハ郵

便局ニ此事務ヲ助ケテ貰フコトガ出來レバ大變便宜デアリマスケレドモ、遞信官署トノ關係ガ色々ムヅカシイコトモアルヤウデアリマスカラ、市町村ニ取立テ、貰フ、ソレニ對シテハ相當ノ手数料ヲ出ス、普通ノ法人ノ事務ヲ中央官廳ナリ地方官廳ナリガ委任ヲ受ケテスルト云フ事例ガ随分アリマスカラ、サウ云フ事例ヲ考ヘマシテヤラウト思ツテ居リマス、餘リムヅカシイ問題ヂヤナイ、其日々々取立テ、ソレニ百五十分ノ一ノ手数料ヲ出シテ行ク、元來ガ市町村ノ堅實ナル發展ヲ目標トシテ出來テ居ル自作農地ノ創設維持デアリマスカラ、ソレヲ助ケテ貰フコトモ無理デハナイト思ヒマス、ソウシテ市町村ガ取立タ金額ヲ避クベカラザル災害ニ因ツテ失ツタ場合ノ市町村ノ義務ノ免除ノコトヲ定メテ置キマシタ

其外色々年賦支拂ノ途中ニ於キマシテ或ハ農地ガ不可抗力ニ依ツテ荒地ニナツタリスル被害ノ場合ニ、相當ニ年賦金ヲ免除スルコトニ致シテ居ル譯デアリマス、元來普通ノ債權債務ノ關係デ參リマスト、一旦年賦金ヲ定メタ以上ハ、ドンナ事ニナラウトモ年賦金ノ免除ハ致サナイ、金錢ノ貸借トシテハ當然サウナルノデアリマスガ、農地金庫ハサウ云フ慘酷ナ態度ハ執ツテ居ラナイ、土地ガ全然駄目ニナツタ場合ハソレカラ先キハ免除スルト云フコトデ、結局自己ノ責任デナク不幸ニ遭遇シタ耕作者ニ對シテハ年賦金ヲ免除スル、尙ホ收穫ノ減少スル場合、皆無ニナル場合ハ其支拂金額ヲ減少スルト云フコトモ考ヘテ居ル譯デアリマス、斯ウ云フ點ハ單純ナル金錢ヲ貸シテ置キマスノトハ全然態度ガ違ツテ居ル、元々趣旨ガ仲介スルコト、同時ニ小作農ヲ保護シテ行キタイト云フ趣旨デアリマスカラ、

土地ヲ提供シタ地主トノ關係ハ最初ノ一回ト償還スル場合トデ、別ニ深くハアリマセヌケレドモ、小作人カラ新ラシイ地主トナル者ニ對シテハ、何時マデモ密接ナ關係ヲ持ツテ居リマスノデ、其ノ方ヲ非常ニ重ク眺メテ居ル次第デアリマス

ソレデ償還方法ハ年一回又ハ二回ニ致シマシテ、元利ヲ纏メターツノ金額ヲ年一回又ハ二回ニ農地金庫ニ納メテ來ル、其ノ金額ガ年二回纏メレバ相當ニ溜マル、ソレヲ抽籤償還デ返シテ行クト云フコトニ致シテ居ル、三十五年ノ農地債券デアリマスカラ、三十五年ノ後デナケレバ償還シナイト云フヤウナ、窮屈ナモノニスルコトハドウカト思ヒマシテ、据置ヲ一年以内ニシテ、其後三十五年ノ間ニ於テ抽籤償還ヲ年ニ二度宛ヤツテ行ク、結局是ハ農地債券ノ價格ヲ相當ニ維持致シマセヌト、農地債券ヲ買ツタ土地提供者ニ對シテモ損害ヲ掛ケルコトニナリマスカラ、極ク公平ナ値段デ賣買ガ締結サレテ居ル場合ニ於テハ、其ノ得タ債券ハ相當ノ價值ヲ維持スルコトヲ期待スル、而シテ是ハ農地金庫ノ爲スベキ義務デアラウト思ヒマスカラ、出來ルダケ返済ハ確實ニスルト云フノデアリマス

只今申シタ所ヲ大體ノ骨子ニ致シテ居リマスガ、結局農地金庫ヲ國トシテドウ云フ程度ニ眺メテ參ルカト云フコトガ要點ニナリマス、之ヲ極端ニ申スト全然政府ガ何等金ヲ出サナイテ經營シテ行ク、サウシテ農地金庫モ樂ニ行クヤウニシヤウト云フコトニ付テモ色々ノ案ヲ考ヘマシタ、例ヘバ農地債券ノ方ノ利息ヲ四分八厘ニ致シマシテ、サウシテ額面デ交付スルコトニスレバ大變ナ金ガ出テ來ル、然シ此ノ案デハサウ云フコトハ致シテ居リマセメ、此ノ案ノ立方ハ農地金庫ガ債券ヲ渡ス場合ニ額面

デハ渡サナイ、土地ノ賣買價格ガ四千圓デアアルノニ、農地債券ヲ額面ノ四千圓デ渡スト云フコトデアルト、是ハ政府ガ色々ノ恩賞ノ場合ニ御交付ニナル公債ト雖モ、矢張額面デ渡シテ居ラレナイ、必ズ九十六圓ナリ額面以下デ割引シテ交付サレテ居ル、國ト雖モサウ云フコトヲシテ居ラレル、農地金庫ガ金ノ代リニ債券ヲ渡ス場合ニ、額面デ渡スコトハドウカト云フ意味ニ於テ、割引發行スルコトヲ得ル規定ガアリマスカラ、ソレデ額面ヨリ低イ價格ヲ以テ發行スルコトヲ得ト書イテアリマスカラ、額面デ渡スコトモ出來マスケレドモ、考ハ矢張割引デ發行シタガ宜カラウト云フ頭デ進ンデ居リマス、若シ只今申シマシタ如ク五分ノ額面デ渡ス場合ニ於テハ、ソレダケハ國庫ノ負擔ハ要ラヌシ、サウシテ農地金庫ハ損スルコトハナイケレドモ、ソレニ對シテ弊害ヲ考ヘナケレバナラヌノハ、結局土地ハ四千圓ト云フコトデアアルナラバ、金ガ四千圓貫ヘル等ノ所ヲ、若シ額面デ渡シタ場合ニハ、額面ト實價トノ開キ丈ケハ土地ノ値段ヲ高クシテ置カナケレバ、地主ガ手離スコトヲシナイ、結局自作農創設ノ第一歩ニ故障ヲ來ス、矢張無理ノナイコトヲシナケレバナラヌ、現ニ一方ニ於テ簡易保險ハ現金ヲ交付シテ居ルノニ、コチラデハ債券ヲ交付スル場合ニ現金ト同ジ値段トシテ渡スコトニナレバ大變無理ナコトニナルカラ其ノ意味ニ於テ債券ノ額面交付ハ見合ハス、ソコデ國ハソレダケノ部分ヲ補給シナケレバナラヌ、所ガ其ノ補給ヲモヤメルコトニナレバ、先程申シタ如ク農地債券ニ對スル利息ヲ低クスル、今五分ノ利息ヲ拂フニ付テ之ヲ四分八厘ニスレバ二厘出テ來ル、サウ云フ計算モヤツテ居リマスガ、サウヤレバ國ハ少シモ補償スル必要ハナイ、ケレドモ補償ノ必要ノナイコトニスルニハ、四

分入厘ノ債券ヲ出サナケレバナラヌコトニナル、尙ホ之ヲ逆ニ考ヘテ土地ヲ取得シタモノノ支拂フ年賦ノ利子ヲ五分ヨリモ少シ高クスレバ國庫ノ補給ガ減リ或ハ其ノ必要ガナクナルデアリマセウ、ソレハ勸業銀行ナリ農工銀行ナリノ金ヲ融通スル場合ハ、大抵七分ナリ一割ノ金ヲ融通シテ居リマスガ、サウ云フ營利的ニヤル譯ニ參リマセウカラ、或ハ六分餘ノ利率デ小作人ニ融通スルコトニスレバ債券ノ償還其ノ他色々ノ其ノ間ノ手數料モ賄フコトガ出來テ別ニ國庫ノ補給モイラナクナリマスガ、小作人ガ自作農地ヲ取得シテ農地金庫ニ金ヲ納メル程度ノ者ハ、新シク地主ニナル者トシテハ五分以上デハ償還ガ困難トナツテ自作農地ノ經營ヲ持續スルコトガ出來ナクナル、五分位ノ程度ニ止メテ置カナケレバ困ルト云フノデ、片方ノ方モ五分ニシタノデアリマス、ツマリ農地債券ノ利廻ヲ低クスルカ然ラサレバ自作農地取得者ノ年賦ノ利率ヲ高クスルカドチラカニスレバ國ハ何等懷ヲ痛メナイデ濟ム、又土地ノ賣主ニ對スル債券ノ償還期限ハ三十五年ト爲シ買主ヨリノ年賦支拂ノ期間ヲ三十五年ヨリモ長クスルコトニヨリテモ、政府ノ補給ヲ減スルコトヲ得ルモ、三十五年ヨリモ長クスルコトハ適當デナイト考ヘルノデアリマス

元來自作農ノ創設維持ハ國ノ方デモ必要デアル、國家ノ農村振興ノ上ニモ社會ノ安寧ノ上ニモ必要デアル、現ニ簡易保險ノ場合ニ於テハ三分五厘デ貸シテ居ツテ、一分三厘只デ補助シテ居ルノデアルカラ、農地債券ヲ以テスル場合ニ於テモコレ程ノ補助デナクトモ、矢張國家ハ何程カノ犠牲ヲ提供スル必要ガアル

地主ノ方面ニ於テモ先程申シタ價格ノ査定ヲ嚴重ニスル結果、土地ヲ高く賣ルガ如キコトハ許サレヌ、小作人ノ方ノ側カラ申スト從來ノ小作料以內ノモノヲ納メル、併ナガラソレハ金デ納メルコトニナル、小作料ハ大抵ノ場合ニ於テハ御承知ノ如ク一段歩ニ付キ一石幾ラト云フヤウナコトニナツテ居テ、物納ニナツテ居ルノヲ普通トスル、農作物ノ價格ハ段々騰貴スル傾向ヲ持ツテ居ル、貨幣價值ハ段々低落スル傾向デアル、此際小作料ノ方ヲ金ニ換ヘテシマツテ、サウシテ小作料ノ方ノ幾部分ヲ納メレバ自分ノモノニナツテシマフト云フ態度ヲ執ル方ガ、小作人ノ爲ニハ利益デアルト思フ、又小作人ノ自作農地ヲ取得セムトスル要望ガ極メテ大ナルモノガアルノデ現在ノ補助施設ニテハ其ノ需要ノ十數分ノ一ヲモ充スコトガ出來ナイト云フ様ナ狀況ニ在ルノデアリマス、小作人ガ小作ヲ續ケテ行ケバ、將來小作料ガ下ガルカモ知レヌト云フヤウナ或ハ希望利益ハアリマセウガ、ソシテ或ル程度ニ見切ツテ、金錢ト變ツテ物納ガ金錢納ニナツテ、結局サウシテ經濟上ノ利益ヲソコニ收メテ、段々固マツテ進ンデ行ク、サウシテ後ニハ完全ナル自作農ニナルト云フコトニ、態度ヲ此際決メルト云フコトハ利益デアルト同時ニ又奮發モシテ貫ヒタイ、サウ云フ意味ニ於テ國トシテモ奮發スル、地主モ小作人モ此際農業ノ爲ニ力ヲ盡スト云フヤウナコトヲ色々加味シテ生レルノデアリマスガ、併ナガラ其ウチ國ガ矢張率先シテ相當ニ奮發シナケレバイカヌト云フコトノ意味ニナツテ居リマスノデ農地金庫ハ經營上ニ於テハ犠牲ハ感ジナイヤウナ工合ニ組織致シテ居リマス

尙ホ其外ニ想像致シマスレバ土地ノ賣買ノ時ニ於テハ確實ニ或ル土地ガ取得サレル、現在土地ノ賣買ノ行ハルル際ニ惡イ土地賣買周旋人ガアツテ、隨分酷イ目ニ遭フ者モ少クナイ何ントカ之ヲ取締ツテ貰ヒタイト言ツテ來テ居ル、此ノ土地ノ賣買ニ付テハ色々面倒ガアル、ソナ事ニ付テ若シ世間デアル體ノ手数料ヲ、農地金庫ガ賣主或ハ買主カラ千分ノ四ナリ千分ノ五ナリ取ルト云フコトデアレバ、農地金庫トシテ相當ノ金ガ出テ來ル、併ナガラサウ云フコトハ國トシテヤラセタクナイ、先ヅ國トシテ此位ノ程度ノ奮發ヲスベキモノデアルト云フノデ、斯ウ云フ案ヲ作ツタノデアリマス

尙ホ此ノ農地金庫ノ事務ヲ遂行シテ行クコトハ、國ノ全局カラ見テモ必要デアリ、社會ノ各方面ノ犧牲ヲ必要トスル、先程申シマシタ如ク國家ニ於テ、地主ニ於テ、小作人ニ於テ、或ル程度ノ犧牲ヲ提供スル、更ニ又有價證券市場ヲ眺メテ居ル商工業者ノ社會ニ於テモ、農地債券ガ幾ラカヅツ之ヲ壓迫スル危險ガアルトシテモ、矢張國ニ對スル犧牲デアルト思フ、各方面ノ者ガ寄ツテ、自作農創設維持ヲ盛り立テ、行カウト云フ趣旨ヲ包含致シマシテ、農地金庫、農地債券ノ發行案ヲ茲ニ立テ次第デアリマス、大體申上ゲマスコトハ此ノ位ノコトデアリマス、尙ホ御質問ニ依リマシテ、御答スルコトニ致シマス

○阪本委員 極ク大體ノコトヲ一二御尋ネ致シタイノデアリマス、御趣旨ハ至極結構ノコト、存ジマスガ、是迄勸業銀行、農工銀行等ノ狀況ヲ見マスルト、元來勸業銀行、農工銀行ハ、讀ンデ字ノ如キ銀

行デアツテ、其ノ貸出ハ自ラソレニ適スルモノデナケレバナラヌ筈デアルニ拘ラズ、例ヘバ牛乳搾取ノ爲ニ牛ヲ買フト云フ名義ヲ以テ出シタ金デアツテモ、其ノ牛ガ何處ニ飼ツテアルカ分ラナイ、地面ヲ買ツテ儲ケタトカ、選舉費ニ使ツタトカ云フヤウナコトガ往々其ノ例ニ乏シクナイノデアリマス、是ハ勸業銀行、農工銀行ノ業態カラ見ルト、サウ云フコトハナイ筈デアリマスガ、地方其他ノ狀況ニ依ツテ餘儀ナク寛大ニシナケレバナラヌヤウナ事情ガ生ジテ來テ、斯様ナ例ガアルノデアリマス、而シテ今度設ケラレントスル所ノ自作農ノ御保護ナドモ、動モスレバ農地金庫ノ貸出ガ斯様ナ弊ニ陥リハシナイカト云フコトヲ非常ニ恐レルノデアリマス、其ノ制裁ニ付テハ第八條デアリマシタカ「讓渡スルコトヲ得ズ」トアリマスダケデ、若シヤツタ時ニドウスルカト云フコトヲ甚ダ心配スルノデアリマス、ソレカラ基金ヲ政府ガ毎年五十萬圓宛十年間醸出スルト二十條ニ書イテアリマスガ、サウスルト五百萬圓ノ基金ヲ政府ガ出スコトニナル、サウシテ三十八條ニ依ツテ農地債券ヲ毎年度八千萬圓ヲ限り發行スルコトヲ得トアリマスカラ、毎年度八千萬圓ト云フト十年間繼續スレバ八億圓、二十年間繼續スレバ十六億圓ノ債券ヲ發行スルガ如ク見エルノデアリマス、是ハ何處カデ制限ヲ付ケルノデアリマスカ、茲ニ十年間八億ノ債券ヲ發行スルト、八億ノ金ガ貸出ノ姿ニナリマスガ、私ノ心配スルノハ償還ガストラノ行カナイダラウト思フ、四圍ノ事情ニ依ツテ免除ヲ乞フトカ云フヤウナコトガアツテ、思フヤウニハ償還ガ出來ナイト考ヘマスガ、其ノ場合ニ農地金庫ハ一方ニ債務ヲ帶ビ、一方ニ償

還ヲ受クルコトガ出来ナイ、即チ一種ノ銀行ノヤウナモノデアリマスカラ、或ハ破産ヲシナケレバナ
ラヌヤウナコトガ出来ハシナイカ、ソレヲ喰留メル方法ハドウスルノデアリマスカ、此ノ二點ニ付テ
御尋ヲ致シマス

四〇

○松村農務局長 第一點ノ方ハ登記ヲ致シマスノデ出来ナイ譯デアリマス、抵當ナリヲ致シマス場合
ニ於テハ登記所ノ方ニ參ツテ、其ノ手續ヲ致サナケレバナラス、地上權ヲ設定スルニモ登記ノ方デ受
付ケマセヌカラ、ソレハ出来ナイコトニナリマス、ソレカラ若シソレヲヤツタ場合ニ、農地金庫ノ方
デ其ノ後ヲ引受ケルヤウニ考ヘテハ居リマス、併シ第八條ハヤラセナイコトニナツテ居リマス、若シ
事情已ムヲ得ズ自作農ヲ止メナケレバナラスヤウナコトガアレバ、外ノ人ニ移轉スル途ハ勿論開イテ
アルノデアリマスシ、又農地金庫ノ方デ取りタケレバ取ツテモ宜シイ、ソレハ九條ノ第三號ニアリマ
ス、ソレカラ外ノ人ニ讓渡スルトキニハ命令デ定メタ移轉ヲ認メルコトニ致シテ居リマス、結局自作
農地ヲ移轉致シマス場合ニハ、自作農地ヲ得タ者ハ權利義務ヲ承繼スルコトニナツテ居リマス、從テ
本人ガ動ケバ代リノ自作農ガ出来ル譯デアリマス、ソレカラ第二段ノ御尋ハ實ハ名前ガ農地金庫トア
リマスノデ、銀行ノヤウニ見エマスガ、併シ只今御話ノヤウニ、土地ノ賣買ヲスル時ニ賣主ガ現金ヲ
受取ル代リニ農地債券ヲ貰フノデアリマス、現金ヲ渡ス代リニ買主ニ代ツテ農地金庫ガ農地債券ヲ渡
シテヤルト云フ仲介ノ立場ニ立ツノデアリマス、尙ホ言葉ヲ代ヘテ申シマスト、買主ガ直グニ現金ヲ出

スコトハ出来マセヌカラ、證文ヲ入レル、其證文ハ年賦證文デアリマス、買主ガ年賦證文ヲ出シテ賣
主ガ承諾スレバ宜シイノデアリマスガ、ソレデハ賣主ガ承知シマセヌカラ、農地金庫ノ證文ニシテ農
地金庫ノ證文ヲ賣主ニ渡シテ置ク、買主ハ其ノ年賦金ヲ農地金庫ニ持ツテ行クト、農地金庫ガ證文ノ
始末ヲ賣主ニ對シテ付ケテヤルト云フ趣旨デアリマス、仲ニ立ツテ金ヲ貸シタリ借リタリスルト云フ
趣旨デナイノデアリマス、唯々代金ノ代リニ詰リ買主ノ方ガ年賦證文ヲ入レル代リニ、農地金庫カラ
賣主ニ出シテヤルト云フ手形デアリマス、其ノ結果際限ナク其金額ガ嵩マルトイケマセヌノデ、最初
ニ申シマシタ二百八十萬町歩ノ三割ニ當リマスモノヲ、三十五箇年間ニ自作農トスルコトニ止メタノ
デアリマス、是迄簡易生命保險ガ一千萬圓融通シテ居ツタノヲ、今度更ニ農地債券デ八千萬圓融通ス
ルト云フノデアリマス、但シソレヲ市場ニ賣出スノデハナイノデアリマス

○阪本委員 正直ニ自作農者ガヤルコトナラバ別ニ議論ハゴザイマセヌガ、今日ハ上手ニ嘘ヲ言フコ
トガ流行ル世ノ申デアリマスカラ、自作農ヲスルガ如ク裝フテ内部ニ於テ雇人ヲ入レテヤラセルトカ
或ハ他人ヲ使ツテ巧ミニヤラセルコトガアリマセウ、ソレヲ第九條ノ三號デ制裁ヲ加ヘル規定ハアリ
マスガ、果シテ旨ク行クカドウカト云フコトハ甚ダ氣遣シイノデアリマス、併シ旨ク行ケルト仰シヤ
レバ此ノ際ハ承ツテ置クヨリ仕方ガゴザイマセヌ、次ニ金ヲ貸ス趣意デナイト云フコトハ能ク分ツテ
居リマスガ、農地金庫ハ尠クトモ連帶責任ガアル、私共カラ見レバ當面ノ第二ノ債務者ニナル如ク思

四一

フノデアリマスガ、只今ノ御説明ヲ伺ヒマス、第一債務者ハ買入レタ自作農者デソレヲ補助スル意味ニ見エマスガ、ソレニシテモ連帶責任デアツテ、自作農ヲ目當テニ賣ルモノデハナイノデアリマスカラ、前ノ地主ニ對シテ債券ノ義務ヲ果タスコトガ農地金庫ノ義務ニナルト思ヒマス、其ノ爲ニ基金ガアルノデ、基金ハ十年間ニ毎年五十萬圓宛政府カラ醸出シテ、サウシテ八千萬圓以内ヲ毎年發行スルコトガ出來ルヤウニ見エテ居リマスカラ、八千萬圓宛發行スレバ是ガ十年經テバ八億ニナル、二十年經テバ十六億ニナル、中間ノ作用ヲ以テ義務ヲ負フノデアレバ、之ヲ償還スル義務ヲ負フト云フコトハ考ヘナケレバナラス、ソレガ氣遣ハシイ、ソレヲドウスルカト云フコトヲ、モウ一應御説明ヲ願ヒマス

○松村農務局長 只今ノ御質疑ノ第一ハ自作農ニヤツテモ、後デ自作ヲヤラナカッタ場合ハドウスルカト云フ御質問デアリマスガ、其ヤリ方ハ初メノ方デ嚴重ニヤルノデアリマス、今迄ノ農工銀行、勸業銀行ハ金融業者デアリマスカラ、金ノ融通ガ目的デアリマス、然ルニ此法律ハ自作農ノ創設維持ガ目的デアリマス、創設スル際ニ先程申シマシタ如ク地價モ考ヘ、本人ノ身許モ能ク見テ色々考慮シテ、又地方ニハ審議會モアリマシテ、地方長官モ會員デアリマスカラ、是ガ大丈夫デアルト認メナケレバ自作農ニ致サナイ、從來カラ農業ヲ營ンデ居ル者ニヤラセルノデ、唯々金ヲ貸スノデナイ、初メニ慎ンデ居ルノデアリマスカラ、第二段ノヤラナイデアラウト云フ御尋ノコトガ起ル虞ノナイヤウ

ニ、初メヲ嚴重ニ慎シムノデアリマス、ソレカラ次ニ連帶債務ト云フ御話ハ、私ハ碎ケテ申シタダケデアリマス、法律上ノ關係ハ農地金庫ハ全然債務ヲ負フノデアリマス、農地金庫ハ賣主ニ對シテ債務ヲ負ヒ、買主ニ對シテ取立ヲスルノデアリマス、返済ノ義務ハ農地金庫ガ持ツテ居ルノデアリマス、八千萬圓ハ御話ノ通り八千萬圓ダケノモノヲ出シマス、市場ニ相當ノモノガ出ル案デアリマス、十年經テバ八億ハ出マス

○山本會長 年賦ガ滯ツテ償還ガ出來ナイコトニナリハシナイカト云フ御質問——ソレハ實際ノ實績ニ徴シテモ一千万圓簡易保險デヤツテ居リマス、此ノ結果ヲ見マシテモ、矢張年賦金デ買受ケタ方デ拂フコトニナツテ居リマスガ、年賦金ノ支拂ノ滯リハ一ツモナイ、償還ノ方ハ年賦金ヲ取立テ、償還ヲスルコトニ差支ナイ状態ニナツテ居リマス、現在ノ一千万圓ノ簡易保險ガ融通シテ居ル、現在ノ狀況ガソウデアリマス、農地債券ノ場合ニ於テモ年賦金ノ滯リハ大體ニ於テナイデアラウト見テ居ルノデアリマス

○阪本委員 從來ノ經驗ハアルカ知レマセヌガ、創設ノ際ハ旨ク行ツテ居ルデアリマセウガ、杞憂カモ存ジマセヌガ、農地金庫ト云フモノハ大ナル穴ガ空イテ來ル、遂ニハ國家ガ之ヲ辨償シテヤラナケレバナラスト云フ時代ガ來ルノデヤナイカト云フコトヲ非常ニ憂慮スルノデアリマシテ、此邊ハドノ邊マデ御安心ガアルカト云フコトヲ承ツテ見タイノデアリマス

○山本會長 是ハ度胸デ行クヨリ外ハナイノデアリマセウガ、現在日本ニ於ケル僅バカリノ經驗デハアリマスケレドモ、元來ガ年賦金ノ支拂ガ非常ニ重イコトニナツテ行クト其危險ガアル、所ガ此土地ノ收益ヲ土臺トシ、今迄拂ツテ居ツタ小作料以内ニ於テノ年賦金ヲ定メルト云フ立前ニナツテ居リマスカラ、經濟關係カラ見マシテモ、小作人ガ今迄拂ツテ居ツタ小作料以内ノ年賦金ヲ拂ツテ行ケバ宜イコトニナルノデアリマスカラ、支拂ガドウシテモ不可能ニナルト云フヤウニハ考ヘラレナイノデアリマス、今迄ノ小作料以下ノ程度ナラ大抵行ケルデアラウ、ソレハ經濟關係カラ見テアリマスガ、實際ノ實績ヲ申セバ短イ經驗デアリマスケレドモ滯リナク行ツテ居ル、ソレカラ外國ナドノ例ヲ見マシテ、是ハ國情ガ違フカラ外國ノ例ヲ一概ニ申ス譯ニハ行キマセスケレドモ、矢張年賦金ノ滯リナドト云フコトハ極メテ少イ、獨逸、丁抹、受蘭ノ例ヲ見マスト、土地ガ欲シイト云フノガ農民ノ熱烈ノ希望デスカラ、ソレデ自分ノ今迄拂ツテ居ツタ小作料ヲ誠實ニ支拂ツテ、成ルベク年限迄ニ土地ヲ完全ニ取得スルト云フコトガ小作人ノ心理狀態デセウ、ソレデアリマスカラ、サウ大シテ大キナ損害ガ之ニ依ツテ金庫ニ生ズルト云フヤウナコトハアルマイト云フ見當デス

○阪本委員 ソコ迄ノ御見込ガゴザイマスレバ兎モ角、十年程前マデノ小作ノ狀態デハ年々一通リ納メテ居ツタ慣習ガアリマスカラ宜シイガ、近年ノ小作爭議ノ狀況カラ見ルト、二割三割ノ小作料ヲ値切ル、甚ダシキハ私ノ知ツテ居ル所デハ三割負ケルナラバ三年分上ゲルケレドモ、負ケナケレバ納メ

ナイト云フコトヲ言ツテ、三年モ四年モ延滞シテ居ル、サウシテ三割位下ゲルト云フコトヲ主張シテ居ル狀況ガアリマスカラ、此小作米ノ何割ヲ見テ居ラツシャルカ知リマセヌガ、若シ是マデノ小作料全部納マル基礎ニ依ツテ御立案ニナツテ居ルナラバ、實際ニ箝ラナイ御立案デアルト思フ、色々地方ニ依ツテ違ヒマセウケレドモ、是マデノ小作米ノ全額ヲ基礎トシテ償還ガ受ケラレルト思ツテ居ラツシヤイマスカ

○松村農務局長 只今ノ滯納ノ關係デアリマスガ、實ハ自作農創設ハ簡易保險ノ金ヲ運用シテ大正十一年カラ始メテ居リマシテ、ソレ以來人數ハ約二萬四千七百人、其金額二千二百六十萬圓ニナツテ居リマスガ、滯納ハ一ツモナイ、ソレハドウカト云フト、前ニモ申シタ如ク現在ノ小作料ノ範圍内デ納メテ居ルカラデ、前ノハ三分五厘デアルカラ二十四年ニシテアル、今度ハ五分ニナルカラ三十五年ニシテアル、結局小作人ノ苦痛ハナイ、只今小作料ヲドノ位ニ見テ居ルカト云フ御尋ノ點ハ、各地各地ニ於キマシテ審査會ガ設ケラレテ、是レダケデアレバ無理デナイ、小作人ハ苦痛ハナイト云フ程度デヤル、現在ノ小作料ヨリモ安ク見テ居ル、其ノ上先キニ申シタ如ク金納ニスル、現在ノハ米デ一石幾ラト言ツテ納メテ居ルガ、小作爭議ガヤカマシイノデ二割減トカ三割減トカヤツテ、幾ラカ減ジテ小作料ハ決マリマスケレドモ、ソレハ矢張米デ渡シテ居ル、ソレデ米ノ數量ガ減ツタガ金ニシタ小作料ハ

實ハ餘リ減ジテ居ナイ、普通ノ賣買ナラ土地ノ値段ガ先キニナルガ、是ハ土地ノ値段ハ後ニナル、ソコデハ地主ガ引摺ラレテ行ク形ニナル、普通ノ遣り方ノ賣買契約トハ違ツテ、小作人ノ方ニ苦痛ノナイ遣り方デスカラ、其結果大正十一年以來滞納ガナイ、地方デハ自作農創設ノ記念ノ會ガ出來タリ、色々宜イ事例ガアル、其機運ニ乗出シテ行カウト云フノガ此案ノ生レタ現状デアリマス、御心配ノ點ハ非常ニ大切ナ事デ、念ニモ念ヲ初メニ入レナケレバナラヌ、サウ云フコトニ於テ初メ法律ニ書イテ見テ色々面倒ナコトニ國ガ干與スル譯ニナツテ居リマシタガ、ソレハ命令ニ讓ルコトニ改メマシタ、併シ嚴重ニヤルト云フ關係ハ從來ト少シモ違ハナイ、御攻究ヲ願ヒタイノハ此間モ新聞ニ出タ岐阜縣ノ小作爭議ノ大變烈シイ所デモ希望者ガアル、片方ニ於テ自作農ニナツテ農業ヲ經營シタ方ガ有利ダト云フ頭ガアル、ソレニ適合スルヤウニ、サウシテ無理ノイカヌヤウニト云フコトデヤツテ居ル關係上、滞納ハ無イト云フ見込デ居リマスガ、ソレハ金額ノ殖エルニ從ツテドウナルカト云フト、若シ滯レバ其分ハ農地金庫ガ地主ニナツテ、之ヲ新シイ確實ナ者ニ變更シテ行クカラ、金ノ滯ル譯ハナイ、地主ニナツテ賣ツテ行ク、元來銀行ノヤウナモノデハ不動産ガ固定スルトイカヌガ、是ハ自作農創設ノ爲ニ乗込デ居ル機關デアリマスカラ、ソレニ土地ガ滯ツテ見テモ、ソレニ對シテ相當努力シテ、今度ハ新シイ自作農ヲ創設シテ行クト云フ立場ニ出來テ居ル、名前ガ農地金庫トアリマスガ、金ヲ取

扱フ關係デハ普通ノ商賣人ノ店ノ片方ノ所ニ Cashier ト云フモノガアルト同ジ様ナ意味ニ於テノ金庫デアリマシテ、産業組合中央金庫ナドデノ資金ノ運用トカ、殊ニ勸業銀行、農工銀行ナドデノ金ノ融通トカノ意味デ出來テ居ラナイデアリマス、從ツテ金融業者ノ困ル場合ト此方ノ困ル場合トハ場合ガ違ツテ來ル、金融ノ方ハ後カラ困ルガ、コチラノ方ハ初メ創設ニ困ル、今ノ御心配ノ事ノ起ラナイヤウニ初メノ方デ非常ニ苦心スル、國ノ機關ガ非常ニ干與スル、寧ロ私共ノ心配シテ居ルノハ、斯ウ云フ機關ガ澤山ノ金ヲ農地債券デ仲介スルコトニナルガ、是レダケノ仕事ガ出來ルカ否ヤト云フ方ニ心配シテ居ル、出來過ギテ檻樓ガ出テ困ルヂヤナイカト云フコトハ第二ノ方デ、寧ロ堅實ニヤツテ行ク爲ニ、是レダケノ仕事ガ出來ナクハナイカト云フコトヲ心配シテ居ル譯デアリマス

○山岡委員 極ク簡單デアリマス、今モ段々御話ノアリマシタヤウニ小作人デアル一人ノ自作農、斯ウ云フ點デアリマスガ、年賦金ヲ償還シナカッタ時ニ取立方法ハドウ云フ方法ニ依ルノデアリマスカ、是ガハツキリ致シテ居リマセヌ、納メナカッタ時ニドウ云フ方法ヲ以テ強制力ヲドノ程度ニシテ行クカ、其ノ事ト、ソレカラ又全然納メナクナツテシマッタ時ニ所有權ヲ金庫ニ移シマスノニ、見渡ス所デハ普通ノ民法關係デアル、サウスルト隨分煩瑣ナ手數ヲシナケレバナラヌ、果シテ普通ノ通り手續ヲ履ムノデアルカ、履マナイノデアルカ、履ムトスレバ私トシテハモット進ンダ規定ヲ置ク、即

チ小作人ニ對シテ三分五厘ト云フノ今度ハ五分デ融通シテ行ク、ソレ故ニ之ヲ以テ所有者トナツタノデアルカラ、若シ履行シナケレバ其ノ所有權ヲ失フ、斯ウ云フ風ニ所有權ガ當然歸着スル頭デ行ク、此ノ方法デ行キマスレバ先取得權ヲ有スルカラ債權關係ヲ有スル、假ニ此關係ヲ三角形ノ關係ヲ規定シテ置キマシテモ、所有權ノ歸着スル所ヲ物權的ニ強イ意味ニシテシマウト云フ方ハ、公ノ法律デアリマスカラ、其位強イ意味ニシテモ宜イト私ハ思フ、結局土地ヲ一面ニ於テハ金庫ガ債務者トナツテ農地債券ヲ發行スル、其農地債券ニ付テハ農地金庫ガ債務者デアツテ、所有權ノ意味ヲ持ツテ居ル人ハソレニ何等ノ關係ガ無イヤウデアリマス、ソレヲ寧ロ土地證券トシテ其證券ガ當然其土地ヲ金庫ニ移シテ置イテ働ク、即チ土地ニ結付ケタル土地證券トシタ働ニシテ、此形ヲ何トスルカ、要スルニ債權デナク物權的ノ形ニ致シマスレバ直チニ處置ガ出來ル、サウ云フ風ニ致シマスレバ徵收ノ方法モ力強キ方法ガアリ、又所有權ヲ失ツテ居ツテ金庫ヘ歸屬スル方法モ、モット簡單ニ出來ルノデヤナイカ、斯ウ云フコトヲ考ヘルノデアリマス、ソレカラモウ一ツハ發行サレマシタ債券ハ市場ニ發行シテヤラヌト云フコトハ今御説ノ通りデアル、併シ後ニナツテ是ハ市場ニ融通性ヲ持ツモノ、ヤウニ思ハレマスガ、ソレハ行カヌヤウナ今ノ御説明デアリマスカラ、其點ニ疑ガアリマスガ、ドウ云フノデアリマスカ、ソレダケ伺ヒマス

○松村農務局長 今ノ第一點ノ取立ノ問題デアリマス、是ハ農地金庫ト債務者即チ買主トノ間ノ關係ハ成ルベク強制力ヲ用ヒナイ、滑カナコトニシタイト云フコトニ此案ガ出來テ居リマス、只今ノ御趣旨ノヤウナ工合ニ成ルベク簡單明瞭ニ致シマスニハ、債務ノ履行ヲ怠ツタ場合ニハ國稅徵收法ノ例ニ依ツテ取立テ、シマフヤウニスルノガ宜イカト思ヒマスケレドモ、ソコ迄ヤルノハドウカト云フ議論モ隨分アツタノデアリマス、其取立關係ハ先ニモ申シマシタ如ク、心配スルヨリモ心配シナイ方ニ導イテ行クコトヲ初メニ慎ミタイト考ヘテ居ルノデアリマス、強制シナケレバナラヌヤウナ事例ノ少ナカラシコトヲ欲シテ之ヲ其ノ初ニ慎マウト考ヘテ居ル關係上、取立ハ成ルベク拵エタイト云フノデアリマス、サウシテ結局サウ云フ事ガ起ツテ最後ニ法律ニ訴ヘルコトニナレバ、民事訴訟法ノ手續デ取立テタイト思ヒマス、ソレカラ第二ノ所有權ヲ取ツテシマツタラドウカト云フ關係ニ付テハ、第八條第九條ニゴザイマス如ク、農地金庫デ取リタイト思ツタ場合ニハ所有權ヲ取ルコトニシテ居リマス、又農地金庫ヲシテ所有權ヲ取得セシメヨウト思ツタ場合ニハ之ヲ命スルコトニ致シテ居リマス、結局極ク簡易ニ自作農地ヲ農地金庫ニ移スコトガ出來ル意味ニ於テ規定シテアリマス、年賦支拂、年賦償還ヲ怠リマシタ場合ハ第九條ニ其規定ガアルノデアリマス、結局御尋ノ御趣旨ノヤウナ目的ハ之ニ加味シテ居ル積リデアリマス、尙ホ之ヲ土地債務ノヤウナモノニシタラバドウカト云フ様ナコトニ付テモ研

究ヲ致シマシタガ、獨逸ノ制度ト日本ノ不動産ノ制度ト隨分反リガ合ハナイノデ、現在ノ日本ノ不動産ノ物權關係、債權關係ニ大ナル變更ヲ起サナイヤウナ具合ニ、案ヲ立テマシタノデ、土地其物ニ新シキ負擔トカ、物權的ノ權利ヲ設定スルコトハ差控ヘマシテ、此ノ案ヲ編ンダ次第デアリマス、ソレカラ第三ノ市場ニ出テ融通スルカドウカト云フ御質問、是ハ融通スルコトニナツテ居リマス、無記名債券デアツテ、地主ガ市場ニ賣リタケレバ賣ツテモ一向差支ヘナイノデアリマス、元來ノ趣旨ハ地主ガ土地ヲ持ツ代リニ農地債券ヲ持チ、小作料ヲ得ル代リニ利息ヲ受ケテ、農村ニ親シミヲ持ツテ實フ趣旨デ農地債券ヲ作ツタノデアリマスガ、自然市場ニ融通スルコトヲ妨グルコトハ出來マセヌ、其ノコトハ案トシテハ避ケテ居ラナイノデアリマスガ、成ルベクサウ云フコトヲ希望シナイ關係カラ、農地債券ノ市場發行ハ止メテ——公募的ノコトハ止メテ、債券ノ發行ハ交付ニ依ルコトトナシ、成ルベク地主ニ債券ヲ持ツテ居ツテ實ヒタイト云フ意味デ進ムコトニ致シマシタ

○山岡委員 御説明ハ能ク分リマシタガ今一ツ伺ヒマス、只今ノ御説明デ九條ニ命令デ定メルコトヲ御書キニナリマシタナラバ、所有權ヲ移スコトハ物權的ニ働クノデアリマスカラ、私ハ如何様ニモ考ヘ通りニ御定メニナルノハ結構デアリマスケレドモ、サウナリマスト八條ニ依ルト斯ウ云フ風ニシテ登記簿ニハ特別ノモノニナツタト云フ登記ヲセラレルノデアリマスガ、斯ウ云フ風ニ讓渡スルコトヲ

得ズト第八條ニアツテ、第九條ニ命令ノ定ムル所ニ依リ自作農地ノ所有權ヲ讓渡スルコトヲ得トアル、此ノ點ハ土地ガ不融通物ニナルトカ、ナラストカ色々論議ノアル所デアリマス、此ノ點ニ付テ私ノ考ヘル所デハ是ハ獨逸ニモアルコトデ、獨逸デハ抵當權ヲ設定シテ抵當證書ヲ發行スルト、其ノ證書ハ流通性ヲ持ツテ居リマスガ、登記簿ハ閉鎖サレテ、登記簿ハ其ノ證書ガ還ラナケレバ受付ケナイコトニシテ居リマス、サウ云フ考カラ言ヘバ、其ノ抵當證書ハ融通性ヲ持チ、其ノ證書ガ社會ニ流通スルノデアリマスケレドモ、登記簿ハ閉鎖スルノデアリマス、ソレデサウ云フ風ニシテ行ツタ方が寧ろ宜クハナイカト思ヒマス、是ハ意見ニナリマスカラ最後ノ問題デアリマスノデ、今御説明ヲ承ル必要ハアリマセヌガ、此ノ案ヲ確定スル迄ニ御考慮ヲ煩シタイノデアリマス

○松村農務局長 私共ハ斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマシタ、地主ガ土地ヲ持ツテ居ツテ、小作人ト爭ガ起ル、其ノ關係ヲ是デ脱却シタイ、地主ガ土地ノ代リニ農地債券ヲ持ツテ、債券ガ融通性ニナル、サウシテ其ノ利息デ行クヤウニシタイト思ツテ居ルノデアリマス、小作人ガ新シク地主ニナツテモ平生ノ生活ハ違ハヌノデアリマス、土地所有ノ利益ヲ年賦償還ノ終ラナイ時ニ振廻ハスコトニシナイ方が宜クハナイカ、其ノ位ノ程度ノ不融通物ガ良クハナイカ、併シ非常ニ不融通物ガ出來ルト困リマスカラ、其ノ程度ニ付テハ命令デ定メルコトニシタノデアリマス、尙ホ御趣旨ノコトハ各條ニ付テ御審

議ヲ願フコトト思ヒマスカラ、其ノ節ニハ又御考慮ヲ願フコトニ致シマス

○東會長代理 食事ノ準備ヲ致シマシタカラ暫ク休憩致シマシテ、更ニ午後カラ繼續致シマス——大臣ハ一寸外務省ニ公式ノ宴會ガアリマスノデ、ソレニ參リマシタ

午後零時四十分 休憩

午後一時五十分 開議

○東會長代理 ソレデハ是ヨリ開會致シマス

○那須委員 一寸此法案ノ根本精神ニ付テ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、先刻來ノ御説明ニ依リマス、是ハ農村振興ノ爲ニ立案セラレタモノデアル、農村振興ト云フコトノ中ニハ小作爭議ノ緩和ト云フコト、又小作地ヲ自作地ニ變ズルト云フコトニ因ツテ農業生産ヲ増進スル、此二ツノ意味合ガ含まレテ居ルヤウニ拜聴致シタノデアリマス、併シ世間デハ更ニ此案ヲ看做シテ地主保護策デアルト稱シテ居ル者モ甚ダ少クナイノデアリマス、此法案ノ根本精神ハ小作爭議ノ緩和ニアルノデアリマスカ、或ハ農産増進ニアルノデアリマスカ、或ハ今日窮境ニ立ツテ居ル地主ノ立場モ、之ニ由ツテ救ハウト云フヤウナ意味合ガ多分ニ這入ツテ居ルノデアリマスカ、此點ヲ御伺ヒ致シタイコトガ一ツデアリマス、第二ニハ若シ是ガ小作爭議ノ緩和ト云フコトヲ主タル目的ニシテ御居デニナルモノデアルト

スレバ、此案ヲ實行スルコトニ依リマシテ、三十五年經ツテ僅カニ今日ノ小作地ノ約三割ガ自作地ニナルニ過ギナイ、若シ其間ニ於テ今日ノ自作地ガ他面ニ小作地ニナルト云フヤウナコトガアリマシレバ、三割モ自作地ニナラナイダラウト思フ、サウシマスト此七割以上ノ小作地ニ於テ爭議ガ其間ニ無イト云フ風ニ御考デアリマスカ、或ハ爭議ガアルトシテモ此自作農設定ノ方ガ、ソレヨリモ重要デアルト云フヤウニ御考ヘニナツテ御居デニナルノデアリマスカ、又農産增收ト云フコトガ主タル目的ノ一ツデアルトシマスレバ、三割ノ小作地ハ自作地ニナルコトニ依ツテ、ソレダケ農産ガ増進セラレタトシテ、残り七割ノ小作地ニ於ケル農産增收ノ方策ヲ何カ考ヘナイデ宜シイノデアリマスカ、ソレガ第二ノ質問デアリマス、第三ノ質問ハ私共ハドウモ小作立法ト自作農創設ト云フコトハ非常ニ密接ナ關係ガアル問題デ、寧ロ小作立法ノ方ガ自作農創定ニ先立ツベキモノデハナイカ、尠クトモ相關聯シテ行ハレナクテハナラヌモノデアアル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、是ノミヲ適當ナ小作立法ノ前ニオヤリニナリマシテモ、成功ガ少シ困難デハナイカト云フ疑ヲ持ツテ居ルノデアリマス、此等ノ點ニ付テ御見解ハ如何デアリマスカ、サウ云フ點ヲ念ノ爲ニ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○岩田委員 只今ノ御質問ニ關聯シテ私モ一二質問ヲ致シタイト思ヒマス、私ノ伺ヒタイノハ二ツデアリマスガ、一ツハ只今ノ御質問ト直接ノ關係ハナイノデアリマシテ、今回御諮問ニナリマシタ趣旨

デアリマスガ、是ハ段々午前ノ大臣ノ御説明ヲ伺ヒマス、斯ウ云フ案ヲ實行ナサルト云フニ付テハ、是レダケハ政府ニ於テ御決定ニナツテ居ルノデアツテ、唯此細目ニ付テ——此案ニ定メラレテ居ルヤウナ細目ガ宜イカト云フ、此個々ノ點ニ付テノ御諮問ノヤウニモ伺ハレタノデアリマス、果シテサウ云フ御趣意デアリマスカ、或ハ斯ウ云フ案ヲ行フガ宜イカ、行ハヌガ宜イカ惡イカ、此點ニ付テモ同時ニ御諮リニナル御趣旨デアリマスカ、或ハ行フト云フコト丈ケハ前提トシテ置イテ、果シテ此項目ダケガ宜シイカ、其點ヲ御諮問ニナル譯デアリマスカ、其點ガ一ツ、モウ一ツハ只今那須委員ノ最後ニ御尋ニナリマシタ點ニ關聯スルノデアリマス、是ハ三十五年ニ互ツテ代金ヲ年賦デ償還サセヤウト云フノデアリマスカラ、之ヲ買ツタ小作人ガ果シテ之ヲ履行スルカドウカト云フ疑問ニ付テハ午前ノ御説明ニモ是ハ履行サレル見込デアル外ハナイト云フ御説明デアリマシタガ、其見込ヲ立テルニ付キマシテ最モ重要ナ關係ガゴザイマスノハ、小作人ガ地主ニナツテ自作ヲスルト云フコトガ、小作トシテヤルヨリモドレダケノ利益ガアルカト云フ點デアリマス、非常ナ利益ガアルナラバ此義務ヲ誠實ニ履行スルデアラウト云フ見込ガ餘程強クナリマス、地主ニナツテモ現在ノ小作人トシテヤルノト較ベテ一向利益ガナイト云フコトニナリマス、此義務ヲ履行スルト云フコトノ見込ガ餘程薄弱ニナル關係ガゴザイマスカラ、其點ヲ考慮スル必要ガアラウト思フノデアリマス、隨テ此小作立法、ドウ云フ小作法ガ行ハレルカト云フコトニ付キマシテ、小作人ノ利害ガ非常ニ重要ナ關係ヲ持ツテ來ルノデ

アリマス、或ハ將來小作權ノ規定ノ如何ニ依リマシテハ、之ヲ買ハナクトモ小作人トシテ他人ノ土地ヲ小作シテ居ツタ方ガ却テ有利デアル、所有權ヲ得ルコトガ一向利益ガナイト云フコトニナリマス、折角約束ヲシテモ之ヲ履行スル見込ガ薄弱ニナリハシナイカト云フ懸念ガアルノデアリマス、隨テ是ハ三十五年ニ互ルノデアリマスカラ、唯現在ノ目前ノ狀況デドウモ土地ヲ皆ガ欲シガルト云フコトダケデハ、是カラ十五年二十年經チマスト一向所有權ヲ有難ガラヌカモ分ラヌノデアリマスカラ、サウ云フ點ダケデナシニ實質ニ於テ所有者トシテノ權利、ドウ云フ利益ガアルカト云フコトニ付テ、此小作人ガ果シテ長イ間ノ約束ヲ履行スルカドウカト云フ見込ガ餘程違ツテ來ルノデアリマス、隨テ小作法ノ方ガ確定サレテ、ソレニ基イテ後ニ此法案ヲ考ヘルト云フ方ガ順序デナイカト云フヤウニ考ヘラレル點モアルノデアリマスガ、ソコラニ付テドウ云フ御見解デアラレマスカ、那須君ノ御質問ニ對スル御答辯ノ際ニ、其點ニ付テ承リタイト思フノデアリマス、

○松村農務局長 法案ヲ定ムルニ至ツタ根本ノ趣意ハ何レニ在ルカト云フ點ニ付テ、小作爭議解決ニ在リヤ、生産增收ニ在リヤ、地主保護ニ在リヤト云フヤウナ御質問デアリマスガ、是ハ小作爭議解決ヲ、之ニ依ツテ全部爲シ得ルモノトハ信ジテ居ラナイノデアリマス、結局小作爭議ハ、地主ト小作人ガ對立シテ居ルカラ起ルノデアリマスカラ、對立關係ガ無クナレバナクナルダケ小作爭議モ亦無クナルノデアリマス、階級的ニ地主ト小作人ガ相爭ウテ居ル現象、ソレガ圓滿ニ參レバ至極結構デアリマ

スガ、争フ現象ハ或ル程度ニ於テ止マナイトスレバ、其ノ原因ヲ除クノハ争議解決ノ根本的方法デア
アルマイカ、小作立法ハ小作關係ヲ前提トシテノ議論デアリマス、自作農創設ハ小作農ヲ無クサウト
云フノデアリマス、小作農ガナクナルト云フコトニ因ツテ小作争議モ亦ナクナルノデアリマス、併ナ
ガラソレヲ目標トシテ居ルカト言ヘバ、立法ノ效果ノ大ナルモノトシテサウ云フ結果ガ現ハレテ來ル
ト思フノデアリマス、ソレデ初ニ申シマシタ如ク、小作地ノ約三割ト云フコトヲ目標トシテ小作ヲ自
作農地ニ變更シヤウト云フノデアリマス、今日小作争議ノ痛烈ニ行ハレテ居リマスノハ水田ニ多イ、
畑地ヨリ田ニ多イ、小作争議ノ烈シイ地方ノ小作ヲ自作農ニ致シマスト、小作争議ヲ減少スルコトハ
三割ヨリモ多イ、或ハ五割モ六割モ減少スルコトニナリマシヨウ、小作争議ハ自作農創設ニ依ツテ、數
字ノ上ニ於テハ著シク減少シ得ルデアラウト思フノデアリマス、此ノ點カラ言ヘバ小作争議ノ根本ノ
原因ノ除去トナルノデアリマス、小作争議減少ノ關係カラ申シマスレバ三割所デハナイ、非常ニ大キ
ナ效果ヲ擧ゲ得ルコトニナルト思ヒマス、尙ホ生産増加ニナルヤ否ヤト云フ點ハ最初ニ申シマシタ如
ク、自作地ト小作地トノ間ノ收益ノ歩合ガ非常ニ違ツテ居ル、農務局ノ職員ガ始終地方ナドニ行キマ
シテ、色々ノコトヲ見テ參リマスガ、自作關係ノ地面ヲ見ルト非常ニ良ク出來テ居ル、是ハ自作地ダ
ナ、是ハ小作地ダナト云フコトハ人ニ聞カクテモ直グ分ル、農務ニ職ヲ奉ジテ居ル者ハ、耕作ニ手
ヲ着ケナイモノガ見テモ、作柄ニ於テケジメガ付イテ居ル程、争ノ爲ニ没頭シテ居ル頭デ耕作シテ居

ル土地ト、争カラ脱却シテ落著イテ耕作シテ居ル土地ト非常ニ作柄ニ於テ違フノデアリマス、此ノ案
ガ生産増加ヲ目標トシテ居ルモノト見レバ、其ノ點ハ大分大キナ問題トシテ見テ居ルトモ言ヘルノデ
アリマス、生産ヲ増加スルト云フコトハ日本ニ食糧ノ缺乏スル場合ニ於テ、出來ルダケ集約的ニ農産
物ガ増加スルコトハ、何事ヲ措イテモ民心ノ安定ノ爲ニ考ヘナケレバナラスコトデアリマス、地主ト
小作人ガ相争ウテ居ルコトハ、國家ノ全體カラ見テ甚ダ憂フベキコトデアリマスカラ、生産ヲ増加シ
民心ヲ安定シ生業ニ安ンズルノ心ガ全體ニ瀰漫スルコトハ、非常ニ必要ノコトデアリマスガ、ソレハ
自作農地法案カラ産レテ來ル大ナル使命デアルト思ヒマス、ソレカラ第三ニ地主保護ノ法律ナルヤ否
ヤト云フ御尋デアリマスガ、是ハ地主ヲ保護センガ爲ニ此ノ案ヲ作ツタノデアリマセヌ、小作人ヲ
安定セシメヤウ、自分ノ土地ニ安ンジテ生産ニ從ハシメヤウト云フコトガ趣旨デアリマス、併ナガラ
土地ヲ供給スル者ガナケレバ出來ナイコトデアリマス、ソレデ地主ガ土地ヲ提供スル場合ニ、地主ノ
保護ヲ目的トシテハ居リマセヌケレドモ、之ヲ機會ニ地主ヲ虐待スルコトヲ考ヘテ居ラナイ、矢張所
有權ノ根柢ハ日本ノ制度トシテ認メテ居ル場合ニ於テ、相當ニ地主ヲ保護スルコトハ必要デアリマス
カラ、土地ヲ手離ス際ニ於テ、其ノ代價ヲ得ラレルヤウニシテヤラナケレバイケナイト云フコトヲ目
標ニ置イテ居リマスノデ、現在賣買サレテ居ルヨイ高イ値段デ地主ヨリ買ハウトハ思ツテ居リマセ

又、小作人ノ生計ヲ標準ニシテ逆ニ地價ヲ算定スルノデアリマス、從來ノ標準ヨリ高クナレバ以下ニ下ゲルノデアリマス、多クノ場合ニ於テハ算定シタ價格ノ方ガ低イ、其ノ低イ方ニ無論依ル積リデアリマスカラ、此ノ點カラ申シマスト現在ノ地主ハ此ノ案ニ依ツテ積極的ニ保護サレルコトハ産レテ来ナイノデアリマス、ソレカラ第四ノ小作法ニ付テハ、小作地ノ保護ハ國ノ立場カラ申シマスルト小作爭議ガ成ベク無クナツテ、地主ト小作人ノ間ノ小作條件ガ適正ナルモノニナルコトヲ努メルノハ當然ノコトデアリマシテ、全國ニ小作官ガ配置シテアリマスカラ、ソレガ尙ホ進ンデ調停ニ心血ヲ注イデヤツテ居リマスシ、前ニ小作調査會デ御決メニナリマシタ小作法要綱ニ依ツテ、役所ダケデ決メタ小作法案ヲ社會ニ公表致シテ居リマス、ソレガ小作爭議ノ調停ノ參考ニナツテ居リマス、法律ニナル迄ノ運ビニハナリマセヌガ、或ハ大臣ノ仰シヤツタ如クドウ云フ所ニ進行スルカ分リマセヌガ、小作法案ト云フ形ノモノガ世間ニ出テ居リマス、然ルニ自作地創設維持ニ付テハ何等ノ法律案ガナイ、又自作農地創設維持ハ新シイコトヲヤツタノデアリマセヌ、以前カラ簡易生命保險デヤツテ居ルコトヲ、唯大キクヤラウト云フノデアリマシテ、新ニ立法スルノト大イニ趣ヲ異ニシテ居ルノデアリマス、併ナガラ其手段トシテ農地金庫ヲ仲介サセヤウト云フノデアリマシテ、自作農創設ニ付テハ全然新シイコトデナイノデアリマス、關係ガ簡單明瞭デアリマス、土地ノ所有權ガ移ル、ソレニ對シテ仲

介シヤウト云フノデアリマス、所ガ小作關係ハ多岐多端ニ互ツテ、法律關係ノ問題ガ生ジテ來ル譯デアリマスカラ、色々ノ方面ノ要望ヲ聞キ、世間ノ推移ヲ眺メル状態ニ於テ、矢張小作立法ヲ同時ニヤラナケレバナラヌト云フコトデ進ミツ、アルノデアリマスケレドモ、自作農地創設ノ方ハ簡單デアルト云フ意味ニ於テ先キニ生レテ來タノデ、足ノ歩ミノ早イ方ヲ先キニシタ方ガ良クハナイカト思ツタノデアリマス、第五ニ三十五年モ掛ツテヤル場合ニ、前途ノ見込ヲ今日カラ定メルノハドウカト云フコトハ、今日ヤレバ三十五年、來年ハ又來年カラ三十五年デアリマスカラ、世ノ進ムニ伴フテ其ノ瞬間々々ニ其ノ時代ノ狀況ニ適應シテ進ンデ行クノデアリマス、片一方ニ小作爭議ガアレバ、自作農創設ヲシテ對應シテ行クノデアリマスガ、三十五年間續イテヤルノデアリマスカラ、新シイ社會事情ニ應ジテ適當ナコトヲヤツテ行キマスノデ、今日ノモノト來年ノモノト違フデハナイカト云フ御質問ガ起ルカ知レマセヌケレドモ、社會ガ進ムニ從ツテ變ツテ行クノデアリマスカラ、今日カラ固定シテ置クコトハ年々變化スル日本ノ經濟ノ分配關係ニ於テ期待ハ出來ナイ、今日躊躇シテモ來年必ズ安定スルト云フ見込ミハ付キ兼ネマスカラ、ソレハ其ノ都度其ノ都度ニ於テ自作農地ヲ創設シ、片一方ニ於テハ小作條件ノ適正ナルヤウニ進メテ行クコトガ必要デアルト思フノデアリマス、土地ノ所有權ノ價値ト小作人ノ持ツ耕作權トノ關係ガドウ云フヤウニ移ツテ行クカト云フコトニ付テハ、人々ニ依ツテ

色々見込ミガ違ッテ行クト思ヒマスガ、結局耕作權ガ膨レテ行キマスレバ所有權ノ價值ハ小サクナリマス、土地其物ノ價值ハ増ス許リデ、土地ノ値段ハ増加スル一方デアリマス、人口ハ増加シテモ土地ハ増加シナイト云フ關係カラシテ、ドウシテモ土地ノ値段ハ騰ル傾向ヲ持ツテ居リマス、所有權ノ分前ト耕作權ノ分前トドウ變ルカト云フコトハ面倒ナ問題デアリマスカラ、ソレヲ自作農デ其問題ニ觸レナイヤウニスルト云フノガ此ノ趣旨デアリマス、地主ト小作人トノ分配ノ線ヲ何處ニ置クカノ決定條件タル小作條件ヲ忽ニシテ居ルノデアリマセヌ、實情ヲ見テ適正ナル小作條件ヲ決メヤウト思フノデアリマス、小作條件ニ付テ何故斯ウ云フ態度ヲ執ツテ居ルカト言ヘバ、小作立法ニ付テノ沿革ガアルノデアリマス、小作關係ノ立法ニ對スル國家ノ態度ハ、先ヅ小作調停法ヲ作ツテ小作法ヲ不文的ニ作リ上ゲテ行カウト云フコトカラ出發スルコトニ致シタノデアリマス、小作調査會デ御研究ヲ願ヒ小作法ヲ政府部内デ編ンダノデアリマスケレドモ、小作法ノ中ノドノ規定ヲ直チニ施行スベキカ、ドレハモット考究スベキカト云フコトニ付テ、小作官ナドモ地方ニ於テ折衝シナガラ考究シテ居ルコトデアリマス、政府トシテハ色々意見モ聞イテ居ナイデモアリマセヌガ、マダ具體的ニ結晶スル迄ニナツテ居リマセヌ、併ナガラ政府ハ何トカシテ立法シナケレバナラスト云フ態度デ進ンデ居リマスカラ、小作立法ト自作農地法トノ關係ハ、矢張歩調ヲ同ジウシテ進ンデ行クノデアリマス、唯々片一方ハ足ガ

早イ爲ニ先キニ進ミ、片一方ハ足ガ遅イ爲ニ遅レテ居ルダケデ、役所トシテハ同ジヤウニ進メテ行キタイノデアリマス、此土地ノ所有ヲ今欲シガツテ居ル、欲シガツテ居ルカラソレニ附ケ込ンデ所有權ヲ一ツ小作農ニ所有サセタラ宜カラウ、サウ云フ唯要望シテ居ルト云フコトニ附ケ込ンデ、自作農ヲ創設シヤウト云フ意味デヤナイノデアリマス、土地ノ所有權ハ如何ニ動搖スルカ、ソレハ色々問題ハアリマセウケレドモ、現在ノ日本ノ法制ノ立方トシテハ所有權ヲ頭カラ尊重シテ行クト云フコトガ立前ニナツテ居ル、憲法ニ於テ所有權ヲ尊重スルコトニナツテ居ル、ソレガ今日迄立法ノ根柢デアル以上ハ、是ハ矢張相當ニ所有權ハ價值ヲ保持シテ居ル、今日三十五年ノ端緒ヲヤツタカラト言ツテ、直グニ明年ニハ止マルト云フ、サウ云フ激變ガアルト云フコトヲ期待モ致シマセヌシ、又サウ云フコトモアルベカラザルモノト思ツテ此案ヲ眺メテ居ル、三十五年デアリマスケレドモ、毎年々々其時ノ事情ニ應ジテ自作農ヲ設定シテ行ク譯デアリマスカラ、小作條件ノ變改ガ自然地價ノ方ニモ反映シテ來ルト云フコトヲ御覽ヲ願ヒタイ、尙ホ小作爭議ニ付テハ色々時代ガ移リ行キツ、アルカラ、或ル場合ニ於テハ地主ト小作ノ利害ガ合致スル場合モアル、色々變遷スル、サウ云フ譯デアルカラマダ茲ニ小作條件ガ必ズ小作人ノ爲ニ有利ニ展開致シテ行クモノデアルト云フ見込ヲ附ケルコトモドウカト思フシ、サウ云フ場合ニジツトシテ居ル譯ニモ行カナイノデ、サウ云フ所ノ見込ガ明瞭ニ付カナイ以上ハ、此必要ナル自作農地ヲ創設シ得ルモノナラバ創設シテ行ツタラ宜カラウ、斯ウ云フ意味ニ於テ三

十五年ノ端ヲ開クコトニ茲ニ手ヲ染メマスケレドモ、今申シマシタヤウニエライ不安ヲ感ジナイデ進
ンデ居ルヤウナ次第デアリマス

○岩田委員 私ガ最初御尋ネシタコトニハ御答ガナイヤウデアリマス、諮問ノ範圍デス

○松村農務局長 スウ云フ御質問デアリマスカ、案ノ細目ヲ諮ツテ居ルノカ、根本ハ斯ウ云フコトデ
進ンデ行クコトニ決マツテ居ルノカト云フ……

○東會長代理 私ハアナタノ説明デ宜イト思フ、是ハモウ主義ガ決マツテ居ル、自作農ハ大分長イ間
ヤツテ居ル、ソレヲ擴張シタモノデアル、ソレデ豫算ダケハ要求シテ居ツタケレドモ、法案ハ色々ア
ラウカラ、法案ヲモット研究スルト云フノデ、コチラノ方デ切離シテ能ク練ツテ行クト云フコト、同
時ニ、小作調査會ヲ開イテ之ニ對スル腹藏ナキ御議論御意見ヲ聽イテ、サウシテ改メルベキモノガアル
ナラバ、ソレヲ改メテ一向差支ナイ譯デアル、趣意ハ是ハ新ニ創設スルノデナク、以前カラヤツテ居
ルノヲ擴張シタノデアル、此法案ハドウ云フ新シイ立法ガ出來ルカト云フコトガ此ノ自作農創定ノ立
案デアル、根幹ニ對シテハ趣意ダケハ決マツテ居ル譯デアル、ソレニ對シテ御意見ガアレバ幾ラデモ
御意見ヲ附シテ戴イテ、訂正シテ行クベキハ訂正スルニ吝カデナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デ
アリマス、唯岩田サンノ御質問ノ小作立法ヲ先ニヤツタ方ガ宜イデヤナイカト云フ、是ハ私ナドノ考
ハ小作立法ト自作農ト云フモノハ柄鑿相容レヌモノデハナイ、小作立法ト前後シテモ差支ナイモノト

思フ、小作立法ヲ全然無視シテヤラヌノカト言ヘバヤル積リデアル、ケレドモ今日ハソレ迄熟シテ居
ラス、マダ攻究スベキモノガ殘ツテ居ル、決シテ小作立法ヲ止メテシマツテ、是ノミヤツテ總テヤ
ツテ行カウト云フノデハナイノデアリマス

○松村農務局長 只今申上ゲマシタガ、小作立法ヲ先キニスル、之ヲ後ニスルト云フ前後ノコトヲ考
ヘテ案ヲ組ンデ居ルノデナク、小作立法ハ小作立法デ行ク、自作農ハ自作農デ行ツテ居ルノデアリマ
ス、コチラノ方ガ早クナツタガ、農村ノ問題トシテ兩方共ヤツテ居リマス、兩方共手ヲ擴ゲテ居ル所
デス、小作ノ方ハ問題ガ色々アル、自作ノ方ハ事柄ガ簡單デアルカラ茲ニ早く案ガ纏ツタ、斯ウ御承
知ヲ願ヒマス

○岩田委員 一寸私質問致シマシタ趣旨ヲ簡單ニモウ一遍申上ゲマス、第一ハ成程自作農ヲ創設維持
スルト云フ趣旨ハ、此ノ調査會トシテハモウ既ニ從來調査會ノ意見トシテ決定シテ居ツタノデアリマ
スガ、其方法トシテ今回ノ自作農地法案ガ、御説明ニ依リマス、此主要ナ點ハ此農地金庫ノ方法ニ
依ツテ實行シヤウト云フ所ガ主要ナ點ノヤウニ思フ、此主要ナ骨子トシテ居ル點ニ付テハ、既ニ政府
ニ於テハ其趣旨ダケハ御決定ニナツテ居ツテ、唯之ヲ實行スル上ニ於テ色々細目ノ點ニ付テ調査ヲ要
スルコトガアルノデ、其細目ノ點ニ付テ、斯ウ云フ趣旨デアルガ尙ホ意見ガアルカト云フコトノ御諮
問デゴザイマスカ、或ハ斯ウ云フ農地法案其物ニ付テ斯ウ云フ案ハ根本カライケナイトカ、是ハ宜イ

トカ云フ點ニ付テモ此調査會ノ意見ヲ御尋ネニナル趣旨デアリマスカ、其點ガ伺ヒタカツタノデアリマス、是ハ此調査ヲ致シマス根本ノ先決問題ト考ヘルノデアリマス、第二ノ小作立法ノ方ハ小作人ガ之ヲ買受ケル契約ヲシテ、三十五年ニ亘ツテ義務ヲ履行シテ行ク、所デ之ヲ履行スルダラウカドウダラウカト云フコトニ付テ、午前ニモ段々御懸念ノ點ガアリマシテ、其見込ヲ極メル上ニ於キマシテ、土地ヲ持ツテ居ルノト小作人デ小作ヲシテ居ルノト、所謂耕作權ト所有權ト其實際ノ利益ガドウ云フ差ガアルカ、ソレガ非常ナ差ガアルナラバ、何十年ニ亘ツテモソレヲ履行シテ行クト云フ見込ヲ立テル上ニ於テサウ思ハレル、併ナガラ小作法等ノ制定ノ内容如何ニ依リマシテハ、小作權ト云フモノハ非常ニ有利ナ有力ナモノニナツテ、土地ヲ持ツヨリモ小作人デ居ル方ガ却テ香氣ダト云フコトニナルト、約束ヲシテモ履行シナイ懸念ガ相當増シテ來ハシナイカ、隨テ此案ヲ確定セラル、前ニ、耕作權ニ付テノ内容ニ依テ先ヅ決マル、其後ニ此方法ヲ極メルナラバ、他ノ點ハ暫ク措キマシテ、今ノ之ヲ買受ケル小作人ハ永イ間ニ亘ツテ履行スルダラウカ、ドウダラウカト云フ見込ヲ極メル上ニ於テハ、ソレガ重大ナ關係ヲ持ツモノデヤナカラウカ、ソレガドウ云フ御考デアツタラウカト云フ點ヲ御尋シタ次第デアリマス

○松村農務局長 只今ノ第一ノ點デアリマス、此案ノ骨子ガ農地金庫ト云フコトニナツテ居リマシマス、金庫ト云フモノヲ根本的ニ可否ヲ論究スルノ趣旨ナリヤ否ヤノ御尋ネニ對シテハ、是ハ初メニモ

色々ナ方面カラ考ヘレバ、農地金庫ト云フモノヲ營利的ノモノニ變ヘルコトモ出來ルト云フコトヲ申上ゲマシタガ、ソレデ此農地金庫ノ法案ニ移リ行キマス迄ニハ、内部ニ於テハ色々ナ工風ヲシテ見タ譯デアリマス、之ヲ沿革的ニ御説明申上ゲテ、見タイト思フノデアリマスガ、結局スル所、金庫ト云フモノニ結晶スル、政府ノ内部ニ於テ金庫ト云フモノニ決シテ居リマスノハ、勿論此處ニ出シテ置キナガラ金庫ト云フモノガ不合理ナモノデアルケレドモ、賛成シテ戴キタイト云フノデヤナイ、此處マデ考ヘタ結果、金庫ト云フモノガ斯ウ云フモノニナツテ、是ガ吾々ニ於テハ適當ナモノト考ヘテ居ル、此點ヲドウ御覽ニ相成ルカト云フコトガ諮問サレテ居ル譯デアアル、併ナガラ是ガ根本的ニマダ疑問ガアルモノト不安ヲ感ズル程吾々ノ方デハ危ンデ居ナイ、露骨ニ申上ゲマスレバ——殊ニ希望ヲ申上ゲマスレバ、是ガイカスト言ハレル程ノ缺點ガナイト確信スル程、此モノニ付テハ相當ニ研究シタ結果纏ツテ來タノデアリマス、ソレハ斯ウ云フコトニ相成ル譯デアリマス、此自作農ヲ創設致スノニ根本ハ金ガ足りナイト云フコトデアアル、金ガ足りナイト云フコトニナリマスト、結局之ニ對シテノ金ハ何處カラ得テ來ルカ、ソレハ先程申上ゲマシタ如ク簡易保險ノ方デハモウ無イ、茲ニ保險局長が見エテ居リマスガ、千萬圓ヲ融通シテ戴イテ居ル、ソレニ對シテハ資金還元ト云フコトガ大變ヤカマシイ、被保險者ニ對シテ自作農地ノ融通ヲシャウト云フノデ、簡易保險ノ方ハ假ニ増額ガ出來テモ、保險契約ト云フモノト喰ツ付イテ來ル、ソレデ簡易保險ノ金ニハ多ク期待出來ナイ、斯ウ云フコトニナ

ル、其次ニ考ヘラレルノハ預金部カラ出シタラドウカト云フ問題デスガ、今此處ニ理財局長ガ見エテ居リマスガ、ソレガ或ル一定ノ金額ヲ此處デ考ヘテ居ルヤウニ出シ得ルカト云フコトニナルト、今日サウ云フ金ヲ要求スル譯ニ行カナイ、預金部ニ餘リ御厄介ヲ掛ケルコトハ今ノ所デハ出來ナイ、ソコデ其次ニ起ツテ來ル問題ハソレデハ其金ヲドウスレバヨイカト云フコトニナレバ、結局公債ヲ募集スルヨリ仕方ガナイ、所ガ金庫ハ先程申シタヤウナ性質ヲ持ツテ居ルカラ、一般市場カラ募集スルコトハ考ヘテ居ナイ、一般カラ資金ヲ引上ゲルコトヲ自作農創設ノ際ニヤリタクナイ、サウスルト地主ニ金ヲヤル代リニ金庫ハ公債ヲ渡スカト言ヘバ、金庫ハ國カラ離レテヤル方針カラシテ、公債ヲ渡スコトガ出來ナイ、ソコデ農地債券ヲ渡スコトニ結晶シテ來タ、結局金庫ノ方ノ根底ニ付テ御議論ヲ願フト其方面ニ移ツテ來ル、ソレデハ金融機關デアル銀行デヤツテハドウカ、是ハ現在ノ農工銀行、勸業銀行デハ七分乃至一割デナケレバ融通ガ出來ナイ、是ハ五分デアルカラ營利會社デハ出來ナイ、營利會社デヤツタラ是レ以上ノ保護ヲシナケレバナラス、更ニ又近頃勸業銀行ノ支店長會議ノ時ノ決議ハ新聞ニモ出テ居リマシタガ、小作爭議ノアル所ニ融通スルコトヲ見合セルト云フノデアリマスガ、吾々ハ小作爭議ノアル所ヲ先キニシャウト云フノデ、反對ノコトヲ爲ソウト致シテ居ルノデアル、サウ云フ營利法人ニ斯ル事業ヲヤラセテモ著シイ效果ハ望マレナイ、サウシテ營利法人ガヤレバ或ル程度

ノ手数料ヲ取ラナケレバナラス、尙ホソレニ對シテ損害ノ補償ヲシナケレバナラス、寧ロ農地金庫ノ仲介ニ依ル方ガ簡單デ國家ノ爲ニ有利デアルト云フコトニ結晶シテ來タノデアリマス、農地債券ト同ジャウニ或ハ勸業銀行デ出來ヤシナイカト云フノデ研究ハ致シマシタ、ソウ云フ譯デアリマスカラ民間ノ普通ノ銀行デモ勿論イケナイ、ソコデ是ヨリ仕方ガナイト云フヤウニ行詰ツテ居リマスカラ、根本ノ農地金庫デ御研究ヲ願ヒタイノデアリマス、此以外ニ何か名案ガアリマスレバ結構デアリマスカ……

ソレカラ第二ノ點ノ小作人ガ履行スルコトガ出來ルヤ否ヤト云フコトハ、法律關係トシテ、小作人ノ持ツテ居ル權利ヲ法律上ドウ云フヤウニ力強イモノニスルカト云フ問題ハ、小作立法ニ依ツテ相當ニ纏ツテ來ルト思ヒマスガ、今日小作爭議ニ現ハレテ來ルコトハ、小作料ノ問題デアツテ、小作料ハ一石二斗ガ良イトカ、三斗ガ良イトカ云フコトデ争ツテ居ル、其要點ハ分配ニ在ルノデアリマス、小作法ヲ作ツテモ小作爭議ハ絶エナイ、小作爭議ニ於テハ結局分配ノコトヲ言ツテ居ルノデアリマス、立退キトカ最後ノ踏留リニ付テ法律ハ役ニ立チマスガ、爭議ハ經濟ノ分配問題ニ付テ起ツテ居ルノデアリマス、耕作權ヲ確立スレバ、所有權ノ値段ガ段々少クナルト云フコトハ考ヘマスケレドモ、所有權ノ價ハ結局小作料カラ生レテ來ル、小作立法デ耕作權ヲ確立シタナラバ、ソレダケ小作權ハ強クナ

ル、所有權ハ落チマスケレドモ、大ナル Factor ヲ成ス所ノ小作料ガ下レバ、土地ノ所有權ノ價モ下ルノデアリマスカラ、小作法ノ問題ヨリモ、地主ト小作人ノ間ノ分配割合ガ要點デナイカト思ヒマスノデ、今日ノ考デハ小作ノ關係ガ非常ニ激變ヲシテ、自作農ニ手ヲ着ケタ爲ニ、小作人ガ非常ニ惡イ立場ニ落チルトハ思ツテ居リマセヌ、併ナガラ若シ不利益ニナツタトスレバ、ソレハ國ノ立法デアリマスカラ、其際ハ法律ヲ改正スル、農地金庫ハ法律ノ背景デ生レテ居ルノデアリマスカラ、ソレニ對シテ普通ノ債權債務ノ關係ナラバ、一旦債務ヲ負ウタ以上ハ、何處迄モソレヲ履行シナケレバナリマセヌガ、是ハ免除ノ規定迄書イテ居ルノデアリマス、社會ノ變遷ニ對シテ、自作農ニナツタ者ガ小作シテ居ル者ヨリ不利益トナツテ、公正ノ觀念カラ言ツテモ不都合デアルト云フコトデアリマスレバ、後デ免除ノ關係ニ付テ能ク考慮スルノデアリマシテ、之ヲヤツテモ三十五年間動カスコトガ出來ナイト云フヤウナ、サウ云フ窮屈ナ考デ此法案ヲ立テタノデナイノデアリマス

○増田委員 此法案ハ地主ノ爲ニモ都合ガ好ササウニモ見エマス、小作ノ爲ニモ自作ニナルニ便利ノヤウニ見エマスガ、茲ニ重要ナル問題ハ農地金庫ハ非常ニ重大ナル責任ヲ負フノデアリマス、農地金庫ハ法人組織デ、如何ナル利益ヲ受ケルノカト云フト、營利ニシテハイカスト云フコトデアアル、然ラバ義俠的ニヤラセルコトニナルノデアリマス、一方ニ農地債券ヲ出セバ五分ノ利子ヲ拂ツテ行カナケ

レバナラス、サウシテ毎年五十萬圓ヅ、十箇年間デ五百萬圓ヲ政府カラ出シテヤルダケデ、農地金庫ノ株主竝ニ經營者ハ比較的有難イトカ、甘味ガアルトカ云フコトガアルヤウニモ思ハレナイ、義俠的ニヤルノダトナレバ、ソレハソレ迄デアリマスガ、何か他ニ此法人ニハ、其仲間ニナル會員ナリ株主ニナル者ニ、或便益ノアルコト、カ、有利ナコトガアルノデアリマセウカ、其一點ヲ承リマス

○松村農務局長 是ハ農地金庫ト云フ名前ヲ附ケマシタコトガ、或意味ニ於テ色々ナ問題ヲ惹起ス原因デナイカト思フノデアリマス、私共農地金庫ト云フ名前ヲ附ケマシタノハ、一寸先程申シマシタガ能ク商賣人ナドノ取引ヲヤツテ居ル所ニ金ノ勘定ヲスル場所ガアツテ Cashier ト言ツテ居リマス、其言葉ヲ捉ヘテ金庫ト名附ケタノデアリマスガ、他ニ何か適當ナ字ガアルカト思ツテ色々考ヘマシタガ、考ヘ付キマセヌノデ農地金庫ト致シマシタ、是ハ産業組合中央金庫ト類似ノ名稱ニナリマスケレドモ、只今御話ノヤウナ意味ノモノデハナク、結局國ニ金庫局ヲ置イタト同ジデアリマス、農林省ノ中ニ農地金庫局ヲ作ツタトスレバ今ノ御話ノヤウナ株主モアリマセヌ、何モナイノデアリマス、ソレデ行ケバ國ガ金ヲ醸出スルト農地金庫ガ今ノ農地債券ト云フモノヲ發行シテ、サウシテ地主ニ渡シテヤル、サウシテ一方カラ年賦金ヲ取立テルコトニナリマス、問題ハ國ノ事務ニナツテシマフ、其場合ハ公債デ宜イガ、ソレヲ止メタ、ダカラソレヲ外ヘ出シテシマフト云フコトニナツテ、ツマリ農林省ノ中ニ

アル農地金庫局ト云フモノガ外へ出テ局ト云フ字ヲ取ツテシマツテ、農地金庫ト云フモノガ出來タト御覽ヲ願ヘバ宜イ、結局株主ハ一ツモナイ、出資スル者ガナイ、出スノハ政府ガ出スノデアアル

○増田委員 サウシマスト此法文ノ第十七條ト第十八條ト云フモノハ御趣旨ニハ副ウテ居ラヌ、第十七條ニハ「農地金庫ハ法人トシ其ノ主タル事務所ヲ東京市ニ置ク」トアル、第十八條ニ「農地金庫ノ設立ハ農林大臣ノ許可ヲ受クベシ」トアル、若シ政府事業デアラナラバ、農林省ニ農地局トシテ之ヲ置クトカ何トカアルベキモノデ、法人組織デ許可ヲ受ケテ、所謂土地ノ賣買ノ世話ヲ燒ク仲介所ノヤウニモ見エル、御説明ト文章ト一致シナイヤウニ思ヒマスガ、是デ差支ナイデセウカ

○松村農務局長 今御説明申上ゲタノハ、サウ云フコトカラ産レタ金庫デアルト云フコトヲ申上ゲタノデ、金庫ハ初メノ出發點ガサウ云フ譯デ設ケタノデアリマスガ、今ノヤウナ工合ノコトニシテ居リマスト、出スモノハ公債デナケレバナラヌ、公債トナルト全然國ノ責任ニナツテ行ク、全然無限責任ニナツテシマハナケレバナラヌ、色々ナ責任ヲ背負フコトニナル、所ガ公債デヤル積リデナイ、國カラ離シテシマフ、離シテシマフガ、是ハ干涉スルコト迄モ離シハシナイ、此點ハ法律論ガヤカマシクナツテ來ル所デアリマシテ、此處ニ色々法律學者ノ方ガ御居デニナリマスカラ之ヲドウ云フ風ニ作ツテ戴クカト云フコトヲ御相談ヲ願ヒタイノデス、サウ云フ今マデ無イ農地金庫ト云フモノヲ作ルガ、先程申シタヤウニ資本金ハ要ラナイ、何故資本金ガ要ラヌカト言ヘバ營業デヤルノヂヤナイ、新シク

地主ニナツタ者カラ金ヲ納メル、納メタ金ヲ今度ハ農地債券ヲ持ツテ居ル人ニ償還スル、金ヲ取ツテ一方へ返ス、先程申シタ Cashier ノ仕事ニ少シモ違ハナイ、營利ヲヤルノデハナイノデアリマス

○増田委員 私ハ條文ト御説明トドウモ違フヤウニ思フ

○松村農務局長 財團法人ニ近イモノデアリマス、民法ノ財團法人ハ寄附行爲ガアル、定款ニ代ルベキ寄附行爲ヲ作ツテ財團ヲ作ルノデアリマス、所ガ農地金庫ニ付テハ、寄附行爲ガ即チ此法律デアリマス、此法律ガ寄附行爲ニナツテ居ル、毎年五十萬圓ヅツ十年間出スノデアリマス、ソレデ此財團ガ出來テ、其財團ヲ政府ガ許可スル、ソシテ農地債券發行ニ要スル金ト、ソレカラ農地債券ヲ發行價格デ渡シマスカラ、其差金ヲ國庫ガ償ツテ行クノデアリマス、其外必要ナル經費ハ出シテヤラウト云フノデアリマス、其經費ト云フノハ取立ノ費用デス、此等ノ費用ヲ基金ノ外ニ毎年國庫カラ補給スルノデ資本ガ要ラナイノデアリマス、資本金ヲ出セバ世間並ノ會社ガ出來テシマフ、出資スレバ產業組合ト同ジモノガ出來ル、サウ云フ資本ハ要ラナイデ基金ヲ醸出スルノデアリマス、民間ノ相互保險會社ト同ジ様ナ譯デ、基金ヲ醸出シテ經營スル、被保險者ガ多く出來レバ基金ガ不要ニナルト同ジ様ナ關係ノ財團ヲ作ルト云フノデス、ソコデ斯ウ云フモノヲ作ルガ、ドウデアリマセウカト云フコトヲ御相談シテ居ル譯デアリマス、サウ云フ次第デアリマスカラ、是ハ現在ノ法律ニナイコトヲヤツテ居ルノデアリマス

○阪本委員 サウスルト今ノ御説明ニ依リマス、最初ノ年ハ五十萬圓、翌年ハ百萬圓ニナル、其利息ガ事務執行費ニナツテ、十年経ツタ時ニハ五分ニ廻シテ、二十五萬圓ダケデ仕事ヲシテ行ク、相當事務員モ使フデアリマセウガ、六分ニ廻セバ三十萬圓デアリマスガ、ソレダケデ仕事ヲスルノデスカ

○松村農務局長 ソレハ能ク申上ゲマセスト文字ハ意ヲ盡シテ居リマセヌガ、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、農地金庫ハ只今申上ゲマシタヤウナ機關デアリマスカラ、農地金庫ハ金ヲ儲ケルコトハ要ラナイ組織デ出来テ來タ、金ハ全部使ツテシマフノデアリマス、之ヲ基金ト申シテ資金トハ謂ハナイ資本金デスト御質問ノヤウニ醸出シタ五十萬圓ヲ其處ニ置イテ置カナケレバナラス、サウシテ利息デ運轉シマスノデアリマスガ、是ハサウヂヤナイ、元金ハ食ツテシマツテ宜イ、七十年目ニハ「ゼロ」ニナツテシマフ、十年間五十萬圓宛出シテ五百萬圓出セバ政府ハソレカラハ事務費ノ關係ニ於テハ御世話シナイ、ソレヲ七十年間濟シ崩シニ食ツテ來テ、七十年間経テバ「ゼロ」ニナル、此ノ案デハ自作農地ノ創設ヲ三十五年ニ一先ヅ切ルコトニナツテ居ルガ其ノ後尙引續キヤルト云フコトニナレバ、ソレカラ又五十萬圓醸出シテ行ケバ宜イ、先ヅ五十萬圓金ヲ出シテ置イテ、ソレヲ元金ニシテ、ソレヲ食ツテ行カウト云フコトデ、茲ニ基金ト書イテアルノデアリマス

○阪本委員 十年ト御切りニナツタコトガ分ラス、政府ハ毎年何々ノ費用トシテ五十萬圓ヲ寄附スト云フナラバ宜シイガ、是デ行ツテ十一年目カラハ何ヂヤリマスカ、取次ヲシテ居ルダケデ經費ガナイカラ、十一年目カラハ餓エテ死ンデシマハナケレバナラス

○松村農務局長 ソレハ一年毎ニ少シ宛七十年間濟シ崩シニ出シテモ差支ナイ、ソレモ一ツノ立方デアリマスケレドモ、ドウモ此法人ハ財團法人ニシタイノデアリマス、或ル財團ヲ持タシテ置キタイト云フコトガ趣意デアル、或ハ財團ヲ持タシテ置イテ其財團カラ食ツテ行ク、元來世間ニ在ル公益法人モサウデアル、或ル財團ヲ成シテ或ル年度ガ經ツト財産ヲ費シ盡シテ財産ハ零ニナル、ソレガ目的デアル、元々財産ヲ殘スコトガ趣意ヂヤナイ、本當ノ趣旨カラ言ヘバ何年間ニ仕事ヲシテシマハウト言ヘバ、何年間ニ目的タル事業ノ成就ト共ニ丁度財産モ無クシテシマフ計畫ヲ立テナケレバナラス、其何年間ニ無クシテシマハウト云フ計畫ガ是デアル、年々五萬圓ナリ十萬圓ナリ出シテ行ツテ、永久ニ出ス遣リ方モ出来ル譯デアルガ、此ノ遣リ方ハ十年間五十萬圓宛出シテ行ツテ累計五百萬圓ニナリマスガ、ソレカラ先ハ行詰ルノヂヤナイ、一方ニ於テ年々基金ヲ食ツテ行ク、五百萬圓ノ金ガ現存スルノデハナイノデ、五百萬圓ハ累計デアリマス、基金ノ内ヨリ或年ハ二十萬圓出ス、或年ハ十萬圓出スト云フヤウニシテ食ツテ行ツテ、七十年経ツト零ニナルノデアリマス

○阪本委員 最初ノ年カラ營業費ハ要ルカラ、五十萬圓ノ内少クモ十萬圓ナリ二十萬圓ナリ使フ、翌年モ使フ、年々使ツテ二十年モ経ツト殆ト五百萬圓ノ金ハ食ツテシマフ、相當賞與ヲヤルトカ慰勞金ヲヤルトカ云フコトモアリマセウ

○松村農務局長 ソレハ第十九條ニ設立ノ日ヨリ七十年トアリマスカラ、七十年間存立スルダケノ金ヲ茲ニ極メテアリマス、十年間五十萬圓宛出シマシテ其金デ七十年間ニ割振ツテアルヤウニ出來テ居ル

○山本會長 十箇年間五十萬圓宛出シテ行ケバソレデ七十年ノ生活ガ出來ル……

○松村農務局長 七十年間毎年出スコトニシテモ差支ナイガ、十年間ダケ出スコトニシテ斯ウ云フコトガ出來ルト云フノデ今ノ案ヲ拵ヘタノデス、法律論ガヤカマシイカラ……

○山本會長 ソレデ困難ハ、之ヲ政府ノ仕事ニシテ農林省ノ中ニ局デモ置イテヤルコトニナレバ、結局債券デナク公債ト云フ形ニナル、公債ト云フ形ニハ今日ノ場合出來ヌ、サウスレバ一ツ茲ニ債券ノ作用ニ依ツテヤル、斯ウナツテ來ルト其債券ヲ發行スル一ツノ「コーポレーション」ヲ拵ヘナケレバナラス、ソコデ此法人ヲ拵ヘルコトニナルト、此法人ガ今日ノ法律ノ上カラ睨ンデドウ云フ性質ノモノダト云フ、斯ウ云フ法理論ガ起ツテ來ル、ソコデビタリト今日民法商法ノ規定ニ合致スルヤウナ法人ト云フモノデナクシテ、初メカラ組合組織ニスルトカ何トカ云フノナラバ問題ガナイガ、サウデナクシテヤルト云フヤリ方ガ今度ノヤリ方ニナツテ來ル、然ラバ今迄ニ斯ウ云フヤウナ形ノ法人ガアルカト言ヘバ今迄ハナイ、無イモノヲ新ニ必要ノ爲ニ此立法ニ依ツテ拵ヘヤウ、斯ウ云フ譯デス、ソレガ宜イカ悪イカハ別デスガ……

○齋藤(隆)委員 最前私岩田君ノ質問應答ヲ聽イテ居テ徹底シナイ所ガアリマス、岩田君ノ質問ハ詰

リ言葉ヲ換ヘテ申シマス、此小作調査會ハ此案ヲ審議スル權能ト云フカ、權限ニ關スル質問デアツタ、詰リ此ノ審議事項ヲ確定スルコトデス、自作農地法案ニ示スガ如キ制度ニスル、此制度ハ政府ノ方デ御決定ニナツタ制度デアツテ、此内容ノミニ付テ審査スルノカ、或ハ其制度其モノニ付テ全體ノ可否ヲ極メルコトモ出來ルノデアルカ、此制度ニ付テハ是ハモウ御決定ニナツテ居ルノデアルカト云フコトニ對スル御答辯ガ、ハツキリシテ居ナカツタヤウデアリマス

○山本會長 私岩田君ノ御質問ノアツタ時ニ中座シテ居ツタ爲ニ、或ハ答辯ガハツキリシテ居ナカツタカモ知レマセヌガ、先刻農務局長カラ縷々述べタ通り、簡易保險ノ金モ此以上澤山増加スルコトハ出來ナイ、サレバト言ツテ公債デヤル譯ニモイカナイ、ソレカラ又既設ノ金融機關ニ依ツテヤル譯ニモ行カナイ、其結果ガ詰リ今日以上ニ自作農ノ創設維持ト云フコトガ、國情ノ上デ必要デアルト云フコトデアレバ、モウ債券ノ作用ニデモ由ツテヤルヨリ外ナイト云フ所ヘ到着シテ、是ガ即チ政府ノ今度ノ此案トナツテ現ハレタ譯デス、ソレニ政府ト致シマシテハ大體此仕組ハ一ツノ法人ヲ拵ヘテ、其法人ノ發行スル債券ノ作用ニ依ツテ、自作農地創設維持ノ目的ヲ達シタイ、是ハモウ政府トシテハ骨子ダケハ極メテ居ル方針デアリマス、ソコデ此御審議ヲ願フニ當ツテハ、大體此政府ノ方針ヲ御認メ下サツテ、サウシテソレヲ實行スル方法ニ付テノ細カナ法律案ヲ、御審議下サルト云フコトニ願ヒタイノデス、然レドモ根本ノ此組方ニ付テ御異存ガアルト云フコトデアツタナラバ、ソレニ對シテノ御

意見ヲ徴スル次第デナイトハ決シテ申シハシマセヌ、ソレハ其點ニ付テモ御意見ガアレバ十分ニ闘ハシテ戴キタイ、大體ノ立前トシテハ、法人ニ依ツテ發行スル債券ノ作用ニ依ツテヤリタイト云フノハ政府自身ノ信念トシテハモウ定マツテ居ルコトデアリマスカラ、ソレニ基イテ御審議ヲ願ヒタイ、然レドモ此法案ノ根本ノ立方ニ付テノ御意見ガアリトスレバ、是亦決シテ其御審議ヲ願ヒタクタイト云フ次第デハナイノデ、勿論謹ンデ御意見ヲ承リマス、ソレニ依ツテ此案ガイケナイト云フコトニナツテモ、ソレハ已ムヲ得ナイコト、思ヒマス

○齋藤(隆)委員 餘リ露骨ナ無遠慮ナ質問デアリマスガ、例ヘバ簡單ニ申シマス、此案其物ガイカスゾト言ツテ、絶對ニ農地法案ト云フモノ、反對ノ意見ヲ述ベルコトモ此會ニ依ツテ出來ル、サウシマスト政府ノ方デハ此案ヲマダ御決定ニナツテ居ラヌノデアリマスカ、御決定ニナツテ居ラル、ナラバ會ノ方デ政府ノ方針ニ反對ノ意見ヲ述ベテモ、唯ソレ迄ノモノニナリマスガ……

○山本會長 ソレハ決定シテ居リマシテモ政府ハ政府、此調査會ハ調査會デスカラ、調査會デサウ云フ御意見ガアツテモ、ソレハ一向差支ナイト思ヒマス

○末弘委員 根本ノ問題ハ只今モ御説明ガアリ、實ハ前カラ豫想シテ居リマシタノデ、根本論ハ少シモ御伺ヒスル積ハナカッタノデスガ、唯先程ヨリ松村局長カラ色々御説明ヲ聽イテ居ル中ニ、此法案ヲ動カスニ付テノ疑問ヲ大分持ツテ來タノデアリマス、ソレニハ色々事ニ關聯シマスガ、根本ノ問

題ハ、曩ニ松村局長ハ小作人ニ今日ノ状態ニ於ケル小作料ト同ジモノヲ今後納メサセルナラバ負擔ハ特ニ重クシナイカラ、是デ今後三十五年間經ツテ行クト土地ノ所有權ヲ得ルコトニナレバ、少シモ小作人ヲ壓迫スルモノデナイト云フコトヲ言ハレマシタ、ソレカラ又先程那須委員、岩田委員ノ御質問ニ對シテ、小作法ハ小作法、自作農地法ハ自作農地法ダカラ、片方が偶々早く出來タカラ是ダケヤレバ宜イト言ツテ、兩方ノ間ニ極メテ密接ナ關係ガアルニモ拘ラズ、餘リ有機的ノ關係ガナイカノ如キ御説明ニナツタノデアリマス、所ガ一體私御伺シタイノハ、ソレデハ農林當局ハ小作條件ト云フモノハ、今後三十五年間今日ノ儘デ同ジ狀況デ續クモノデアルト云フコトヲ、豫想ナサツテ居ラレルノカ、若クハソレヲ理想トシテ居ラレルノカト云フコトヲ御伺ヒスル必要ガアルヤウニ思フ、ソレデ松村局長ノ先程カラノ御説明ノ中ニ「イヤソレハ今年賦金デ返ヘサセルカラ貨幣價值ノ下落デ自カラ解決ガ付ク」ト言ハレマスガ、政府ハ貨幣價值ノ下落デドウニカナルト云フ御説明ヲ、公債ヲ借リル時ニ正々堂々ト何處ニ行ツテモサウ云フ説明ヲ爲サルコトガ出來ルト云フ考ヲ持ツテ居ラレルノデアリマセウカ、最モ驚イタノハ小作條件ハ良クナツテ參ルカラ負ケテヤツテモ宜イト云フコトヲ、先程岩田委員、那須委員ノ御質問ノトキニ言ハレタヤウデアリマスガ、サウスルト農地金庫ノ計算ハ成立タナイノデナカラウカ、年賦金幾ラト決メタラ、最後迄負ケテヤルコトガ出來ナイト云フコトニシテ置カナイデ、負ケテヤルコトガ出來ル、ドウニカナルト云フコトガ御本旨デアラレルト、私共ハ此案ノ根本

ノ考ハ甚ダ不健全デアルト思フデアリマス、從ツテ三十五年間今日ノ小作條件ガ變更セズニ續クコトヲ豫想セラレ、若クハ理想トセラレルト、今日以後小作法ガ如何ナル條件ニ改訂セラレルカ、小作法制定以外ノ理由ニ依ツテ變化スルノデアルト云フ問題ト關聯スル上カラ申シマスルト、自作農地創設ノ當時ノ歩合ヲ決定セラレル算式ガ創設維持ノ中ニアリマスカ、今日ノ土地ノ價格ヲ決スルニ付テ、小作人トシテハ耕作權ハ世ノ中デ値打ノアル權利デアリマス、法律デ決メテハアリマセヌガ、小作人ガ地主カラ土地ヲ買フ場合ニ耕作權ダケヲ差引イテ土地ノ値段ガ決マラナケレバナラナイノデアリマス、ソレデナケレバ小作人ハ承知シナイ、サウシテ其問題ハ小作法ヲ如何ニ作ルカト云フ問題ト密接ノ關係ヲ持ツテ居ルノデアリマス、大體此方ハ容易イ、向フハ困難ダ、ソレカラ今後變ツテモ今年ハ今年ダ、明年ハ又明年デ三十五年先キノコトダカラ宜イト言ハレマスガ、今年ノモノハ今年ノ儘デ三十五年、來年ノモノハ來年ノ儘デ三十五年續クノデアリマス、餘リ御説明ガアリ過ギタ結果、非常ニ疑ヲ挾マザルヲ得ナイヤウニナツタノデアリマス、其點ハドウ云フヤウニナルノデアリマスカ

○松村農務局長 今日ノ小作料ノコトニ付テ申上ゲタノデアリマスガ、ソレヲ貨幣ノ問題ト聯關シテ御話ニナルヤウデアリマス、政府ハサウ云フ主義デアルト言ツテ宜イカト云フコトニナレバ、私一個トシテハ答辯ノ仕様ハナイノデアリマス、政府ハ何トカ言フトカ言ハナイトカ云フ問題デナシニ、私

ハ事實ヲ申上ゲテ居ル、貨幣價值ノ下落ハ事實デアリマスカラ、事實ノ議論ヲ私ハ言ツテ居ル、獨逸ノ「レンデン・ブリーフ」ヲ作ルトキニ土地ノ價格ト云フモノト、金納小作料ト物納小作料トノ關係ニ付テモ農産物ノ價格ノ上ルコトモ認メテ居リマス、貨幣ノ價值ノ段々下リツ、アルト云フコトハ、何處デモ認メラレテ居ル通説デアリマスカラ、ソレヲ申上ゲタノデ、ソレニ付テ政府トシテノ議論トスルト、私ハ御答スルコトハ困難デアリマス、尙ホ小作條件ガ同一デ續クカ、ソレヲ理想トシテ居ルカト云フ御尋ハ、私ハ續クトハ思ツテ居リマセヌケレドモ、變化スルト云フ御議論ヲ御採リニナルニシテモ、此處迄ハ變更スルト云フコトヲ仰シヤルコトハ出來ナイ、一割減ハ宜シイ、ソレ以上變化シナイト云フ斷言ガ出來ルナラバ、私ハソレニ依ルノデアリマス、私ハ存續スルコトヲ理想トシテ居リマセヌガ、何處迄變化スルト云フコトハ私ニモ分リマセヌガ、變化スルト云フ論者ニモ亦分ラナイノデアリマス、實ハソレヲ論究シテ居ルト自作農ニ手ヲ着ケルコトガ出來マセヌカラ、手ヲ着ケルコトガ必要ナラバ手ヲ着ケヤウト云フノデ、今日進ンデ居ルノデアリマス、ソレカラ毎年々々小作條件ガ違ツテ居ルト云フコトヲ申シマシタノハ、此案ハ初カラ確信ガナイト云フコトデ申シテ居ルノデハナイ、三十五年ト云フコトヲ申シテ居リマスガ、簡易保險ハ三十五年デヤツテ居ル、ソレハ矢張同ジ確信ノ下ニヤツテ居ルノデアツテ、政府ハ三十五年ハ不變ノモノトシテヤツテ居ル、三十五年ハ變化スルカモ知レマセヌガ、三十五年ヤツテ居ルカラ、三十五年モ同ジ態度デヤルヨリ外ハナイノデアリマス、

自作農創設ニ對シテハ先刻モ申シタ通り、從來ヤツテ居ルコトヲ擴張スルダケデ、別ニ新シイコトニ手ヲ染メルノデナイ、唯、大分永イ間ノ問題ヲ取扱フコトデアリマシテ、民法制定以來貸借權ノ規定ガ今日トナツテハ不備ニナリ、小作法ヲ以テ臨マナケレバナラヌヤウニナツタ如ク、此法モ先キニ行ツテ何か不備ガアレバ變ヘタラ宜クハナイカ、是ガ三十五年間不變ノモノデアツテ、何等融通ヲ付ケルコトガ出來ナイ、膠着シタ立法デアルト云フ意味デ、此案ニ臨ンデ居ナイト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、併シ來年變ヘテモ宜イト云フヤウナ、弱イ眺メ方ヲシテ居ナイト云フコトヲ申シタイノデアリマス、ソレカラ耕作權ノ關係デアリマスガ、耕作權ヲ法律デ認メル、認メナイト云フ問題ニ付テ先程岩田サンノ御質問ニ御答シタノデアリマスガ、評價ノ問題モ大切デアリマス、耕作權ト云フコトハ小作ノ方デ喧シク申シマス、道路ノ附替ヘヲシタ時ニ所有主カラ賠償ヲ得ル時ニ、耕作權一段歩ニ付テ百五十圓寄コセト云フヤウナコトガアリマスガ、結局三十圓トカ五十圓トカ金ノ話デ落着クノデアリマシテ、要スルニ金額ノ問題デアツテ、權利ヲ翳シテ居ルガ、金ノ問題デアリマス、從來ノ補助施設デモ耕作權ニ値段ノアル小作地ニ付テハ其價格ヲ差引イテ、價格ヲ定メテ居ル譯デアリマス、今ノ御趣旨ノヤウナコトハ、運用ノ際ニヤツテ居リマス、耕作權ハ算入シテヤツテ居ルノデアリマス、ト云フト小作立法ノ定ラナイ前ニ小作立法ヲヤツタコトニナリマスカラ、サウモ言ヒマセヌガ、事實ハ認メテ居ルノデアリマス、此立法ハ寧ロ小作權ノ立場ニ立ツテ居リマスカラ、不利ナコトガ小作人ニアリトス

レバ、ソレダケノコトハ何時モ考慮シナガラ本案ノ不備ヲ補ツテ行クノデアリマス、

○増田委員 松村農務局長ハ最初カラ樂觀主義ノ御答辯デアリマシタ、農地金庫經營ノ局ニ當ル財團法人ノ人々ハ、私ハ十數年後ニハ年賦償還ノ出來ナイモノガ生ジタリ、色々出來ナイモノガ生ジテ來テ、容易ナラヌコトニ出會フト思ヒマス、若シサウ云フコトガナケレバ幸デアリマスガ、ト申スノハ今日自作農タラントスル者ハ、土地所有權ニ對スル渴望者デアル、併シ三十五年ノ後ハ次ノ時代ニナル、親爺ハ熱心ニ希望シタガ、倅ハ農業者タランヨリハ大工、左官、屋根屋ニナツテ、農業ヲ希望シナイト云フヤウナ者が澤山出來テ來テ、農業労働ヨリモ工業労働ニ傾ク者が、増加ヲシナイトモ限ラナイ、サウスルト財團法人タル農地金庫ニ對シテハ、十分ナル信用ヲ維持セシメ、其農地債券ハ十分價值ノアルモノニシテ置カナイト、土地ヲ讓ツタ人が非常ニ後ニ後悔スルヤウナコトニナルト思ヒマス、ソレニハドウシテモ政府ノ補償が必要ト思フノデアリマシテ、農林大臣モ御心中デハ國家ガヤツテ、公債デヤルト云フヤウナ御考モアルラシイケレドモ、巨額ノ公債ヲ發行スルコトガ出來ナイカラ斯ウ云フ變態ノ財團法人ヲ立テ、裏面カラ政府ガ世話スルノデアルト言ハレタ點カラ見テモ、政府ガ補償ノ位置ニ立ツト云フ御考ガアリハシナイカト思ヒマスノデ、此點ヲ一ツ伺ヒマス

○松村農務局長 只今ノ財團法人ガ三十五年ノ間ニ次ノ代ニナツテ困ルダラウト云フ御質問デアリマス、通常ノ不動産貸付デモ、三十年四十年ト云フノガアリマスカラ、是モ其場合ト餘リ變ラナイト思

ツテ居リマス、同時ニ此法律ノ中デ命令ノ定ムル所ニ依ツテ、代ノ變ルコトヲ豫想シテ居リマス、農村ヲ去ル者ノアル代リニ、又農村ニ這入ツテ來ル者モアリマスカラ、更替ノ行ハルコトヲ考ヘテ居リマス、自作農地ヲ讓受クル者ハ從來ノ權利義務ヲ承繼スルコトニナリマス、又農地金庫ガ自作農地ノ所有權ヲ取得スルコトモアリマス、從來ノ地主ニハ從來納付シタ金ダケヲ返シマス、農地金庫ハ公益的ニ活動スルノデアリマシテ、固定ト云フ問題ハ恐レナイ、普通ノ金融業者ハ不動産ノ金融ヲスルケレドモ、固定スルコトガ困ルノデアリマス、農地金庫ハ最初ノ創設ノトキニ慎ムノデアリマスカラ、其固定ハ先ヅナイ位ニ慎重ニ行フコトガ第一デアリマスガ、今ノヤウニ次ノ代ノ者が引受ケナイトキハ農地金庫ガ地主ニナリマス、併シ是ハ變態デアツテ、農地金庫ハ又新シイ者ヲ探シテ此處ニ又植付ケテ行ク、即チ此運用ヲ致シタ後ニ於テ色々ナコトガ産レテ來ルコトヲ、私共ハ考ヘテ居リマス、又農地金庫ニ代ルベキ農地供給組合ヲ作ルコトモ考ヘテ見タノデアリマス、地主ガ農地ヲ持寄ツテ、農地供給組合ヲ作ツテ、年賦償還デ返スコトヲ考ヘテ見タノデアリマスガ、小規模ナラバ出來ルノデアリマシテ、今日デモ數個ノ事例ハアリマス、又大地主デ年賦償還ノ方法デ土地ノ代金ヲ支拂ハシムルコトニ依リ自作農地ノ創設ヲ助成シテ居ル向キモアリマス、山形縣デハサウ云フコトヲ行ツテ居リマス、是モ相當好イ結果ガ産レテ居ルノデアリマス、ソレカラ政府ガ補償スル必要ガナイカト云

フ御質問ニ付テハ、農地金庫ハ全然儲ケナイノデ、五十萬圓ノ金ガ這入りマスト、使フ迄ハ預金部ニ入レテ置イテ、預金部以外ニハ運用シナイノデアリマス、唯仲介ダケスルノデアリマスカラ、預金部ニ適當ニ融通シテ戴ケバ宜イノデ、農地金庫ハ全然金ニ觸レナイ、金ノ要ル時ニ預金部カラ出シテ支辨スルノデアリマス、又事務費以外ニ國ガ補償スルカト言ヘバ、補償スルノデアリマシテ、債券ヲ割引イテ發行スルコトヲ得トナツテ居ル結果、償還スル時ハ額面償還デアリマスカラ、其差額ハ政府ガ出スコトニナツテ居リマス、今仰シヤツタコトハ全部補償スルコトニナツテ居リマス、ソコデ財團ヲ經營スル者ハ何等ノ心配ハナイ、コンナ苦勞ノナイ財團ハナイ、尤モ仕事ヲスルノニ苦勞ハ要リマ스가、金ノ心配ハナイノデアリマス

○増田委員 私ノ質問シタ趣意ハ農地債券ト云フモノハ後ニハ非常ナ巨額ニナル、年ニ八千萬圓宛假ニ三十五箇年發行スレバ二十八億圓アル、其間ニ多少償還サレマスケレドモ、二十億以上ノ農地債券ト云フモノハ莫大ナモノデアアル、之ヲ唯財團法人ガ出シタト云フノデハ價格ノ下落ヲ來ス處ガアル、故ニ明カニ農地債券ノ元利償還ニ對シテハ政府ガ保證スルト云フコトガモウ債券ノ券面ニモ明記シテアルト云フコトデアレバ、農地債券ノ下落ヲ防グコトガ出來ル、ソレヲ御ヤリナサル意思ガアリマスカト云フコトヲ尋ネタノデアリマス、是ハ會長カラ一ツ御答ヲ願ヒタイ

○松村農務局長 法律ニ書イテアリマス

○山本會長 政府ノ保證ハ或ル程度迄ノ保證デス、公債トハ違フ、公債ハ絶對ニ國ノ信用デ持ツテ居ル、國ガ絶對ニ責任ヲ負ハナケレバナラス、此債券ハ一面ニ於テ土地ヲ仲介スル場合ニ、片方ニ對シテ債券ヲ發行スルト同時ニ、其債券ニ對シテハ擔保ニ取ツテ居ル土地ガ見返ニナツテ居ル、發行者ガ債券ニ對シテ自分ガ抵當ニ握ツテ居ル土地ガ擔保ニナツテ居ル、見返ニナツテ居ル、此點ニ於テ極メテ安全ナモノデアアル、相當ノ信用ヲ是ダケニテモ博シ得ルモノト思ハレル、故ニ政府ノ保證ト云フコトハ、公債ト同ジ性質ニ於テノ保證デハナイガ、法律ニズツト何箇條カニ亘ツテ或ル年度迄ノ責任ヲ國家ガ負フコトニナツテ居ル

○増田委員 ソレヲ明ニ政府ガ元利償還ヲ保證スルトスレバ簡單明瞭デアアル

○松村農務局長 此事ハ法律ノ五十七條カラ五十九條ニアリマス、五十七條ニハエライコトガ書イテアリマス、年賦償還ノ取立ノ費用迄、損失ノ補償ノコトガ書イテアリマス、之ヲ農地債券ノ中ニ書ク譯ニハ行キマセヌ、五十七條ヲ御覽ヲ願ヘバ分リマス、損ヲスルコトハナイノデス

○山本會長 是ガ保證ニナツテ居リマスガ、増田君ノ言ハレルノハ素人分カリノスルヤウニ總テ政府ガ責任ヲ負フト云フコトヲ書イタ方ガ宜イト云フノデアアル

○松村農務局長 自作農地法ニ於テ政府ハ債券ノ償還ヲ確保スルモノトスト云フコトヲ書イテモ宜シ

ウゴザイマス

○濱田委員 只今ノ點ハ重要ナ點デスガ、御説明ヲ承ツテ却テ疑ヲ生ジタ、私ハ五十七條、五十八條五十九條、殊ニ第五十九條ニハ「前二條ノ場合ヲ除クノ外農地金庫其ノ業務上受ケタル損失ヲ填補スルコト能ハザルトキハ政府之ヲ補給ス」ト書イテアル、總テノ業務上ノ結果トシテ起ツテ來タ損失補償ハ包括的ニ五十九條デ規定シテ居ルデヤナイデスカ、増田君ノ言フタノハ是デヤナイデスカ

○松村農務局長 五十九條デ總テ補償スル、凡ソ業務上ノ損失ハ全部政府デ引受ケル、併ナガラ此處ニ業務上ト書イテゴザイマスカラ、業務上デナイモノハ補給シマセヌ、是ハ監督ノ方デ行クヨリ外仕方ガナイ

○濱田委員 要スルニ増田君ノ言ハレルノハ第五十七條ノ差額、第五十八條ノ年賦支拂金ノ全部若クハ一部ノ免除或ハ凶作其他不可抗力ノ被害ノ爲ニ支拂方法ヲ變更スルト云フコトデ、農地金庫ヘ損失ガ來ル時ハ之ヲ補償スル、ソレカラ前二條ノ場合ヲ除ク外業務上受ケタル損失ト云フノハ、結局長イ間ニハ多クノ中デアアルカラ不納者ガ出ル、今迄千萬圓ノ簡保金ヲ運用シテ一人モ不納者ガナイガ、今後此方法デ擴張シテヤレバ實際トシテハ幾ラカ不納者ガ出ル、不納者ガ出ク結果生ズル損失ハ業務上受ケタ損失デヤナイデスカ、之ヲ業務上ノ損失ト見ルカラ増田君ノ心配サレルコトハ是デ保證シテ居ル

○増田委員 券面ニ書クコトニシタラドウカト云フノデア

○濱田委員 ソンナコトハ出来ナイ、農地債券ノ裏ヘソンナコトハ書様ガナイ

○橋本委員 第三十八條ニ農地債券ノ毎年ノ發行ハ八千萬圓トアリマスガ、此金額ヲ八千萬圓ト致シマシタ根據ヲ伺ヒタイ、ソレガ一ツ、今一ツハ此自作農地ノ創定政策ヲ此法案ニ依ツテ施行スル後ニ於テモ、引續キ從來ノ如ク簡易生命保險ノ方カラ大體千萬圓位宛出シテ貰ツテ、自作農ノ創設ヲヤル積リデアルト云フ御話デアリマスガ、此方ガ引續キ同ジ年賦金デ以テ二十五箇年デ宜シイ、併ナガラ自作農地法案、此方ニ依ルモノハ同ジ年賦金デ三十五年掛カル、斯ウ云フ風ナ差別ヲシタ儘デ御ヤリニナルノデアリマスガ

○松村農務局長 此八千萬圓ノ問題ハ最初申上ゲマシタ如ク、現在ノ小作農地ノ三割ニ當ルモノヲ、此農地債券ノ發行ト簡易保險積立金ノ運用トノ兩方デ三十五箇年ニ自作農地ニスルト云フコトカラ出テ居ル金額デア、農地債券額面ト發行價格ノヒラキヲ一割即チ額面百圓ヲ九十圓ノ割合ニテ交付スルモノト見テ居ル、スルト農地債券額面八千萬圓ノ發行ニ依ツテ毎年七千二百萬圓ノ土地ノ購入ガ出来ルコトニナリマス、サウシテ田畑一町歩ノ價格四千圓ト云フコトニシテ計算シテ、三十五年間ニ六十三萬町歩、之ニ簡易保險積立金ノ運用ニ依ルモノ約十二萬町歩ヲ加算セバ、現在ノ小作地ノ約三割ヲ自作農地トスルコトガ出来ルコトニナルノデアリマス

ソレカラ簡易保險積立金ノ運用ニ依ル從來ノ施設モ續行スルノデアリマスガ、簡易保險ノ方ハ割ガ宜イノデアリマスカラ、此ノ兩施設ヲ併行スル場合ニ於テ此ノ關係ガドウ云フコトニナツテ來ルカト云フ點ニ付テ、色々研究ヲ致シタノデアリマス、御承知ノ如ク從來ノ施設デハ貸付利率カ三分五厘ト云フコトニナツテ居ルガ之ハ非常ナ恩典デアツテ、今日デハ要望ガ非常ニ多イ、一億數千萬圓位ナ要望ハ何等コチカラ勸誘的ノ事ヲシナイデ出テ來テ居ル、ソレニ對シテ千萬圓シカ割當ガ出來テ居ナイ關係上、各府縣デ貸付クル金額ハ一人當リ平均八百圓位ニナツテ居リマス、從テ之ニ依ツテ創設セラルル面積ハ一人當平均二、三反位デアリマスカラ多クノ場合ニ於テ小作人ハ此ノ施設ニ依ツテ小作兼自作ト云フコトニナルノデアリマス、斯ル狀況デアリマスカラ農地債券ノ發行ニ依ル本制度ヲ實施スル場合ニハ簡易保險積立金ノ貸付ニ依ツテ二、三反步程度ノ自作農地ヲ取得セシメ、殘リノ部分ハ此農地債券ノ方デ融通ヲ付ケル、サウシテ創設シタ土地ノ負擔ハ先程申上ゲタ如ク其土地ニ付テノ小作料ヲ標準ニシテ居ルカラ、兩方共同ジ金ヲ納付シテ行クコトニナリマスガ、唯片方ハ二十五年デ切レテシマウ、一方ハマダ後二十年續イテ居ルト云フ關係ニナル、即チ自作農地ヲ取得シタ者ハ期限ノ違ツテ居ル二ツノ資金ノ融通ヲ受クルコトニナリマス、斯ウ云フ關係ニナツテ居ツテ、兩方並行シテ行ツテ、別ニ支障ガナイト云フコトニナルノデアリマス

○橋本委員 サウ致シマス、今ノ御説明デハ金ガ全部自作農地ノ創設ノ方ニ廻ルヤウデアリマスガ、

自作農地維持ノ方ニハドノ位ノ金ヲ御廻シニナルデアリマスカ、計算ノ根據ヲ御伺ヒ致シマス

○松村農務局長 此案ハ大體ニ於キマシテ自作農地創設ヲ主眼トシテ居リマス、從テ自作農地ノ維持ト申シマシテモ創設ニ準ズベキ場合ニ限ル趣旨デアリマス、ツマリ小作人が適當ナ土地ノ賣物が出タ場合ニ機會ヲ逃ガシテハ其ノ土地ヲ手ニ入レルコトが出来ナイ、サウ云フ場合ニハ自ラ資金ヲ調達シテ其ノ土地ヲ購入スルト云フ様ナコトが起ツテ來ル、サウ云フ場合ニハ自己資金ガアツテ土地ヲ購入シタノナラバヨイガ、購入地ヲ抵當ニ入レル等ニ依ツテ他カラ高利ノ資金ヲ借入レテ代金ヲ支拂ツタ爲ニ其ノ儘デハ折角購入シタ土地ヲ維持スルコトが困難デアルト云フ様ナ場合ニハ本施設ニ依ツテ資金ヲ融通シテ之ヲ維持スルト云フ途ヲ開クコトニ致シタノデアリマス、從來ノ補助施設ニ於テモ自作農地ノ維持ハ此ノ方針ニ依ツテ居ルノデアリマス

○橋本委員 サウスルト維持ヲヤルト、ソレダケ自作農創設ノ方ガ減ル譯ニナリマスカ

○松村農務局長 維持ノ方ハ前ニ申上ダタ場合ニ限ルノデアリマスカラ事實ニ於テ自作農地ノ創設ノ助成ニナル譯デアリマスシ又本制度ノ實施ニ當リマシテハ餘リ維持ノ方面ニハ力ヲ入レナイコトニナリマス

○小平幹事 政府ノ豫定ハ詰リ創設ヲ助成スルノ意味ノ維持ヲヤルト云フコトニナツテ居リマス

○橋本委員 今非常ニ高利ニ苦ンデ居ルノヲ救済スル意味ハナイノデスカ

○小平幹事 サウ云フ意味デハヤラナイノデス

○那須委員 此案ヲ拜見シマス自作農地ヲ創設又ハ維持シヤウトスル人ニ付テ資格ノ制限ガアルヤウデアリマスガ、此等ノ農地ヲ提供スル人ニ付テノ制限ガナイヤウデアリマス、サウ致シマスト今日小作農デ土地ヲ購フト云フコトヲ望ンデ居ル者ガアルト同時ニ、今日自作農デアツテ相當ノ値段ニナレバ土地ヲ手放シタイト、斯ウ思ツテ居ル者ハ可ナリアルト思フノデアリマス、サウスルト今日迄ノ小作農ガ今日自作農ヨリ土地ヲ得ル場合ニモ矢張此農地金庫ニ依ツテ金融ヲ受ケルコトが出来ルノデハナイカト思ハレルノデアリマスガ、サウスルト先刻御話ノアリマシタ三十五年間ニ約今日ノ小作地ノ三割ヲ自作地ニスルト云フ、此計算ノ根據ガ崩レテ來ハシナイカ、今日ノ自作地ガ唯違ツタ人ニ依ツテ所有サレルト云フ形ニ相當ナリハシナイカト云フコトヲ懸念スルノデアリマスガ、サウ云フ點ハドウ云フ風ニ御考ニナツテ居リマスカ

○松村農務局長 此案ヲ立テマシタ趣旨ハ、自作農ヲ創設スルト云フ方ノ考デアリマシテ、只今御話ノヤウナ場合ニハ片方ニ於テハ自作農ガ減ツテ來ル譯デアリマスガ、土地ノ提供者ノ方ノ制限ノ出來ナカッタノハ、同ジ地主ノ中デモ全然耕作ヲシナイ地主モアリマス、ソレカラ自作ヲシナガラ大分澤山土地ヲ持ツテ居ツテ、其内幾分ヲ小作ニ附シテ居ルノモアリマスカラ、自作農ガ賣ツテハイケナイ、單純ニ耕作ヲシテ居ナイ地主デナケレバ手放スコトが出来ナイト云フコトニナツテハ、非常ニ窮

屈デアル、自作農ノ肩替リト云フコトハ、此法律ノ趣旨トスル所デアリマセヌガ、併シソレヲ法律ニ書クコトハ如何カト思フノデアリマス、勿論此法律ノ實施ニ當リマシテハ、審査委員ガ各地方ニ設置セラレルノデアリマスカラ、サウ云フモノハ後廻シトナルヤウニ運用上ノ實際トシテ産レテ來ルト思ヒマス

○那須委員 不耕作地主ニハ利便ヲ與ヘマスケレドモ、耕作地主ニハ利便ヲ後廻シニスルト云フコトニナリマスカ

○東委員 小作人ニ自作農地ヲ取得セシムルコトヲ主眼トスルノデアリマスカラ、結果カラ見テ大體サウ云フコトニナリマス

○橋本委員 普通ノ意味ニ於ケル舊債償還ハ後廻シニスルト、高利ノ借金ニ苦ム爲ニ自作農階級カラ、小作人ニ落込ム者ガ随分アルト思ヒマスガ、三十五年間或ハ七十年間經ツテ見テ、果シテ目的通り現在ノ小作地ノ三分ノ一ガ自作農地ニ變ルカドウカ、甚ダ怪シイト思フノデアリマス、假リニ三分ノ一ガ小作地カラ自作地ニ變リ、自作地ガ出來ルダケ殖エタトシテ見マシテモ、即チ小作地ガ三分ノ一減ツタト云フ目的ガ達セラレタトシテモ、本案ノ御趣旨通り色々先刻伺ヒマシタガ、ソレト照シ合セテ見テ十分デアルト云フ御趣意デアリマスカ、其點ヲ伺ヒマス

○松村農務局長 現在ノ自作農ハ落チテ行ク方ヲ防止シナイト、折角新シク自作農ヲ作ツテモ、差引

勘定ニ於テ十分ニ目的ガ達セラレナイデハナイカト云フ御心配ノ點、サウ云フ風ニ私共モ考ヘテ居ルノデアリマスカラ、自作農ヲ創設スルト同時ニ、從來ノ自作農ガ小作ニ落チテ行クコトヲ防グコトニ努メナケレバナリマセヌ、併シ從來ノ經過ヲ見マスト、自作農家ハ減ツテ居ラナイ、大正十二年以後ニ於テ自作農ハ多少増加シテ居リマス、サウ云フ傾向ガアリマスカラ、自作農ガ落チテ行クト云フ傾向ハ農事ノ改良獎勵ニ依ツテ之ヲ阻止シテ行クコトハ不可能ナコトデモナイト思ヒマス

○橋本委員 七十年經ツテ旨ク行ツテモ三分ノ一デアリマス、三分ノ一デ御満足ガ出來ルノデアリマスカ

○松村農務局長 ソレハ三十五年ヲ一期トシテノ法律デアリマス、存續期間ヲ七十年トシ、三十五年ヲ一期トシテ居ルノデアリマスカラ、其結果ヲ見テ——今迄ノ御質問デ見マシテモ、小作權ノ變動モアリ、地主トノ關係モ動搖ガアリマスカラ、國家ノ試ミトシテ三十五年ヤツテ、尙ホ事情ノ變遷ヲ見テ適當ニ立法シャウト云フノデ、先ヅ第一期計畫トシテ三分ノ一ヲ自作農ニシャウト云フノデアリマシテ、決シテソレデ満足トカ、不満足トカ云フコトハ考ヘテ居リマセヌ

○橋本委員 私ノ御尋ハモット殖ヤセナイノカト云フ意味ガ含ンデ居リマス、ドウシテ八千萬圓ニ限ツテ居ルノカト云フノデアリマス

○松村農務局長 私共始終農事バカリニ從事シテ居リマス者ハ、自作農創設ヲ急要ト考ヘテ居リマス

私共ノ見テ居リマス書類ハ小作爭議ニ關スル書類ガ堆高イ程アルノデアリマス、所ガ此案ガ一旦世間ニ現ハレマシタトキニ、ドウ云フ議論ガ起ツテ居ルカヲ見マスルト、都市ノ新聞、是ハ商工地ノ新聞デアリマスガ、都市ノ新聞ヲ眺メマスルト農業ノ現在ノ實狀ガ映ツテ居マセヌ、金融界ニ對スル壓迫トカ、有價證券ノ迫害トカ、公債ノ市價ノ動搖トカ云フ議論ガ始終現ハレテ來テ居リマス、サウ云フ風ニ都市ニ農業新聞ガナイ、商工新聞ガアルノミデアリマス、各府縣デ小作爭議ガアレバ、エライ事ガアルガ如ク號外迄出シマスガ、吾々農事ニ關スル仕事ヲシテ居ル者ニハ、尋常事デアルト云フ風ニ、頭ニ響クノデアリマス、農村問題ハ都會ノ人間ト農村ノ人間ト響キ方ガ違ヒマス、此案ガ現ハレタ時ハ八千萬圓デモ大變ダト云フ議論モアリマシタ、商工方面ノ利害モ考ヘナケレバナラヌシ、犠牲モ拂ツテ貰ハナケレバナラヌノデアリマスカラ、遠慮シテ八千萬圓トシタノデアリマス、併シ是ハ遠慮デナイト云フ議論モ亦一方ニアル譯デアリマス

○齋藤(隆)委員 農地金庫ノ經費ニ關シ七十年ノ表ガ出來テ居リマスカ

○松村農務局長 初メノ案ハ七十年間ノ經費ヲ毎年出ス案ニシテ居リマシタガ、本案ニ於キマシテハ農地金庫設立ノ日ヨリ毎年五十萬圓十年間政府ヨリ支出シ、農地金庫ハ之ヲ預金部ニ預ケテ四分八厘デ積立テテ行ク、カウシテ此ノ内カラ初年度十四萬五千餘圓、爾後毎年増加シテ第十年以後ハ毎年二十三萬餘圓宛ヲ金庫ノ事務費トシテ引出ス、サウスルト七十年目ニ「ゼロ」ニナルヤウナ計數ヲ作ツ

テ居リマス

○齋藤(隆)委員 是迄自作農ヲ創定シマシタ金額——國庫デ出シタ金ト、ソレニ依ツテ土地ヲ買入レタ小作人ノ數ガ知リタイノデアリマス

○松村農務局長 從來ノ施設ニ依テ創設維持シタモノハ約二萬四千七百人デアリマス

○小平幹事 ソレハ參考資料ノ中ニ這入ツテ居リマス

○田邊委員 大正十一年度ニハ要求ガ七百萬圓、配付シマシタノガ二百五十萬圓、十二年度ハ五百萬圓ノ要求ニ對シテ貸付ガ三百萬圓、大正十三年度ハ千六百萬圓ノ要求ニ對シテ三百三十萬圓貸シテ居リマス、ソレカラ十四年度ハ二千二百萬圓ノ要求ニ對シテ五百萬圓貸シマシタ、又十五年度ハ三千五百萬圓ノ要求ニ對シテ八百五十萬圓貸シマシタ、ソレカラ本年度ハ三千萬圓ノ要求ガアリマシテ、一千萬圓貸シマシタ、成績ハ本年ノ一千萬圓ナリ或ハ昨年ノ八百萬圓ナリ貸シマシタモノハ分ツテ居リマセヌガ、前ニハ二百萬圓トカ三百萬圓トカデアリマシタ、非常ニ嚴密ナ審査ヲ行ヒマシテ、要求ガ澤山アリマシタ中カラ、非常ニ償還ノ良カリサウナ所ヲ選リマシタノデ、今日迄ハ成績ガ極メテ好カツタノデアリマス、ソレカラ序ニ一寸伺ヒマスガ、要求ガ一億數千萬圓ト云フコトハ、ドウ云フ所デ御調査ニナリマシタカ

○松村農務局長 ソレハ實際ノ要求額ヲ考ヘタノデアリマス、各府縣ノ要求額ハ三千萬圓トナツテ居

リマスガ、各府縣デ借入ノ申込ヲ爲ス前ニ色々ナ關係デ押ヘテ居リマス——各府縣ニ於テ各町村又ハ個人カラ要求ヲ査定シテ居リマス、町村又ハ個人ノ各府縣ニ對スル借入ノ申入額ニ付テハ大體ノ表ガアリマスガ、ソレト各府縣ノ申込額トヲ對照シテ見マスト、各府縣デハ申請額ノ三分ノ一カラ十分ノ一迄ニ減ラシテ申請シテ居リマス

○齋藤(隆)委員 簡易保險デ各府縣ニ貸付クル手續ノ御話ヲ願ヒマス

○田邊委員 只今ノ所デハ府縣ニ貸シテ居リマス、前ニハ町村ニ貸シテ居リマシタケレドモ、只今ハ全然府縣ニ貸スコトニシテ居リマス、各町村カラ府縣ニ申出デマシテ、サウシテ府縣ニソレヲ纏メマシテ簡易保險局ニ申込ミマス、サウシテ簡易保險局ニ於キマシテ、ソレヲ一十萬圓ノ元資デ割當テマシテ確定シタモノヲ各府縣ニ渡スト、各府縣デハソレヲ各町村ニ貸付ケテ居ルノデアリマスガ、是ハ府縣々々ニ依ツテ違フノデアラウト思ヒマスガ、皆審査會ト云フモノヲ拵ヘテ居リマシテ、其審査會ノ議ヲ經テ各府縣デ割當テ、居ルノデアリマス、其割當方ハ必シモ同一デナイト思ツテ居ルノデアリマス、私共ノ方デ簡易保險局カラ條件トシマシテ、斯ウ云フ條件ニ當儀マツタモノニ貸スト云フ條件ヲ附ケテ居リマス、ソレガ或ハ面倒デムヅカシイト云フ説ガ出テ居ルノカ分リマセヌガ、前ハサウデアリマセヌガ、本年アタリカラハ世帯主ガ必ズ簡易保險ノ加入者デアルト云フコトヲ一ツノ條件トシテ居ル、ソレカラ貸付制限額ガ今日御話ニナリマシタ法案ノ通り一世帯ニ付四千圓以内ト云フコトニナツテ居リマス、段別ニシマスト一町歩以内、北海道ハ別ニ五町歩以内ト云フコトニナツテ居リマ

ス、ソレカラ元持ツテ居ツタ土地ト合セテ其制限以内、斯ウ云フヤウナ制限ヲ附ケテ居リマス

○齋藤(隆)委員 ソレカラ簡易保險局ノ方デハ府縣へ御貸シニナル、サウスルト府縣ガ小作人ニ貸スコトニナリマスカ

○田邊委員 サウデス

○齋藤(隆)委員 小作人ガ借リテ買ツタ地所ヲ府縣ニ抵當ニ入レルコトニナリマスカ、無擔保デスカ

○田邊委員 ソレハ私ノ方デハ分ツテ居リマセヌ

○小平幹事 ソレハ府縣ニ抵當ニ入レルコトニナツテ居リマス、第一抵當ニ設定シテ府縣ニ這入ル府縣ガ小作人ニ對シテハ債權者ニナリ簡易保險局ニ對シテハ債務者ニナリマス、尙ホ府縣ガ産業組合、町村等ニ貸付ケ、産業組合、町村等ガ更ニ之ヲ小作人ニ貸付クル場合モアリマス、此ノコトニ付テハ參考資料ノ中ニ從來ノ自作農創設維持ニ關スル規則ガ這入ツテ居リマス

○齋藤(隆)委員 府縣ガ債權者ニナル場合ト、町村若クハ産業組合ガ債權者ニナル場合トアリマスカ
○小平幹事 サウデス

○山本會長 如何デセウ、明日引續イテ一般質問ヲ繼續致シマセウカ

○齋藤(隆)委員 今日始メテ此法案ヲ貰ヒマシタノデ、見マセスト能ク分リマセヌ

○山本會長 ソレデハ更ニ又御質問デモアリマスレバ應答致スコトニ致シマシテ、明日モウ一日……

何時ニシマスカ

○東委員 午前十時デ宜シイデセウ

○山本會長 明日十時カラ御願致シマス、今日ハ之ニテ散會致シマス

午後三時五十分 散會

(第二日)

開 期 昭和二年十二月二日

場 所 麴町區富士見町農林大臣官舎

出席者 山本會長

長 岡、東、阿 部、砂 田、松 村、淺 田、菅 原、
犬 塚、小 橋、阪 本、矢 作、佐 藤、末 弘、堀 田、
齋藤(珪)、鶴 澤、東 郷、齋藤(隆)、小 西、増 田、橋 本、
那 須、岩 田、鹽 澤、富 田、長 島、田 邊、安 藤、
岡 田ノ各委員
小 平、重 政ノ各幹事

開 會

一 諮問事項ニ對スル質問應答

二 特別委員指名

三 第四回總會(第二日)議事速記録

午前十時二十分 開議

○山本會長 ソレデハ是ヨリ開會致シマス

○齋藤(隆)委員 本法ガ施行セラル、モノト假定シテ、政府ノ方デ支出セラル、金額ハドレ位ニナリ
マスカ、大分金ガ要ルヤウデスガ、第一ニ農地金庫ヲ設立スル費用ハ、政府デ出スコトニナツテ居
ル 第二ニ基金ニ充ツル爲ニ、毎年五十萬圓宛十箇年間政府ガ醸出スル、次ニハ農地債券發行ノ費用
是モ政府ノ負擔ニナツテ居ル、次ニ年賦支拂金取立ノ費用、是ハ町村ニ委託シテ取立テルノデアリマ
スガ、其ノ手数料トシテ二百五十分ノ一ヲ拂フノデアリマスカラ、是モ隨分多額ニナルト思ヒマス、
農地債券ヲ毎年八千萬圓ヅ、出スト三十五年ノ累計ハ二十八億圓ニナリマスカラ、假ニ一箇年ノ年賦
支拂金ガ元金ダケデモ二十八億圓アルトスルト、ソレノ二百五十分ノ一ハ一千二百二十萬圓トナリマ
ス、之ニ利子ヲ加ヘタモノヲ標準トスルト、益々多額ニナル、次ニ農地債券ヲ券面額ヨリ低キ價格ヲ

以テ發行シタル場合ニ、例ヘバ百圓券ヲドレ位ノ價格ヲ以テ發行セラル、カ知リマセヌガ、假ニ九五圓デ發行セラレルトスルト五圓、詰リ五分、二十八億圓ノ五分ハ一億四千萬圓ニナル、ソレカラシテ年賦金ノ全部若クハ一分ヲ、不可抗力ニ因ツテ買受ケタ土地ガ減失シタ場合ニハ政府ガ損失ヲ負擔スルコトニナツテ居リマスカラ、是モ隨分多額ニ上ルト思フ、是ヨリ生ズル損害ハ全部農地金庫ニ於テ負擔スルノデアリマスカラ、此ノ損失モ多額ニ上ルト思ヒマス、ソレカラ支拂方法ノ變更ヨリ生ズル損失、是ハ五十八條ニ規定ガアリマス、次ニ業務上受ケタル損失ノ補償、是モドレダケニナルカ分リマセヌ、更ニ買主カラ五分ノ利子ヲ受取ツテ四分八厘デ預金部ニ預ケル、サウシテ債券ヲ持ツテ居ル方ニ五分ノ利子ヲ支拂フノデアリマスカラ、此ノ間ニモ相當損失ガ起リマス、斯ウ云フモノヲ計算スルト、隨分多額ニ上ルト思ハルルノデアリマスガ、此等ニ對スル政府ノ御見込ハドウ云フ風ニナツテ居リマスカ

○松村農務局長 只今ノ計數上ノ問題ニ付テノ書類ハ、御手許ニ差廻スコトニ致シテ居リマスカラ、一度御覽ヲ願ヒマシタ上デ申上ゲル方ガ便利カト思ヒマス、農地債券ノ發行ハ只今九十五圓ト申シマシタガ、私ノ計算デハ九十圓迄下ゲテヤツテ居ル、餘程損ハ確實ニ見テ計算シテ居ルノデゴザイマス、只今御話ノ不可抗力ノ場合ニ免除シタル金トカ、支拂方法變更ノ場合ノ損失トカ、業務上ノ損失ト云フモノニ付テハ、計算書ノ中ニハ出シテ居リマセヌ、ハツキリドノ位ニナルダラウト云フ見込モ

付カナイ方ノ項目ニナルノデアリマス、ハツキリ見込ノ付キマスモノダケハ差上ゲマシタ表ニゴザイマス、ソレハ二枚目ノ裏ノ所ニ大體ノ計畫ガ書イテゴザイマスカラ、是カラ御覽ヲ願ヒマシタ方ガ便利デゴザイマス、「農地金庫ノ仲介ニ依ル自作農地創設維持」是ハ從來ノ計畫ト兩方併セテ示シテアリマス、八千萬圓宛毎年出スト三十五年ノ累計ハ二十八億圓ニナル、併ナガラ買主ノ方カラ金ヲ返シテ參ルニ應ジテ償還シテ參リマスカラ、最高發行額ハ十八億圓ニナル、ソレヨリ上ニハナラヌ、一番高イ時ガ十八億圓、ソレカラ段々減ツテ參リマス、ソレデ發行價格ヲ九十圓ト見マシテ七千二百萬圓ニナル計算ニナツテ居ル、二十八億出スケレドモ、實際土地ノ賣買ニ充テル金額ハ二十五億二千萬圓、ソレデ創設維持スル面積ガ一年一萬八千町歩、三十五年間ニ六十三萬町歩ヲ創設維持シ得ル計畫ニナツテ居ル、簡易保險カラノ積立運用ハドノ位アルノダラウト云フコトハ、保險局ト御相談セヌトハツキリ存ジマセヌガ、大體ザツト見積ツテ第一年七百萬圓、二年目ガ千三百五十萬圓、一番最高ニナツテ二千萬圓トナル、二十五年ノ繼續ニナツテ居リマシテ、二十五年ノ累計ガ四億六千八百五十萬圓、ソレデ面積ガ十一萬七千二百二十五町歩、自作農地法ニ依ルモノト合計シテ約七十五萬町歩トナル計算デアリマス、從來ノ施設ニ依ルモノハ二十五年ノ計畫デアリマスカラ、二十五年迄シカ示シテアリマセヌケレドモ、引續イテ三十五年ノ計畫ト步調ヲ合セテ行キマスト、尙ホ是カラ十年延ビル譯デアリマス、大體斯ウ云フコトデヤツテ參ル譯デアリマス、創設維持ノ經費ノコトハ、國庫負擔トシテハ政府

ノ醸出スル金額ヲ除キマシテ、第一年ガ約百二十二萬餘圓、第二年ガ百九十三萬圓、三十五年ノ最高額ハ二千五十九萬圓、其數字ハ表ニ示シテ置キマシタ、色々先程御質問ノアリマシタ項目、ソレヲ茲ニ累計致シマスレバ尙ホ是ヨリ多クナリマスガ、目星シイモノトシテハ先ヅ此位デ宜カラウト云フノデ、此處ニ農林省ノ事務費ト農地金庫ニ對スル補給費、ソレカラ内務省ノ地方費ニ計上スベキ金額ガゴザイマス、ソレヲ下ニ合計シテ出シテ置キマシタ、尙ホ此外ニ此處ニ書イテアル如ク農地金庫基金トシテ毎年五十萬圓宛出ス、是ダケノ金額ガ先ヅ日星シイ金トシテ要ルノデス、農地金庫ノ利益ノ方ノ關係ヲ申スト無記名ノモノデゴザイマスカラ、此債券ノ紛失ニ依ル雜收入ガアル譯デアリマスガ、ソナモノハ先ツ計算ノ外ニ置キマシテ、凡ソ此位ノ金ハ初メカラ用意シテ掛ラナケレバナラヌト云フノヲ示シタデアリマス、尙ホ小サイ内譯ノ方ハ第五ノ所ニ書イテゴザイマス、即チ農地金庫ニ對スル補給金ノ内差額補給金ハ初年度二十萬圓以後年々増加シテ行クデアリマスガ、ソレガ三十五年ノ最高額ニ於テ約千七百萬圓トナルデアリマス、ソレカラ年賦金取立ノ爲ニ市町村ニ出ス金額ハ初年度一萬八千圓デアリマスガ、以後年々増加シテ三十五年ノ最高額ニ於テ六十三萬圓トナリマス、又債券發行ニ要スル費用ノ補給金ハ三十五年間毎年二十萬圓トナリマス

七頁ノ裏ノ所ニ農地金庫ニ對スル補給金トシテ纏メテ出シテ置キマシタガ、今申上ゲタ如ク年賦金取立費、債券發行ニ要スル費用ノ補給金、差額補給金、是ダケガ先ヅ農地金庫ニ對スル大體ノ補給金ノ金額ニナルデアリマシテ、補給金ノ合計ヲ申上ゲルト初年度ガ四十一萬八千圓、次年度ガ九十三萬圓、以後年々増加シテ三十五年ノ最高額ニ於テ千七百八十餘萬圓トナル、大キナ金トシマシテハ是ダケデアリマス、昨日モ申上ゲマシタ如ク、ソレデハ此等ノ經費ヲ全然無イヤウニスル工夫ハナイカト云フト、之ニ付テハ前ニモ申上ゲタヤウニ農地債券ノ利子ヲ四分八厘ニシテ額面ヲ以テ交付スルトカ、或ハ自作農地取得者ノ年賦支拂ノ利子ヲ六分ニスルトカ、或ハ其ノ償還年限ヲ永クスル等ノ方法ハアルケレドモ、併シ國家ノ事業トシテヤル以上ハ此位ノ經費ヲ出ス覺悟デヤラナケレバ本事業ノ趣旨ヲ徹底スルコトガ出来ヌト云フ考デ斯様ニ致シタ次第デアリマス

○齋藤(隆)委員 今ノ券面額ヨリ低イ價格デ發行サレルト云フコトデスガ、是ハ例ヘバ百圓ノ券面ヲ九十圓デ發行セラル、ト云フ見積デアリマスカ

○松村農務局長 サウデス

○齋藤(隆)委員 サウスルト矢張二十八億圓ハ詰リ農地債券ヲ發行セラル、コトニナリマスネ

○松村農務局長 ソレダケ出スコトニナリマス

○齋藤(隆)委員 サウスルト其内ノ一割ハ政府ノ方デ損スルコトニナリマスカ

○松村農務局長 サウデス

○齋藤(隆)委員 サウスルト今ノ計算書ニアリマスノハ、五十八條ヤ五十九條ノ方ノ損失ハ計算シナイノデスネ、所謂年賦金ノ全部若ハ一部ヲ免除シ又ハ支拂方法ノ變更カラ起ルモノハ……

○松村農務局長 是ハ此處ニハ計算致シテ居リマセス

○小平幹事 不可抗力ニ依リ自作農地ガ荒地ト成リタル場合ノ年賦金免除ニ要スヘキ補給金ハ、初年度ハ二千七百圓、三十五年最高ガ約二十三萬圓位ノ程度デス、是ハ從來ノ地租免除ノ事情ヲ考慮シテ計算シタモノデアリマス

○山本會長 細カナ計算シタモノヲ印刷シテ廻スト宜シイ

○齋藤(隆)委員 大凡ソノ概算デ政府ノ損失總額ハ幾ラデスカ、新聞ニ依ルト八億萬圓ト云フコトデアリマスガ

○松村農務局長 總額ノ出タノガアリマスカ

○小平幹事 總額ハ六十九年ノ合算デヤナイカト思ヒマス

○齋藤(隆)委員 六十九年ノ合算ハドノ位デス

○小平幹事 後デ計算シテ差上ゲマス

○山本會長 矢張八億位ニナツテ居ルノデヤナイカ

○小平幹事 其位ニナリマス

○山本會長 七十箇年ニ確カ其位デアツタト思フ

○小平幹事 左様デス

○齋藤(隆)委員 斯ウ云フ法律ヲ施行スル時ニ希望者ガアツテモ、手續方面倒デハ田舎ノ者ガ非常ニ困ルト思フ、愈々之ヲ實施スルト假定シテ、ドウ云フ手續ニナリマスカ、例ヘバ田舎ノ小作人ガ此法

律ニ依ツテ地所ヲ買ハウト思フト、ドウ云フ工合ニ手續ヲ執ツタラ宜イカ、實際問題トシテ一寸私考ヘテモ、一方ニハ土地ノ所有者ト契約シナケレバナラヌシ、農地金庫トモ契約シナケレバナラヌ、又農地金庫ノ方ハ理事トカ何トカ云フモノガアツテ、ソレニ相手ニナル、ソレカラ農林大臣ノ認可ヲ得ナケレバナラヌト云フノデアルカラ、大變ナ手數デアル、一々登記ヲシナケレバナラヌ、却々面倒デスガ、ドウ云フヤリ方ニナリマスカ、

○小平幹事 今迄ノハ地主小作人ノ間デ以テ、政府ノ金ヲ借リテ自作農ヲ創定シヤウト云フ話ガ纏マルト、町村ニ申出ル……

○山本會長 ソレハ今迄ノデセウ、此法律ニ依ルトドウナルカト云フコトヲ……

○齋藤(隆)委員 此法律ニ依ツテ新ニ土地ヲ買入レヤウトスルト、初メカラノ手續ハドウナリマスカ

○小平幹事 此法律ニ依ルト矢張同ジヤウニ、地主小作人ガ政府ノ施設ニ依ツテ自作農地ヲ創設シヤウト云フ相談ガ纏マルト、土地ノ面積及價格、小作人及地主ノ氏名ヲ記名スル等形式ヲ整ヘテ、ソレヲ府縣ニ出シマス、府縣廳デ査定シマシテソレデ、此法律ノ條件ニ該當スルト云フコトガ府縣デ分リマスレバソレヲ農地金庫ニ提出スル、農地金庫デハ矢張色々ナ機關ガアリマスカラ、ソコデ一應調ベテ農林大臣ノ方ヘ廻シテ、農林大臣之ヲ決定シマシテ、サウシテソレヲ農地金庫ニ認可ヲ與ヘル、

認可ヲ與ヘラレルト農地金庫ハ地主小作人ノ申出ニ承諾ヲ與ヘテ、自作農創設維持契約ガ成立スル、契約ガ成立スルト土地ノ所有權ガ移リ、抵當權、質權ガ消滅スルコトニナル、同時ニ契約サヘスレバ其契約ニ依ツテ登記ヲ申請スル、登記ガ終レバ農地債券ヲ交付スルノデアリマス

○山本會長 現在ヤツテ居ル分ト、ドノ點ガ違ヒマスカ

○小平幹事 現在ハ町村ヲ經テ府縣ニ申込ム、府縣デ査定シテ農林省ニ申請致シマス、農林大臣ガ認可スルコトニナツテ居リマス、府縣デハ更ニソレヲ簡易保險局ニ資金借入ヲ申出デ、保險局デ決定シテ縣債ヲ起シテ借リテ府縣ノ收入トシ、府縣カラ個人ナリ組合ナリニ抵當權ヲ取ツテ登記ヲシテ金ヲ出スノデアリマス、現在ノ府縣ノヤリ方デハ農林大臣ノ認可ト遞信省ノ認可ト起債ノ許可ト三ツノ手續ガ必要デアリマス、農地金庫ハ地主小作人ガ願書ヲ提出スレバ、農林大臣ガ認可スルコトニナツテ、ソレデ濟ンデシマヒマス、從來ヨリ手續ハ大分簡單ニナルノデアリマス

○齋藤(隆)委員 ソレハ市町村役場ヲ經テ直接ニ府縣應ニ出スノデスカ

○小平幹事 出來ルダケ町村役場ニ出シタ方ガ簡單ニ往クト思ヒマス、ソレヲ纏メテ府縣カラ來マスカラ認可ハ割合ニ早ク運ビマス、從來ハ起債ノ許可ハ手續ガ面倒デ、大藏大臣、内務大臣兩大臣ノ許可ヲ經テ、保險局ノ認可ノ外ニ尙ホ農林大臣ノ認可ヲ經ルコトニナツテ居リマシタガ、今度ハ農林大臣ノ認可ダケデ宜シイノデアリマスカラ、起債ノ必要モアリマセヌノデ、一層簡單ニ往クト思ヒマス、

色々書式ハ地主小作人ニ地方廳ヲ經テ渡スコトニナリマスカラ、ソレニ書入レテ持ツテ來レバ宜シイノデアリマス

○齋藤(隆)委員 地方ニ土地審査委員會ト云フヤウナモノガアリマスカ

○小平幹事 現在デモソコデ査定ヲシテ持ツテ參リマス、農地金庫ニ持ツテ來テ——農林省ニ持ツテ來テ不許可ニナリマス、其ノ間ノ往復ニ手數ガ掛リマスカラ、地方廳デイケナイモノハイケナイトシテ、一應ソコデ決定シタ方ガ宜カラウト思ヒマス、今度地方廳ヘ特別ノ職員——高等官ト判任官二三名ヲ配置シテ、其ノ事務ヲ專心掌ルヤウニシテ居リマスカラ、從來ヨリ簡單ニ運ブト考ヘマス、現在ハ特別ニ國ノ經費モアリマセヌノデ、專任ノ職員ヲ置ク譯ニ往キマセヌ爲ニ、地方廳デ片手間デヤツテ居リマシタガ、今度ハ專任ノ者ヲ置キマスカラ、手ヲ盡シテヤルコトガ出來ルト思フノデアリマス、農林省モ人ヲ増シマスカラ認可モ早ク出來ルト思ヒマス

○齋藤(隆)委員 一箇年八千萬圓ノ債券ヲ發行スルト、大體幾口ニナリマスカ、一口千圓トシテモ八萬口トナリマスガ……

○小平幹事 最高四千圓ト見テ居リマス

○齋藤(隆)委員 四千圓一逼ニ買フ者ハナイデセウ

○小平幹事 今度ハ多ク見テモ一人平均二千圓以下ニハナルマイト思ヒマス

○齋藤(隆)委員 ケレドモ賣ル者ハ一段歩ヨリ以下ハ賣ラナイ、買フ者ハ一段歩ハ買ヘナイト云フト
二千圓ハ出來ナイ

○小平幹事 今度ハ資金ガ豊富デアリマスカラ、完全ニ自作農ニナル者ヲ査定シテ行キマスノデ、從
來ノ施設ヨリモ一人當リノ金額ハ多クナルト思ヒマス

○山本會長 從來ノ施設デハ一人當貸付金額ハ平均八百圓餘ニシカナリマセヌ、金ガ足りナイカラ、

○齋藤(隆)委員 此ノ法律ニ基イテ土地ヲ賣ル者ガアリ、買フ者ガアル、ソレニ付テ農地債券ヲ發行
スル、サウ云フ者ハ澤山出來ルト思ヒマスガ、サウスルト平均ヲ千圓トスルト、八千萬圓ナラバ八萬
口ニナル、大變ナコト、思フ、ソレヲ役場デ取次ゴトニナルト、役場モ仕事ガ多クナル譯デスナ

○小平幹事 役場ハ經由スルダケデ、地方廳デ査定スルコトニナリマス、地方廳デ專任ノ數名ノ職員
ガ掛ツテ決定スルデアリマスシ、一府縣ノ割當ハサウ多イ金テナイト思ヒマス

○長岡委員 地方廳ノ職員ハ技師デスカ

○小平幹事 地方農林技師高等官一名、判任官二三名、其ノ外ニ雇員ヲ置キマス

○長岡委員 國費デアリマスカ

○小平幹事 國費デアリマス

○那須委員 昨日ノ農務局長ノ御説明デ此ノ自作農地法案ト云フモノハ、不耕作地主ガ土地ヲ賣ル場

合ヲ主トシテ考ヘタノデ、今日自作農ガ新タニ自作農タラントスル者ニ土地ヲ賣渡ス場合ハ、之ヲ後廻
シニスルト云フ御趣意デアルヤウニ伺ツタノデアリマスガ、之ニ付キマシテ不耕作地主ト耕作地主ト
均シク土地ヲ賣リタイト云フ希望ガアリ、一面ニ買ハウトスル希望ガアルトキニ、不耕作地主ニ特別ノ
待遇ヲ與ヘルコトニ付テ十分ナ御説明ガ出來マスカドウカ、ソレヲ第一ニ懸念ニ思フノデアリマス、
又若シソレハ今日ノ小作地ヲ自作地トスルコトガ宜イカラ、サウ云フ風ニ考ヘルノデアルト云フ御答
辯デアリマスルト、今日ノ自作農ガ新タニ自作農タラントスル者ニ土地ヲ賣ラントシテ賣ルコトガ出
來ナイ爲ニ、仕方ナシニ之ヲ不耕作地主ニ賣ルヤウニナルト思フ、サウスルト小作地ガ自作地ニナルコ
トハ抛擲セラル、コトニナル、其ノ間ニ少シ矛盾ガアルヤウナ氣ガ致スノデアリマス、第二ハ若シサ
ウ云フ御趣旨デ今日ノ自作地ガ小作地トナル場合ヲ構ハスト云フノデアリマスナラバ、御計算ノヤウ
ニ三十五年間ニ於テ三割ノ小作地ヲ自作地ニ化スルト云フヤウナ結果ガ得ラレナイノデナカラウカ、
之ヲ懸念致スノデアリマス、第三ニ御説明ニ依リマシテ、現在ノ小作地ヲ自作地ニスルコトガ眼目デ
アルト云フコトハ分ツタノデアリマスガ、サウ致シマスト茲ニ更ニ二ツノ場合ガ考ヘラレルノデアリ
マス、即チ甲地主ノ土地ヲ乙ナル小作人ガ小作シテ居ル場合ニ、丙ナル者ガ此ノ土地ヲ買取ツテ自作
農タラントスル場合、又乙ガ自分ノ小作シテ居ル土地ヲ買取ツテ自作農タラントスル場合ガ考ヘラレ
ルノデアリマス、若シ此ノ第三者ノ丙ガ買取ル場合ニ於テハ、乙ナル小作人ニ對スル各種ノ賠償ノ問

題が起ツテ來ル、是ハ適當ナル小作法ト云フモノヲ必要トスル事情デナイカト思フノデアリマス、若シモ此ノ法案が大々的ニ實行セラレ、大々的ニ自作農が出來マシタナラバ、サウ云フ場合ガ随分多ク出來ルト思ヒマス、此賠償問題ヲ徹底スル爲ニモ、小作立法ガ先決問題デナイカト考ヘマス、ソレカラ乙小作人ガ小作スル土地ヲ買取ル場合ニ於テハ、地主ニ對シテ支拂フ金額ト云フモノハ、其ノ小作人ノ有スル耕作權ノ大小ニ依ツテ違フノデアリマス、昨日末弘委員ノ言ハレタ通りデアリマス、將來ニ於テ耕作權ノ價值ガ増シ、之ニ反シテ不耕作地主ノ所有權ノ價值ガ減ズルト云フコトガアリマスレバ、今日ソレ等ノ小作人ガ自分ノ小作地ヲ買フコトハ不利デアアル、寧ロ將來買ツタ方ガ有利デアアルト云フコトニナルノデアリマス、之ニ對シテ松村局長ノ御答辯ハ、將來ドウ云フ風ニ變ルカ分ラナイケレドモ、何處迄小作料ガ低下スル時ニ自作農創設ヲ爲スベキモノカ、其ノ時期ガ判明シナイト云フ御答辯ガアツタヤウデアリマス、是如何ニモ其ノ通りデアリマスケレドモ、今日ハ耕作權ナルモノ、力ガ伸ビルト同時ニ、土地所有權ノ價值ノ急激ナ變化ハ無限ニ續クト思フノデアリマシテ、小作權ガドノ位迄低下スルカト云フコトハ、人ニ依ツテ見込ハ違ヒマセウガ、今日ノ小作人ガ耕作ノ勞働ニ對シテ、世間一般ガ認メテ至當デアルト云フ報酬ヲ得ル位ノ程度ニ小作料ガ低下致シマシタナラバ、其ノ以後ニ於テ小作料低下ノ運動ガ續クトシテモ、今日ノ如キ急激ナ勢デ進ムモノデナカラウト思フノデアリマス、今日急激ニ事情ガ動キツ、アル時ニ當ツテ、之ヲ自作農地トスルコトガ果シテ適當デアアル

カ、今少シク時日ヲ待ツノガ宜イデハナイカ、斯ウ云フヤウナコトモ考ヘラル、ノデアリマス、ソレカラ更ニ局長ノ御説明ニ此ノ自作農地ヲ獲得シタルモノ、利益トシテ、小作料ハ金納デアアル、金納ノ値打ハ段々下ガル、故ニ小作農ハ自作農トナルコトニ依ツテ、事實ハ多大ノ利益ヲ得ルト云フ御説明ガアツタノデアリマス、若シモ小作料ヲ金納ニスルコトガ、小作農ニ對シテ大ナル利益ヲ與ヘルモノデアリ、此ノ利益ヲ與ヘルコトガ此ノ法案ノ一ツノ目當デアルト致シマシタナラバ、小作料金納制度ハ自作農創定ヲ俟タズシテ適當ナル小作立法ニ依ツテ單ナル自作農地ヲ獲得シタ少數ノ者許リデナク、總テノ小作地ニ適用ガ出來ルノデアリマス、莫大ナル費用ト人トヲ使ツテヤルコトハ、唯々ソレダケノ理由ナラバ甚ダ理由ガ乏シイノデアリマス、私モ決シテ今日ノ地主ヲ無理ニ困窮ノ地位ニ立タセルコトヲ理想トスルモノデナイ、又所有權ヲ無視シテ宜イト云フ考ヲ持ツテ居ルモノデモナイ、併シ局長ノ御説明ノ中ニ、農業ノ振興トカ發達トカ云フコトガ繰返サレテ述べラレテ居ルノデアリマスガ、斯ウ云フ見地カラ考ヘマスト、私ハ日本ノ農業ノ振興セザル根本ノ原因ガ、地價ガ高い、小作料ガ高い、一面小作人ノ地位ガ不安定デアアル爲デアルト思フノデアリマス、昨日局長ハ小作地ト自作地トハ一見シテ區別ガ出來ルト云フ御話ガアリマシタガ、ソレハ即チ今日日本ノ小作制度ガ宜シキヲ得テ居ナイ證據デアアル、是等ノ點ニ就テ改正ヲ加ヘマスコトハ、農村振興ニ取リマシテ最モ必要ナ事ノヤウニ思フノデアリマス、故ニ其爲ニ私ハ今日ノ地主諸君ニ或ル程度マデノ犠牲ヲ拂ツテ戴カナケレ

バナラヌカモ知レヌ、若シ其犠牲ガ極端デゴザイマシタナラバ、其ノ間ニ國家ガ介在シテ多少之ヲ助ケルト云フコトモ、場合ニ依ツテハ認メテモ宜シイヤウニ思フノデアリマス、兎モ角モ私ハ今日程地價ガ低落シ小作料ガ低落スルト云フ趨勢ハ、單ニ小作階級ノ人々ノ爲ニ喜ブベキコトタルニ止マラズ日本ノ農業全體ノ爲ニ喜ブベキコトデアアル、更ニ日本ノ農産物ノ價格ヲ比較的安クシテモ、農家ガ引合フヤウナ結果ヲ生ミマシタナラバ、日本ノ過剩人口ガ商工業的ニ發展スル其基礎ガ築カレルノデアルト思ヒマス、單ナル農村振興バカリデハナイ、日本ノ全體ノ振興ノ爲ニ甚ダ必要ト考ヘテ居ルノデアアル、故ニ若シ此自作農法案ニ依ツテ此農地價格ノ下落ト云フ趨勢ガ若干タリトモ阻止セラル、モノト致シマシタナラバ、是ハ私大ニ憂慮スベキ事態デアルヤウニ考ヘルノデアリマス、之ニ依リマシテ新ニ自作農トナツタ者ガ、年々ノ年賦償還ヲ怠ラナイデアラウトカ云フ色々御見込モアリマシタガ、ソレハ今日迄ノ自作農創設ノ結果ニ基イテ居ルヤウデアリマス、所ガ今日迄ハ多數ノ小作農ノ中カラ優良ナル者ヲ選ビ出シタカラ其結果ヲ見タノデアアルガ、今後大々的ニヤル場合ニ、是ト同ジ結果ガアルト云フコトヲ思フノハ少シ早計デナイカ、又是ハ今日迄ヤツテ居ルコトヲ擴張スルニ過ギナイト云フ御説明デアリマシタケレドモ、今日迄ハ小規模ニヤツテ居ツタカラ大シタ影響モナカツタノデアリマスガ、是ガ大々的ニ行ハレルト、其影響モ大ニ今迄トハ異ナルコトモ、當然期待シナケレバナラヌト思フノデアリマス、斯ウ云フ點ヲ色々考ヘルト、私ハ今日日本ニ於テ動トモスレバ斯ウ云フ方面ノ

色々ノ施設ガ等閑視セラレテ居ル、サウシテ農業方面ニ聊カタリトモ國費ヲ使フト云フコトニ對シテ、種々辯論ガ跋扈シテ居ル際ニ、斯ノ如キ多額ノ經費ヲ使ツテ、サウシテ農村振興ノ爲ニ盡サウト云フ案ヲ立テラレタ農林當局ノ御勇氣決斷力ニ對シテハ、多大ノ敬意ヲ持ツテ居ルケレドモ、併シ此案ヲ實行スルコトハ聊カ時機ニ於テ其宜シキヲ得ナイノデナカラウカ、寧ロ小作立法ガ先決問題デハナカラウカ、小作立法ハ困難ガ伴フト云フコトデアリマスガ、如何ニ困難ガ伴フトデアリマシテモ、ソレガ國ノ爲ニ重要ナコトデアツタナラバ、私ハ全力ヲ擧ゲテ努力シテ戴キタイ、會長ハ此案全體ニ付テ忌憚ナイ意見ヲ述ベテ宜イト云フ御許シガアリマシタカラ、敢テ斯ノ如ク申上ゲル次第デアリマスガ、私ハ見様ニ依リマシテハ、本案ハ若シ十年前ニ出マシタナラバ、恐ラク一部ノ商工者以外カラハ非常ナ歡迎ヲ受ケタデアラウ、或ハ十年後ニ生レルナラバ大ニ歡迎ヲ受ケルデアラウ、今日ハ生レルコト十年晩ク或ハ十年早カツタト云フ批評ヲ受ケナケレバナラヌデアラウ、甚ダ御見解ニ違ツタコトヲ申上ゲテ御氣ニ召サヌカモ知レマセヌ、併シ私何モ敢テ奇矯ナ言ヲ好ンデ言フノデヤナイノデ、日本ノ農村ノ爲ニ、日本ノ發展ノ爲ニ憂慮シテ斯ク申上ゲルノデアリマス、此點ハドウカ充分御寬恕ヲ戴キタイノデアリマス

○山本會長 詳細ノ事ハ農務局長カラ御答ヲ致シマスガ、私大體ニ付テ御答致シタイト思ヒマスガ、其前ニ御質問ノ件ニ付テ私カラ伺ツテ置イテ、御答ヲシタイト思フ點ガゴザイマスノデ御尋ネ致シマ

スガ、只今那須委員ノ御意見御質問ヲ拜聴致シテ居リマス云フト、耕作權ヲ認メル意味ニ於テノ小作法ノ制定ヲ前提トシテ之ヲ先ニヤツテ置イテ、然ル後ナラバ此方法ハ宜カラウト云フヤウニ聴取リマシタノデス、サウ致シマス詰リ是ハ從來千萬圓宛簡易保險デヤツテ居ツタ分デハ足ラナイ、併ナガラ是レ以上多額ノ簡易保險金ヲ融通スル譯ニモ往カナイ、公債ニ依ル譯ニモ往カナイ、即チ自作農ノ維持創設ト云フコトヲ大ニ考慮シテ、比較的徹底的ニヤルトスレバ此方法ヨリ無カラウト云フ當局ノ考デ此案ヲ立テタ譯デアリマス、併シ假ニサウ云フコトハアリマセヌケレドモ、何カ外ノ財源デ七千萬圓デモ八千萬圓デモ、年々自作農維持創設ノ爲ニ出シテ行クコトノ方法ガアレバ、必シモ此出シテアル案ニ依ラナイデモ宜イカモ知レマセヌ、唯ソレガ無イト私共認メルカラ、此案ガ出タ譯デアリマス、那須委員ノ御意見ハ兎モ角ドノ方法ニ依ラウトモ、今此時機ニ於テ、即チ小作法制定ノ以前ニ於テ、自作農ノ維持創設ト云フコトヲ今日ノ程度以上ニ行フコトハ面白クナイ、斯ウ云フ御意見ノヤウニ伺ヒマシタガ、サウデアリマスカ

○那須委員 サウデス、農地金庫ノ構成ニ於テ別ニ異議ガアル譯デヤナイノデアリマス

○山本會長 分リマシタ、ソレデハ私カラ申上ゲマス、ソコハ少シ今ノ那須委員ト意見ノ違フ所カモ知レマセヌガ、私共ハ兎モ角自作農ノ維持創設ト云フコトハ、今日此小作爭議ナドハ非常ニヤカマシクナツテ、ソレガ段々ニ經濟的ノ範圍ヲ脱シテ、動トモスレバ思想上社會上ニモ非常ナ影響ヲ及ボス

ヤウナ實情ニナツテ居ルノデスカラ、成ルベクソレヲ緩和スル方法ヲ採ラナケレバナラナイ、ソレハ單リ自作農ノ維持創設ト云フ制度ニ依ツテノミ、其目的ハ違セラレマスマイケレドモ、尠トモ其目的ヲ達スル一ツノ有力手段ト見テ居ル、ソレ故ニ如何ナル方法ニ依ラウトモ、自作農ノ維持創設ト云フコトヲ、今日行ツテ居ル以上ノ程度ニ於テ出來得ル限り之ヲ促進スルコトガ、今日ノ國情ノ下ニ於テ必要ダト私共信ジテ居ル、然ラバ小作法ノ制定後ニ於テ之ヲ爲スベキヤ、前ニ於テ爲シテ宜シイノデアルカ、斯ウ云フ問題ニナツテ來マス、私共ハ昨日モ申上ゲマシタ通り、決シテ小作法ヲ閣却スル考ハ毛頭アリマセヌガ、併ナガラ是ハ非常ナ重大ナ問題デアツテ、其影響ノ及ブ所モ御承知ノ通り是ハ非常ニ大キイ問題デアリマスカラ、モウ少シ世間ノ輿論ヲ聞イテ見ナケレバナラナイ、見定メモ付ケナケレバナラナイ、又法案ソレ自身ニモ甚ダ考ヘナケレバナラヌ所ガアリハシナイカ、之ヲ今急遽決定スルト云フコトハ、少シクマダ用意ガ整ウテ居ラヌヤウニモ思ハレル、サレバトテ其小作法ガ定マラナケレバ、自作農ノ維持創設ト云コトヲ行ツテハ惡イカ、此處ガ即チ那須委員ト少シ意見ガ違フ所デアリマスガ、私共ハ是ハ其前後ヲ問ハズ自作農ノ維持創設ト云フコトハ行ハナケレバナラナイ、又行ツテ害ノナイモノデアル、此方法ガ先ニ定メラレテ之ヲ行フ、其ウチニ小作法ガ制定ニナル、其結果トシテ土地ノ價格トカ云フコトハ、今日ノ現状ニ較ブレバ變化ヲ來スデセウ、變化ヲ來セバ變化ヲ來シタヤウニ賣買當事者兩方ノ間ニ相當ノ協定ガ行ハレルノデアアル、別段差支ハナカラウ、兎

ニ角大體ノ趣意ニ於テ自作農ノ維持創設ト云フコトハ、小作法ノ制定如何ニ拘ラズ今日之ヲ行フベキ時機デアル、又行ウテ少シモ弊害ハナイ、斯ウ云フ風ニ當局ハ信ジテ居ルノデゴザイマスガ、其細カナ事ハ尙ホ農務局長カラ一ツ御説明ヲ願ヒマス

○矢作委員 一寸私ハ議事ノ進行ニ付テ申上ゲタイ、只今私ハ質問應答ヲヤツテ居ル時機ダト考ヘテ居リマシタ、所ガ那須君ハ意見ヲ御述ベニナル、意見ヲ述ベルナラバ私モ相當意見ガアツテ討議シタイノデアリマスガ、ドウカ多數ノ人ガ協議ヲスル場合ニハ相當ナ矢張秩序ヲ以テ議事ヲ進メテ行キタイト思ヒマス

○山本會長 今ノ申ニ御尋ネノ事ガアツタヤウデアルカラ、ソレヲ局長カラ……

○松村農務局長 只今矢作サンカラモ御注意ガアツタ譯デアリマスガ、私モ實ハ質問ノ答ヲ致シナガラ意見ヲ述ベタリシテ居ルノデ、甚ダ私ニ對シテモ御叱ガアルト思ツテ恐縮シテ居ル譯デアリマスガ、那須サンノ御意見ハ矢張質問ト云ツテ宜イカ御意見モアルヤウデアリマシタカラ、ソレニ對シテ考ヘテ居ル所ヲ申上ゲタ方ガ宜イカト思フノデアリマス、那須サンハ地主ト小作人トノ關係ト云フコトヲ御考ヘニナツテ居ルヤウデアリマスガ、又一面自作農ガ他ノ自作農ニ移ルト云フコトモ御考ニナツテ居ルヤウデアリマス、大體私共ノ考ヘテ居リマスコトハ地主小作ノ關係ヲ良クシテ行クノニハ、小作立法ハ必要デアルガ、自作農地創設ノ問題ハ小作ト地主トノ關係ヲ全然脱却シテシマフコトデア

ル、自作農ノ農業ニ對スル勤勉ノ模様デアルトカ、國家ノ生産ノ方面ニ貢獻スル效果トカ云フ點ガ小作ヨリモ自作ノ方ガ遙ニ優ツテ居ルト云フコトヲ昨日來申シテ居ルノデアリマシテ、是非トモ自作農ヲ増加シナケレバナラス、小作條件ガ如何ニ變ツテモ、小作條件ガ改善セラレテモ自作農創設ハ必要デアル、ソレデ小作地ヲ自作農地トスルノハ三割シカ豫期シテ居ナイノデアリマシテ、残りノ七割ハ小作關係ガ存続スルノデアリマスカラ小作立法モ必要デアツテ此自作農創設ニ關係ナク進んで行クベキモノデアル、從テ自作農創設ガ先デアル小作立法ガ後デアルト云フ前後ノ關係ハナイ筈デ、自作農トシテ進んで行キタイト云フ者ニハ小作法ハ要ラナイ、要ラナイモノヲ先へ作ツテ行ツテ、片ツ方デ要望シテ居ルモノヲ作ラナイト云フノハ順序トシテオカシイカラ、昨日申上ゲタ通りニ兩方共要ルカラ兩方共進んで居ル、小作立法ヲ那須サンハ私共ガ後ニシテ居ルト仰ツシヤツテ居ルケレドモ、私共ハ前後ハ言ハナイ、兩方進んで居ルノデアリマスガ、自作農創設ノ方ハ簡單デ、即チ金ヲ融通スル途ヲ開ケバソレデヨイ、小作立法ハソレデハイカナイ、只今ノ御話ヲ承ツテ見ルト、小作立法ハ決マツテ居ル、此案ト同ジヤウニ出セバ直グニ議會ニ提案スル用意ガ出來テ居ルヤウナ御説ノヤウデアリマスガ、サウ云フ譯ニハ行キマセム、小作法ト云フモノ、内容ハ議論ガ一致シテ居ナイ、那須サント末弘サンノ御議論ニシテモ一致シテ居ナイト思フ、ソレデ小作法ハ小作法トシテ尙研究ヲ續ケルト同

時ニ自作農創設ノ方モ小作調査會ニ於テ議シテ戴ク、連モ一緒ニ職スルコトハ出來マセヌカラ、只今ハ先ヅ以テ自作農地創設ノ方ヲヤツテ居ルヤウナ譯デアリマス、此案ハ自作農創設維持ヲ目的トシテ居ルノデ、自作農地ガ他ノ自作農ニ移ルト云フヤウナ、自作農ノ便宜ヲ圖ルト云フコトヲ此法律デ考ヘテ居ラナイノデアリマス、ソレヲ援助スル機關トシテハ銀行モアリマス、農工銀行、勸業銀行、産業組合中央金庫ト云フヤウナモノモアリマス金融ト云フコトニナレバ金融業者ガ助ケテ宜シイノデアリマス、此案デハ主トシテ考ヘテ居リマセヌ、小作カラ自作ニ移ルコトヲ要點トシテ考ヘテ居ルノデアリマスカラ、ドウカ其意味デ御考慮ヲ願ヒマス

ソレカラ小作立法ハ自作農創設ニ關係スルト云フ議論デアル、小作立法ヲ出來ルダケ早クヤルコトハ異議ハナイノデアリマスガ、今小作條件ガ急激ニ變化シツ、アルカラ、暫ク待ツタナラバ安定スルデアラウト云フノハ見方ノ議論デアリマス、其議論ヲヤツテ居ツテ此問題ヲ待ツテ居ルト云フ譯ニモ行カナイノデアリマス、故ニ一面ニ進行シテ居ルヤウナ次第デアリマス、ソレデ那須サンノ御考デモ何年何月ニ確定スルカラ、此立法ハ何年何月ニヤラウト云フコトヲ仰シヤルコトハ出來ナイト思ヒマス、勸搖モシテ居リマセウガ、併シ一年々々自作農地ヲ創設シテ參ルノデアリマス、今日ト明年ト小作條件ガ違ツテ來ル、ソレニ付テ末弘サンノ御攻撃モアリマシタガ、之ニ對應シテ自作農地創設ノ條

件モ違ツテ參ルノデアリマスカラ、結局此ノ關係ガ有機的デアルト思ヒマス、斯様ニ私共ハ考ヘテ居リマスノデ小作立法ト自作農創設トハ孰レモ必要デ兩方共ニ急イテ居ルト云フコトヲ御諒解ヲ願ヒマス、尙ホ小作立法ニ付テ耕作權ノ御話ガアリマシタガ、是ハ意見ニナリマスガ、那須サンモ意見ヲ御述ベニナリマシタカラ、私モ意見ヲ述ベルコトニナリマスガ小作關係ハ小作法ト云フ法律ノ文字ニ書カナクトモ社會心理デ動クノデアリマス、成文法ヲ過信シタクナイ、文字ニ拘泥シテ小作法ヲ作ツタ翌日カラ、小作爭議ガ鎮マルカト云フト、必シモ鎮マラナイノデアリマシテ、昨日申シマシタ如ク、小作爭議ノ要點ハ小作料ヲ一石二斗ニシヤウカ、何斗ニシヤウカト云フノデアアル、小作權ニ關係ノナイコトヲ言ツテ居ル、唯々小作人ノ權利ヲ賠償スル場合ニ於テ、耕作權ト云フモノガアレバソレヲ「ゼロ」ニ見テハナラヌダケノ價值ハアル、其意味ニ於テ小作法ノ見方ガ那須サント違ツテ居ラスノデアリマス、併ナガラ成文法ヲ過信スルコトハ賛成シナイト云フ意味デアリマスカラ、議論ヲ申上ゲタヤウデ恐縮デスガ、要スルニ此案ハ只今申シマシタヤウナ趣旨デ、進行ヲ致シテ居ルト云フコトヲ御承知ヲ願ヒマス

○那須委員 色々御説明ヲ伺ヒマシテ納得シ兼ネルコトモアリマスガ、是レ以上ハ打切りタイト思ヒマス、唯々一言致シタイノハ、矢作委員カラ質問ヲシナイデ意見ヲ述ベルノハイケナイト云フ御叱リ

ヲ受ケマシタガ、私ハ唯々「クエツシヨシ・マーク」ヲ付ケナカッタダケデ、私ノ申シタ言葉ノ中ニ
質問ハ澤山アツタノデアリマス、是ハ實質ヲ御覽ヲ戴キタイノデアリマス

○東郷委員 昨日來各委員ノ御質問デ色々ノ問題ガ分リマシタガ、尙ホ一二御尋申上ゲテ置キタイト
思ヒマスコトハ、小作立法ニ關スル問題ガ此委員會ニ御諮問ニナリマシテ、其答申ニ依ツテ當局ニ於
テ小作法ヲ起案サレタコトハ繰返シ申スマデモナイコトデアリマス、昨日來當局ノ御説明ニ依レバ、
御方針ハハツキリシマシタケレドモガ、現内閣ノ成立ノ當初デアツタト思モマス、新聞ニ依ツテ
或ハ當局ノ御話デスカ、新聞ノ記事カ何レカ知リマセヌガ、小作問題ハ何モ小作法ヲ出サナイデモ、
自作農創定ヲヤレバ解決ガ出來ルノダ、故ニ現内閣トシテハ小作法ハ先ヅ見合シテ、自作農創定ニ全
カヲ盡ス積リデアルト云フ意味ノ記事ヲ私ハ新聞デ讀ンダコトヲ記憶スルノデアリマス、其爲ニ獨リ
私ノミナラズ、世間デモ現當局ノ御方針ニ對シテ誤解ヲシテ居ル向キガアリマス、ソレハ現當局トシ
テハ小作立法ハ止メテ、サウシテ小作問題ノ解決ハ自作農創定デ行クノダト云フ方針デナカラウカト
云フ誤解ヲ、多クノ人ハ持つタノデナイカト思ヒマス、私ハ茲ニ意見ヲ申上ゲルノデゴザイマセヌガ、
昨日來色々御意見ノアリマシタヤウニ、小作問題ハ自作農創定ダケデハ逆モ解決ガ出來ナイ、小作地
主ノ關係ヲ適當ニ處理シテ行ク幾多ノ問題ガ殘サレテ居ルト考ヘテ居ルノデアリマス、其意味ニ於テ

合セテ御考ニナルノガ適當デナイカト思ツテ居リマス、併シ御説明ニ依リマシテ、其點ハ私共ノ誤解
デアツタト云フコトガ氷解致シマシテ、非常ニ喜ブ次第デアリマス、併ナガラ御説明ニ依リマス、
小作法ハ重大デアルカラ引續キ慎重審議中デアルト云フコトデアリマスガ、ソコデ伺ヒタイコトハ、
現在小作立法ニ關シテ、ドウ云フ點ニ重キヲ措イテ御研究御調査ニナツテ居ルカト云フコトハ、自作
農創定ノ問題ヲ審議スル上ニ於テ、ドウシテモ知ツテ置キタイ一ツノ條項デアリマス、此點ヲ御差支
ガナケレデ御説明ヲ願ヒマス、是ガ第一デス、第二ニハ私ハ現當局ガ小作ニ關スル立法ノ問題ヲ慎重
ニ御取扱ニナルコトニ就テ敬意ヲ表スルノデアリマス、然ルニ之ニ反シテ自作農創定ニ關スル問題ヲ
餘リニ輕ク御取扱ニナツテ居ル、當局ノ御説明ニ依レバ極ツタ問題デアル、ソレヲ唯々成文法ニ現ハ
スニ過ギナイ、是ハ小作法ト比較ニナラヌ程簡單ナ問題デアルト云フヤウナ御趣旨ニ拜聽致シマシタ、
又之ニ關スル豫算ヲ閣議ニ御出シニナル關係カラ、此重大問題ヲ輕ク御扱ヒニナツテ居ル、是ハ意見
ノ相違デアルト仰シヤレバ已ムヲ得マセヌガ、私ハ自作農創定ノ問題ハ小作立法ト合セテ我國農政
上ノ一大「エボック」ヲ劃スベキ問題デアルト思フノデアリマスガ、此重大問題ヲ輕ク御取扱ニナツ
テ居ル、無論御説ノヤウニ立法ノ上ニ於テハ簡單デゴザイマセウ、農地金庫ヲ作ツテ是デ行クノダト
云フ御方針ガ御決定ニナツテ、サウシテ之ヲ成文ニ御現シニナルト云フコトダケニ就テ見レバ、極メ

ヲ簡單デアリマセウ、併ナガラ此問題ハ立法事業ノ範圍デナク此事業ヲ立派ニヤツテ行クト云フ實行ノ上ニ於テ大ナル困難ガアリ、重要サガアルデアリマス、私ハ外國ノ例ヲ申上ゲル必要ハナイト思ヒマスガ、併ナガラ此御計畫ノ「ヒント」ヲ得ラレタノハ普魯西ノ地代農地法デアラウト思ヒマス、アノ普魯西ニアツタ地代農地法ノ實績ヲ見マシテモ、容易ノコトデナイ、最初法律ヲ出シマシテ政府ガ援助ヲシマシテ、ソレニ要シタ金モ非常ナモノデアリマス、此事業ニ直接當ツタ「メット」氏ニ私ガ逢ツテ聽キマシタガ、此事業ハ難事業中ノ難事業デ、金ニ繼グニ金ヲ以テシナケレバナラス、實ニ難シイ仕事ダト、經驗カラ割出シテ説明セラレタコトデアリマシタ、サウ云フコトデアツテ外國デ困難シタカラ、我國デモ困難ヲスルト云フコトハアリマセウガ、日本ニ於テハ普魯西ヨリモ、ヨリ以上實行ノ上ニ困難ガアリハシナイカト考ヘルデアリマス、ソレデアリマスカラ是ハ御示シニナツタコト許リデナク、之ヲ實行スル上ニ於テ色々ノ問題——或ハ命令ニ御譲リニナツタ條項、實行ノ問題ハ餘程研究シテ行カケレバナラナイコトデアルト思フデアリマシテ、之ヲ慎重ニ取扱フベキ點ニ於テハ、小作立法ト大差ナイ問題デナイカト思フデアリマス、ソレ故ニ私ハ昨日來當局ノ御説明ダケデハ、此問題ヲ此押詰ツタ時ニ茲ニ御提出ニナツテ、短イ間ニ解決ニナツテ、此議會ニ御提案ニナルマデニ御急ギニナル、其理由ガ分ラヌデアリマス、ソレ程御急ギニナル理由ガ何處ニゴザイマセウカ、モウ少シ私共ノ納得ノ行キマセウニ、御差支ガナケレバ御説明ヲ得タイト考ヘルデアリマス、此二點ヲ先ヅ御伺致シマス

○松村農務局長 一應私カラ御答申上ゲマス、第一ノ小作立法ノ點デアリマス、是ハ小作調査會デ一應要綱ヲ御決メニナリマシテ、サウシテソレニ依ツテ或ル案ヲ作ツタ譯デアリマス、ソレヲ一應世ノ中ニ公表致シマシテ、各方面ノ反響ヲ求メテ居リマス同時ニ、昨日モ申上ゲマシタ如ク調停法ガアツテノ小作法ダト云フ沿革ガアルデアリマス、案ガ出來タカラ、直グ議會ニソレヲ出スト云フヤウナ順序ヲ採ルベキカドウカト云フコトモ、私現在ノ農務當局トシテ考ヘテ居ルデアリマス、此小作立法ニ付テハ各方面デモ却々慎重ニ考慮致シテ居ルヤウデアリマシテ、只今私共ノ方ニ修正ノ意見トシテ出テ來テ居ルモノモ、マダ澤山纏ツテ居ナイヤウナ程度デアリマス、大日本地主協會ノ方デ修正意見ヲ研究致シテ居ルト云フヤウナコトガ見エテ居ルデアリマス、小作人側・民間有志ノ意見モマダ充分聽キ得テ居ラナイノハ御承知ノ通りデアル、ドウ云フ民間ノ意見ガアツタト云フコトハ、是ハマダ明確ニ申上ゲラレナイ程ニ不明瞭デアルト思フ、サウ云フ譯デ片方ニ於テハ調停ノ事務ニ當ツテ居ル小作官ニ政府カラ未定稿トシテ示シタモノニ付テノ反響ハ、ドウデアアルカト云フコトモ求メテ居リマスシ、調停ノ事例ニ現ハル、所、判例ニ現ハレル所モ、色々注意シナガラ眺メテ居ル譯デ、小作立法ニハ非常ニ重キヲ措イテ居ルコトハ只今御話ノ通りデアリマス、然ラバ此法律ニ對シテドンナ方面ニ重キヲ措キツ、今眺メテ居ルカト云フ事務上ノ立場カラノ意見ヲ申上ゲマスト、小作爭議ガ起リ

マス場合ニ於テノ、事實上ノ取扱ノ問題ニ付テ煩瑣ノ事ヲ成ルベク除却シテ行クト云フコトガ捷徑デヤナイカ、例ヘバ檢見ヲ致シマス問題トカ、小作地ノ減收調査其ノ他小作爭議ガ起ツタ場合ニ之ヲ調停スルニ付テノ基礎トナルヤウナ色々ノ小作ノ狀況ヲ豫メ調査シテ置クト云フヤウナ問題デアルトカ、或ハ調停委員ト云フモノガアツテ活動シテ居ルノデアルガ、其調停委員ガ十分ニ活動ガ出來ルヤウニ、サウシテ餘計ナ所ニ争ガ起ラナイヤウニ、争點ヲ明瞭ニスルト云フヤウナ方面ニ重キヲ置イテ、方策ヲ講ジテ見ラハドウカ、先ヅカヤウナ點ニ着眼シテ小作法案ノ各條文ニ亘ツテノ輕重ニ付テノ攻究ヲシ、之ニ適應スルヤウナ工合ニ加除スルコトヲ今進メツ、アルノデアリマス、其考案ニ對スル對案トシテ吾々ハマダ案ヲ持ツ迄ニ至ツテ居リマセス、先程申上ゲタ如ク文字ヲ纏メルコトハ容易ニ出來ルノデアリマスガ、農村ノ實情ニ適應シ社會心理ヲ觸ムコトガ大切デアツテ又困難デアル、ソレヲ出來ルダケ要點ニ觸レルヤウニ纏メルト云フ方針ヲ以テ講究ヲ進メテ居ル次第デアリマス、尙ホ此自作農ノ問題ニ付テ昨日獨逸ノ事ヲ申上ゲタノデ、獨逸ノ眞似ヲシタノデヤナイカト云フ御話デアリマシタガ、是ハ山岡サンカラ地券ノ御話ガ出マシテ、獨逸ノ土地債券ト云フ御話ガアツタカラ申上ゲタノデ、此農地金庫ハ、獨逸ノ地代銀行ガ地代債券ヲ出スト云フヤウナノトハ全然組織ガ違ツテ居ル、眞似ヲシタト云フコトデアレバ、債券ヲ發行スルコトダケヲ眞似シタコトニナルカモ知レナイガ、是ハ日本デモ澤山例ガアルノデ、近クハ復興債券ノ如キモ矢張サウ云フヤウナ思想デ出來テ居

ル、獨逸人ノ眞似ヲスルト云フ譯デハアリマセス、唯世間デ獨逸ノコトヲ言ハレルカラ、之ニ言及シテ申上ゲタノデアリマスガ、獨逸トハ立論ヲ全然異ニシテ、我國獨自ノ見地カラ此ノ案ガ生レテ來タノデアリマス、御承知ノ通り既ニ簡易保險積立金ヲ此ノ方面ニモ運用シテ、今年度ニ於テモ一千萬圓ノ金額ヲ貸付ケテ居ルノデアツテ其ノ效果モ認メラレテ居ル、唯規模ガ極メテ小ナイ爲ニ十分目的ヲ達スルコトガ出來ナイ狀況ニアル、農地金庫ニ依ル此ノ計畫ヲ立タタノモ、全ク從來ノ施設ノ實施ニ立脚シテ農村ノ實情ニ適應スルヤウニ、又其ノ要望ニ副フヤウニ生レテ來タノデ、空論デモナク獨逸ノ模倣ト云フ譯デモナイノデアリマス、又押迫ツタ際ニト云フコトデアリマスガ、是ハ押迫ツテモ押迫ラナクテモ急グベキコトデ、小作法ヲ急ガナケレバナラスト同ジ意味ニ於テ自作農創設モ急ガナケレバナラス、之ヲ一日モ早く御審議ヲ願ツテ、缺點ノアル所ハ之ヲ補正シテ、農村ノ振興安定ノ爲ニ一日モ早く實施スベキモノデナカラウカ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○東郷委員 更ニモウ少シ御尋ネシタイノデアリマスガ、此原案ガ昨日來御説明ニモアリマスヤウニ一面ニ於テハ爭議ヲ緩和シテ行ク、一面ニ於テハ土地ノ生産額ヲ増進シテ行ク、斯ウ云フコトガ重ナ目的ノヤウニ窺ハレル、就キマシテハ現在我國ノ農家ガ、自作ニシロ或ハ小作ニシロ却々困難ノ立場ニ置カレテ居ル、斯ウ云フコトデアル、モット分リ能ク申シマスレバ、經濟的ニ餘裕ガナイ、農業經營ガ算盤ニ合ハナイ、斯ウ云フコトガ一ツト、モウ一ツハ農村ニ於ケル農業ノ經營ハ、都會ニ於ケル

商工業ノ經營ト比較シテ見テ、農村ノ經濟的地位ト云フモノガ著シク今日低イ、斯ウ云フ状態ニ在ルガ、其原因カ何處ニアラダラウ、斯ウ考ヘテ見タ時分ニ、色々アリマセウケレドモ、要スルニ我國ノ現在ノ農業ノ實體ト云フモノニ非常ナ缺點ガアル、ソレハ日本ノ農業經營ガ縱斷的デナイト云フコト、農耕地ガ非常ニ點在シテ居ル、モウ一ツハ全體トシテノ經營面積ガ比較的少イ、斯ウ云フコトデアリハセヌカト考ヘテ居リマス、ソレデ此事實ガ或ル程度ニ於テ緩和サレナイ以上ハ、成程土地カラノ生産額ハ小作經營ヨリハ自作ノ方ガ多イカ知ラヌガ、自作デモ矢張困難デアルト云フ事實ハ取除ケラレナイ、更ニ都會ト比較シテ農業經營ガ不利ナ位置ニ置カレル、此事實モ取除ケラレナイ、斯ウ云フコトデナイカト思ハレル、シテ見レバ今日モウ少シ我國ノ農業經營ヲ其面積ヲ出來ルナラバ大キクシテ行ク、又之ヲ一箇所ニ集メテシマウ、斯ウ云ツタヤウナ根本ノ問題ニ先ヅ這入ツテ行カナケレバ、折角ノ自作農創設ノ事業モ此根本ノ問題ヲ解決スルニ甚ダ力弱イモノデハナカラウカ、斯ウ考ヘルノデアリマス、故ニ此事業ガ先程モ申シマシタヤウニ、是ハ我國ノ農政ノ上ニ於テ、農業發展ノ上ニ於テ重大ナ事業デアルトスルナラバ、此機會ニ於テソコ迄考ヘテ行ツテ、根本ノ解決ヲスルト云フコトガ勿論必要デアル、ソレヲ一年二年急イデヤラズ、ソコ迄考ヘテ、モット根本的ニ之ヲ改メテ行クト云フ、ソレガ私ハ宜クハナイカ、七十年モ此計畫ガ繼續サルベキ性質ノモノデアラナラバ、特ニ其點ハ考慮シナケレバナラヌト考ヘルノデアリマス、此立場カラ考ヘテ見マシタ時分ニ、マダ能ク

案ヲ見マセヌカラ、或ハ判斷ヲ間違ツテ居ルカ知リマセヌガ、昨日ノ御説明ニ依リマシテモ四千圓ヲ最高限度ニスル、四千圓ト云フノハ所謂一町歩、ソレ以上ノモノハ是ハ補助シナイ、斯ウ云フ趣旨ニ立ツテ居ルト云フコトデアリマスガ、サウスレバ經營面積ノ上ニ於テ現在ヲ其儘ニ之ヲ何等發展セシムルト云フ意思ガソコニナイ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ現在ノ我が國ノ農業ノ經營面積ハ平均一町歩ニナツテ居リマスガ、ソレガ適當デアル、斯ウ云フ基礎ノ下ニ此案ガ生レ出タモノデナイカト斯ウ考ヘマス、而モソレガ最高限度ガ四千圓デアラカラ、先程御話ノヤウニ平均千圓位ト云フコトデアルト、極ク小サイ自作農ヲ獎勵スル譯デアル、サウスレバ更ニ土地ガ細分サレル、而シテ經營面積ガ非常ニ小サイ、ソコニ日本ノ農業ノ難關ガアルノニ、ソレ以上ニ土地ヲ細分シテ、此以上ニ我國ノ農業經營ヲ細カクシテシマフ、斯ウ云フ缺點ガアリハシナイカ、サウ云フヤウナ點ヲ御考慮ニナツタノデアリマスカ、無論ナツタコト、思ヒマスケレドモ、私ノ茲ニ御尋ネシタイノハ、サウ云フ事デモ宜シイト云フ御考デ此案ガ出來タノデアリマスカ、又當局ト致シマシテハ、モウ少シ根本的ニ我が國ノ經營面積ヲ大キクシテ行カウ、斯ウ云フヤウナ御考ハアリマセヌカドウカ、又是ト關聯シマシテ土地所有ノ方面ニ於テモ、土地所有面積ノ最高限度ヲ御考ヘニナルト云フ思召ハアリマセヌカ、又ソレト同時ニ土地所有ノ最小面積ヲ或ル程度ニ制限シャウト云ツタヤウナ御考ハアリマセヌカドウカ、斯ウ云フコトヲ御尋ネ致シマス

○松村農務局長 色々御質問デアリマシタガ、先ヅ斯ウ云フコトヲ私申上ゲタイト思フ、此自作農創設ハ主トシテ昨日申上ゲテ居リマス如ク、小作人ヲ自作ニスル、人ノ土地ヲ耕シテ居ツタモノヲ自分ノ土地ニシテ耕ス、是レダケガ要點デアリマス、農業經營ヲ之ニ依ツテ解決シ、之ニ依ツテ指導シテ行クト云フコトハ、此案デハ考ニ入レテナイノデアリマス、是ハ只今申上ゲマスコトダケヲ目的ニシテ居ルノデ、農業經營ニ全然觸レテ居ルノデヤナイ、全然觸レテ居ラヌト云フト誤弊ガアルカ知レマセヌガ、サウ云フコトヲ理想ニシテ出來テ居ルノデヤナイ、其方面ニ付テハ別個ニ攻究シカヲ盡シツ、アルノデアリマシテ、農業經營ノ指導獎勵ハ農政上一番大事ナ事デ、小作農ヲ自作ニスルトカ、セストカ云フ問題ト離レテ必要ナ事デアリマス、只今御話ノ四千圓ノ標準ト云フコトモ、從來四千圓デヤツテ居リマスカラ、ソレデ小作人ノ手頃ノモノヲ取敢ヘズ自作トスルト云フコトヲ申上ゲテ居ルノデ、小作人ハドノ位ノ範圍マデ耕作スベキモノデアルカト云フ標準點ハ、此案ヲ施行スル上ニ於テハ決メテ居ラナイ、唯本案デ助成スルノハ四千圓ヲ最高トスルト云フ程度デヤツテ行カナイト、全國ニ自作農ヲ普及スルトガ出來ナイト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアルガ、四千圓以上ニ尙ホ自作地ヲ取得スルトハ妨グナイノデ、唯農地債券ノ方デ御世話ヲシナイ、援助スルノハ四千圓デアルガ、ソレ以上ハ邪魔ヲスルノデモ何デモナイ、又農業經營ノ面積ヲ細分シテ行クヤウナ意味デナカラウカト云フ御質問デアリマシタガ、只今申上ゲタコトニ依ツテ御了解ヲ得ルコト、存ジマスガ、細分スル積ハ

ナイノデアリマス、小作人ガ從來ノ小作地ヲ其儘自作地トシテ經營スル、其結果トシテ不在地主ノ土地ガ分割サレテ、小サイ地主ガ多クナル結果ニナリマスガ、農業經營ノ方面カラ見テ、小作地ヲ耕シテ居ル場合ト自作地ヲ取得シタ場合ト經營面積ニ變リガナイ、從テ本案ノ實施ニ依ツテ農業經營ノ面積ニハ影響ガ産レテ來ルトハ思ツテ居リマセヌ、ソレカラ又急ガズトモ宜カラウト云フコトデアリマシタケレドモ、一方ニ於テ地主ト小作人ガ相争フテ精力ヲ消耗スルヤウナコトハ、一ツデモ無クシタラ宜カラウト云フ意味ニ於テ、出來ルダケ早クヤツタラ宜カラウト思フノデアリマス、緩リシナケレバナラヌト云フ理由ハナイノデアリマス、矢張急グルモノナラバ急イデヤツタ方ガ宜カラウト思フノデアリマス

○東郷委員 大體御説明デ分リマシタガ、無論御説明ノヤウニ土地ヲ細分スル目的デ御立案ニナツテ居ナイト云フコトハ其通りデアリマスケレドモ、事實ハサウ云フ結果ニナリハシナイカ、サウシテ今後人口ガ益々増加シテ行クト云フコトニナレバ、七十年先キニ於テ再ビ之ヲ救済シナケレバナラヌ、新シイ政府ノ施設ヲ要求スルヤウナ時代ガ來ハシナイカト云フコトヲ考ヘタ時分ニ、色々ナ疑點ガアルノデスガ、併シソレ等ハ今大體ノ御方針ヲ伺ツテ居ル所デアリマスカラ、又他ノ機會ニ於テ申上ゲルコトニ致シマス、

○岡田委員 私ハ第四條ニ付テ一寸當局ノ御方ニ昨日其一端ヲ承ツタノデアリマスガ、尙ホ伺ツテ置

キタイノデアリマス、實ハ色々此案ニ付テ變ツタ意見モアリマスガ、一番必要ナノハ土地ノ價額デアツテ、而モ其價額ハ前ヨリ年々下ツテ行クノデアルト云フコトヲ豫想サレルコトガ、一番此問題ニ對スル重要ナル觀察點デアリ、又議論ノ多イ所デアラウト思ヒマス、此價額ガ下落スルデアラウト觀察シテモ大シタコトハアルマイト思フノデアリマスガ、兎ニ角此決定ハ命令ニ依ツテ定メラレテ居ルノデアリマスガ、此決定ト云フモノハ、例ヘバ茲ニ地主ト小作人トガ賣買ノ約束ガ成立ツテ、農地金庫ノ世話ニナラウト云フ場合ニ、貸シタ金ノ決定テ行クダケナラバ餘程輕イノデアリマスガ、其算出スル價額以外デハ安クテモ高クテモ取引賣買スルコトヲ認メナイト云フコトニナリマス、國ガ是ガ適當ナル價額ナリト云フコトヲ極メルノデアリマスカラ、茲ニ甚ダ重要性ガアラウト思ヒマス、サウシマスルト、元算出ノ基礎ガ小作料ニナツテ居ルノデアリマスカラ、其小作料ト云フモノニ對シテ今後此小作料ガ下ルトカ下ラナイトカ、ソレハ色々見解ガアリマセウガ、現在ノ材料ニ依ツテモ考ヘ様ニ依ツテ可ナリ違フト思ヒマス、ソレニ就テハ大體ドウ云フヤウナ風ノ御見解デアリマセウカ、參考ノ爲ニ伺ツテ置キタイノデアリマス、今一ツハ假ニ適當ト思ツテ或ル小作料ヲ押ヘテ置イテ、ソレゾレ算出シテ是デ扱ツテ置イテ、其ノ後ニ農業經營條件其他ノ豫想ノ出來ナイヤウナ大變化ガ起ツタ爲ニ非常ニ價額ナリ小作料ナリニ變化ノ起ツタ場合ニ、ソレニ應ジテ多少救済策ヲ執ラレルト云フコトモ御考ヘニナツテ居ルデアラウカ居ラナイデアラウカ、賣ラウ買ハウデ決定シタ後デアレバ、後デドウ

ナラウトオシマヒマデ、ソレハ何等ノ對策ガ必要デナイトカ、アルトカ云フコトモ、私ハ此際ニ重要ナ參考資料ニナルト思ヒマス、昨日來色々各委員諸君ノ御意見ヲ伺ツテ居リマス、私共ノヤウニ農村ノ實際ノ仕事ニ年中携ツテ居ル者カラ見マス、皆御尤デ、吾々ノ心配シテ居ルコトヲ能ク御心配ニナツテ居ルト思ハレルノデ、尠クトモ吾々ノ如キ實際ニ農村問題ニ携ツテ居ル者カラ見テ不都合ナトカ、變ツタトカ思フコトハアリマセウガ、唯強ヒテ多少違ツタ所ヲ申シマスレバ、十分ニ練上ゲテヤル方ガ宜カラウト云フコト、早クト云フコト位デアルト思ヒマス、小作法ト雖モ大正九年カラ御研究ニナツテ居ルガ、内容ハドウカ知リマセウガ、社會カラ見レバマダ何モ形ニナツテ居ラス、サスレバ何時是ガ出來ルモノヤラ分ラナイ、小作法ガ出來テ研究シテヤルト云フニハ何年掛ルカ分ラナイ、之ヲ農村ノ者カラ見レバ、サウ思フヨリ外アリマセウ、研究調査シテ居ルト五年ヤ十年デハ出來サウニモナイ、斯ウ云フ考ヲ現ニ起スノデアリマスガ、ソレハ宜クナイト思ヒマス、長イ時代カラ言ツタラ五年十年ハ短イカ知リマセウガ、吾々ハ何デモ構ハナイ、早クヤル、サウシテ可及的弊害ノ少イヤウニヤリタイト云フノガ私共ノ希望デアリマス、是ガ私ハ價額ノ扱ニ依ツテ餘程違ツテ來ル、先ヅ最初ニ小作料ニ對シテ適當ニ考ヘテ現在ノ小作料ヲ——現在ト云フコトガ難シイノデアリマスケレドモ——現在ノ小作料ヲ適當ニ押ヘルコト、激變ノアツタ場合ニ之ヲ救済スルト云フヤウナコトヲ考ヘテ御居デニナルノデアリマセウカ、或ハ研究ヲ要スルモノトシテ、ソレニ就テ御意思ガアルカナイカ、

此二點ヲ御伺シタイノデアリマス

○松村農務局長 第一ノ土地ノ價額ノコトニ付テ私共ノ考ヘテ居リマスノハ、土地ノ價額ト云フモノヲ眺メマスノニ、所謂耕作權ニ對立スル場合ノ所有權ノ價額ト、土地全體ノ價額ト云フモノ、混同ガ世間ニ大分アルヤウニ思ヒマス、土地ノ價額——所有權、耕作權ヲ引括メテノ價額ハ年ト共ニ減少シナイ、農作物ハ段々騰ルニ反シ、土地ノ面積ハ限定サレテ居リマスカラ、何處デモ騰ガルニ極ツテ居リマス、即チ土地全體ノ經濟價値ハ上ガルニ極ツテ居ルノデアリマス、併ナガラ地主ト小作人ノ間ノ所有權ノ價値ト耕作權ノ價額ハ、何處ニ境界ガアルカト云フコトニ付テノ小競合ニ重キヲ措クヨリモ、全體ノ經濟價値ヲ上ゲテ食料問題ニ貢獻シテ行キタイ、地主ト小作ガ協力シテ土地ノ自然ノ賜物ヲ、モウ少シ發揮シテ貰ヒタイト云フコトガ私共ノ主眼トスル所デアリマス、其觀念デ眺メテ、所謂耕作權トノ關係上、土地ノ所有權ノ價額ハ今日ヨリ下ガルカモ知レマセヌ、地主ノ分前、利廻ガ段々少クナレバ所有權ノ價値ハ減リマス、サウシテ小作權ノ價値ハ増シテ參リマスカモ知レマセヌケレドモ、綜合スレバ矢張土地ノ價額ハ上ツテ來ルノデアリマス、故ニ境界爭ハ止メテ全體ニ伸ビタラ宜イデハナイカト云フノガ私共ノ考デアリマス、從ツテ土地所有者ガ自作ヲ爲シテ居ツテ引合フカドウカト云フ點ニ重キヲ措イテ居リマスノデ、自作農地ノ創設ヲ援助シヤウトスル土地ノ價額ハ小作人トシテ苦痛ノナイ或ル一定ノ金額ヲ一定年開出シテ行ケハ土地ガ得ラレルト云フ程度ノ價額ヲ標準トシテ居

ノデ其ノ程度ヲ越ユル價額ノ土地ニ對シテハ此法案ニ依ツテ援助シナイ、其標準價額ガ土地ノ市場價額ト一致スルト云フコトハ眼中ニ置イテ居ナイ、併シ割出シタモノガ市場價額ヨリ高クナツタラ困リマスカラ、サウ云フ場合ニハ市場價額マデ下ゲルノデアリマス、斯ウ云フ立前デアリマスカラ、此案ハ現實小作者ノ利益ニ始終立脚シテ眺メテ居ルノデアリマス、ソレガ爲ニ地主ヲ叩カウト云フコトハ考ヘテ居リマセヌガ、結局相當ノ値段ニ歸著スルデアラウト考ヘテ居ルノデアリマス、詰リ自作農地トシテ經營ガ成立ツヤウナ價額デナケレバイカスト思ヒマス、第二ノ小作料ガ非常ニ激變シ從ツテ土地ノ價額ガ激變スル場合ニ何カ考慮シテ居ルカト云フ御質問ニ對シテ、農地金庫ノ取立テル金ハ普通債權者ガ金錢債務ヲ取立テルヤウナ心持デ居ラナイ、サウシテ作ノ惡イ年ニハ年賦金ヲ免除スルナリ、支拂方法ヲ變更スルナリ適當ナ方法ヲ講ズル、斯ウ云フノデアリマスカラ、此農地金庫ガ新シク地主ニナツタ者ニ對シテハ、金錢債權者トナツテ法律上ハ決定シテ居リマスカラ表面カラ見ルト是ハ普通ノ金錢債權者ノ様デアリマスガ、併ナガラサウ云フヤウナユトリガアリマスカラ、土地ノ經濟價値ガ激變シタ場合ニハ、ソレニ應ジタ意味ノアル態度ヲ農地金庫ハ執ルモノト云フ諒解ノ下ニ此案ハ出來テ居ル、然ラバ激變シタカラ法律ヲ變ヘルカト云フト、立法ノ最初カラ變ヘルモノトシテ進ム譯ニ行キマセヌ、併ナガラ激變ガアレバ法ノ範圍内ニ於テ農地金庫ガユトリヲスル、ソレデモ尙ホ

社會ノ實狀ニ全ク適セナイト云フコトデアレバ、斯ウ云フ成文法ハ社會ノ實狀ヲ無視シテ無理ニ働カスコトハ出來マセムカラ、結局要求シナクテモ改正セラレルシ、成文ハ實際效力ヲ失ツテ改正セザルヲ得ナクナルデアラウ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○岡田委員 一寸私ノ後ノ考ハイケナカツタカモ知レマセムガ、法文ハ別トシマシテ、成程其當時ハ大體其當時ノ價額ニ近イモノデナケレバ時代ニ適スルモノデナイシ、事實行ハレマスマイガ、例ヘバ地價ガ今四百圓デアアル、ソレガ普通計算カラ言ツテモ時價カラ言ツテモ宜カラウト云フコトデアツタトシテ、ソレガ數年ノ後ニ二百圓位ニ一般ニ下落スルトカ、或ハ八百圓位ニ上ツタトカ、假ニ斯ウ云フコトガアツタトシマス、上ツタ方ハ問題デアリマセムガ、其時ニ若シ唯此儘デ行キマスト云フト、此四百圓デ今日買ツタモノハ矢張五年先ニ二百圓デ買ツタ方ガ餘程宜カツタト云フコトニナルデアリマス、斯ウ云フ問題ハ農村ハ始終繰返シテ居ルノデアアルカラ、上ツタリ下ツタリシタ時ニ、買ツテ宜カツタ賣ツテ宜カツタト云フコトガ出テ來ル、是ハ中央アタリデ一般ノ方ガ御考ニナル程不思議ナ現象デモナシ、繰返シテ居ルノデアリマスガ、併シ國ノ事業トシテサウ云フコトガ若シアリトスレバ、餘程考慮シナケレバナラヌ問題ハソレデアラウト思ヒマスガ、若シ其時ニ其當時々々ノ適當ナ價額デナケレバ賣ルコトモ買フコトモ出來ナイノデアアルカラ、強制徴收デナイ以上ハ已ムヲ得ナイトシテ置

イテ、何年ニ一遍カ茲ニ一ツ能ク左様ナ事ヲ調査シテ、少々ノ變動ハ無論宜シイガ、今言フヤウナ激變ノアツタ時ニハ價額ノ改算ヲスル、計算ノヤリ直シヲ或ル程度マデシテ、年賦金ヲモ變更スルト云フコトヲシテ行キマスト、餘程救済ガ出來ル、是ハ元來無理解カラ一切其時ニ終ツタモノ、ヤウデアリマスガ、併シ一面カラ云フト、地主ノ立場カラ言ツテ、ソシナ馬鹿ナコトガ出來ルモノデナイト言ヘバ言ヘルノデアリマスガ、併シ持ツテ居ツタナラバ矢張下ツテ居ルノデアリマスカラ、地主其モノニ特ニ迷惑ト云フコトハナイ、ジツト頑張ツテ持ツテ居ツテモ矢張下ツタノデアリマスカラ、ドツチニシテモ地主ハ困ルノデアリマスガ、何年ニ一回カ左様ナ事ガ若シ出來ルト云フ趣意デモ立チマスト、總テノ議論ガソレデ一掃サレマスシ、小作地ヲ買受ケ自作地ヲ持ツヤウニナツタ者ハ非常ニ樂ヲスル、地主モ亦事實ニ於テ何モ迷惑ハナイ、成程前ニ高イ時ニ賣ツテ引掛リノナイヤウニシテ置イタラ宜カツタデアリマセウケレドモ、ソシナ何モ斯ウ云フ自作農ニ賣ラズニ勝手ニ賣ツテ宜シイデセウカラ、要スルニ時價デ賣ツテ行ツタト思ヘバソレデ宜シイノデアリマスカラ、若シ取扱ノ上ナリ法ノ上ニサウ云フコトガ出來レバ宜イデヤナイカト云フコトヲ考ヘテ見タノデアリマス、何カ左様ナ事ニ付テ御研究ニナツタコトハアリマセムカ

○松村農務局長 現在ノ地主ガ土地ヲ賣ツテシマツテカラ後ニ又高クナツタ場合ニ、農地金庫ガ仲介シテ居ルカラモウ少シ出シテ呉レタ宜イデヤナイカト云フコトハ、勿論引受ケル考ハナイ、地主ガ

一旦土地ヲ放シテシマツタ仕方ガナイ、其反對ニ創設後土地ノ價額ガ著シク安クナツタ場合ハ買受人ガ損ヲスルノデアルガ、其場合ハ能ク私御尋ネテ了解シテ居ラナカツタカモ知レマセヌガ、其場合ハ特ニ本件ノミナラズ長期ノ不動産擔保ノ關係ニ付テモ、同ジコトデヤナイカト思フ、長イ間ノ關係デアリマスカラ價額ノ激變ガナイトモ言ハレナイ、當事者ノ間ニ損得モアラウト思ヒマスケレドモ、ソレハ世間有リ來リノ金貨ノ關係ニ於ケルヤウナ關係ニ致シテ居ルノデハアリマセヌカラ、後カラ納付スル年賦金ニ付テ考慮スルコトモ出來ルヤウニ思フノデアリマス、併ナガラ色々ナ激變ガアツタ時ニ初メカラズツト計算ヲヤリ直スト云フコトマデ、一々準備シテ掛カルト云フコトハ、經營ノ基礎ニ非常ナ動搖ヲ來スコトニナリマスカラ、出來ルダケノコトハ當事者双方ノ便宜ノヤウニ考慮ハ致シマスケレドモ、政府トシテハ事情々々ノ變化ニ應ジテ態度ヲ改メテ行クト云フコトハ、今ハ考ヘテ居ラナイ、勿論地主ニ對シテハ初メカラ考ヘテ居ラナイノデ、地主ハ農地債券ヲ買ハバ先ヅソレデ打切ツテ貰ヒタイ、殘ルノハ從來ノ小作人ト密接ナ關係ヲ續ケテ行ク、斯ウ云フ立前デアリマス

○菅原委員 私簡單ニ伺ツテ見タイト思ヒマス、段々御説明ニ依ツテ了解シマシタガ、其中此立法ヲ御急ギニナラナケレバナラスト云フ理由ニ付テモ伺ツタノデアリマスガ、然ルニ非常ニ御急ギニナルト云フニ拘ラズ、此效果ノ現ハレテ來ルノガ三十五年モ後デアルトカ、或ハ其完成ヲ告グルノハ七十年モ後デアルトカ云フコトデアルト、大分氣ノ長イ話デアアル、所謂望洋ノ感ガアル譯デアアル、モツト何か手ツ取早ク效果ノ現ハレル方法ガアリヤ否ヤト云フコトニ付テ、御考ニナツタコトガアルカドウカ、段々伺ヒマスト國庫ノ負擔ガ八億デアルトカ十億デアルトカ云フヤウナ巨額ニ達スルト云フコトデアルナラバ、モウ少シ太ク短カク、餘リ細ク長クト云フコトデナシニ、早ク效果ノ現ハレル方法ガアリサウナモノデナイカ、三十五年モ七十年モ後ニナルト、段々御話ニナリマシタ通り社會ノ狀態モ變ルデアラウシ、時代思想モ變ツテ來ルデアラウシ、或ハ國家ガ干涉シテ自作農ナドヲ獎勵シテ行クト云フヤウナコトハモウヤリ得ナイ時ニナラストモ限ラス、ソレヨリハ成ルベク早ク效果ノ現ハレル方法ヲ御採リニナルコトガ最モ適切デナカラウカ、此點ニ付テ何か御考ニナツタコトハアリマスカ

○松村農務局長 只今ノ手ツ取早クヤルト云フ方面ニハ兩方カラ眺メラレルト思フノデアリマスガ、地主ノ方面カラ云フト手ツ取早イノデアリマシテ、農地債券ヲ買ハバソレデ濟ンデシマウ、非常ニ手ツ取早イノデアリマス、小作人ノ方ノ手ツ取早イト云フコトハ、結局太ク短カクスルコトニナリマスカ、太ク短カクスルト云フト、小作料ヨリモ餘分ノモノヲ拂ハナケレバナラストニナツテ行ク、デ太ク短カクスル工夫トシテハ、新シク地主ニナリマシタ者ノ年々ノ金額ヲ増加スルカ、然ラザレバ年々ノ金額ハ其儘ニシテ置イテ、年限ヲ短カクスルト利率ヲ安クスル爲ニ國庫ノ支出スル補給金ヲ著シク増額シナケレバナラストニナル、現在ノ補助施設ノヤウニ二十五年ト云フコトニスレハ利率ヲ三

分五厘ニシナケレバナラス、ソレヨリモ更ニ短クスレバ利率ヲ更ニ低クシナケレバナラスコトニナル、利率ヲ三分五厘ニシテモ本案ヨリモ補給金ヲ一分五厘モ多クシナケレバナラナイノデアアルガ之ハ今日ノ財政上ノ關係デ如何カト思ヒマシタノデ、先ヅ是ヨリ短カクスルコトハ、ドツチカニ無理ガ出來ルト云フコトヲ考ヘマシタ結果、此方法ヨリ無イト云フコトニナツタ譯デアリマス

○菅原委員 御説ハサウデアラウト思ヒマスガ、御計畫ニ依ルト云フト、小作地ノ三割ヲ自作地ニ引直サウト云フ御見込デアルト云フコトニ伺ツテ居リマス、其三割ノ小作地ヲ自作地ニ直スコトニ依ツテ三十五年ヲ要スルト云フコトデアラナラバ、一割ダケデモ早く二三年ノ間ニ出カスト云フ方ガ寧ロ效果ガアルノデヤナイカト思ハレルノデアリマス

○松村農務局長 早く作りマスコトニ於テハ非常ニ結構ト思ヒマスケレドモ、結局三割ニ對シテ一割ヲ作ツテ金ガ同ジ金ダト云フコトニナルト、時ハ早くシマシタケレドモ一割シカ出來ナイ、斯ウ云フコトニナリマス、矢張結局懐具合トノ相談ニナル譯デアリマス、財政上ノ負擔ノ出來ル範圍ヲ縮メルト云フコトノ外ハナイカト思ヒマスノデ、或ハ急グト云フコトニナレバ、サウシテ小作人ノ負擔ヲ重クシナイト云フコトニナルト、結局補助ヲ多クスルト云フコトノ外ハナイカト思フ、或ハ今御話ノ如ク三割ノモノヲ一割ニシテ、サウシテ急速ニヤツテシマフト云フコトニナルノモ一方法カト思ヒマスケレドモ、結局急グコトハ損ヲ大キクスル、即チ同ジ金得ラレマス自作農地ノ面積ガ減ル、時ハ早

クナリマスケレドモ、實ハ同ジ金ヲ使ツテ置イテ面積ガ減ル、斯ウ云フコトニナルノヲ心配致シタノデアリマス、ツマリ同ジ面積ノ自作農地ヲ早く創設シヤウト云フコトニナルト、國庫ノ支出ガ増シテ大變ナ負擔ニナル、ソレカラ同額ノ國庫支出ニ依ツテ早く創設シヤウトスレバ小規模ニナル、結局早く短カクスルト云フコトニナレバ餘計ナ金ヲ要スル、斯ウ云フコトニナルト思ヒマス

○菅原委員 ソコデ二ツノ比較デアルノデス、其效果ガ何レガ多イカト云フ研究ニナル譯デアリマス、御説ハ分ツタノデアリマスガ、續イテ尙ホ伺ヒマス、此ノ春頃、或ル一部ニ小作地ヲ買上ダテ國有ニスル、而シテ之ニ依ツテ小作爭議ヲ解決シテ、同時ニ自作農創定ヲ圖ラウト云フ説ガ行ハレテ、大分之ニ對スル批評モアツタヤウニ聞イテ居リマス、之ニ就テ政府ハドウ云フヤウニ御研究ニナツタノデアリマスカ、若シ御研究ニナツタコトガアリマスナラバ、只今承リタイノデアリマス

○松村農務局長 世間デ唱ヘラレマシタ土地國有ノ問題ハ、全然考ヘテ居リマセヌ、初カラ問題ニ致シマセヌ、ソレヲ考慮ニ入レマセヌデ簡易保險積立金ノ運用ト之ニ伴フ國庫ノ補助トニ依ル現在ノ施設ヲ擴張シヤウト云フコトカラ出發シテ本計畫ヲ立案スルコトニナツタノデアリマス

○小平幹事 土地國有ノコトニ就テ、議會ノ問題ニナツテ居リマシタ、貴族院邊リデ研究サレテ居リマシタコトハ、新聞ニ出テ居リマシタ、土地國有ノコトハ今迄研究シテ居リマスガ、革命的方法デヤルナラバ兎ニ角、現在サウ云フコトハ不可能デアルト考ヘテ居ルノデアリマス

○菅原委員 其當時私モ屢々聞イタコトガアリマスガ、土地國有ナルモノハ小作爭議ヲ國家ニ轉嫁シヤウト云フ或ル一部ノ者ノ考カラ、起ツテ居ルノデアルト云フヤウニ批評シタ者ガアリマス、然ルニ今回ノ此ノ案ニ對シテ、矢張小作爭議ヲ農地金庫ニ轉嫁シテ行カウ、間接ニ國家ニ轉嫁シテ行カウト云フ意味ガ含マレテ居ルノデナイカ、ソコニ動機ヲ發シテ居ルノデナイカト云フコトヲ申ス者ガアリマスガ、是ハ全然邪推デアルト考ヘテ宜シイノデアリマスカ

○松村農務局長 此案ヲ運用シテ行ク場合ニ於テ、初ヲ慎ム考デアリマス、自作農地ヲ創設スル當初ニ於テ土地ヲ取得セムトスル者ノ資格、土地ノ價額其ノ他ニ付テ十分ニ調査スル、ソシテ之ナラバ自作農地ノ經營ヲ維持スルコトガ出來ルト云フ目安ノ付イタモノヲ選ンデ助成スルコトニナルノデアリマスカラ、年賦金ノ支拂ニ付テ農地金庫ト爭議ヲ起スヤウナコトハナイト思フ、而モ年ヲ經ルニ連レテ土地ノ代金ガ年賦金ニ依ツテ支拂ハレ、未支拂金額ガ減ツテ行クノデアリマスカラ益々其ノ虞ガナクナルノデアリマス、又小作人カ折角土地ヲ取得シテ餘リ苦痛デナイ負擔ノ年賦金ヲ一定年間支拂ツテ行ケバ完全ナ所有權ガ得ラレルノデアルカラ、後ニナツテ其ノ土地ヲ手放スト云フ様ナコトハ餘程ノコトデモナケレバ起リ得ナイ、從テ農地金庫ガ地主ニナルト云フコトモ多ク起ルヤウナコトハナイ、農地金庫ガ若シ已ムヲ得ズ土地ヲ引受ケタ場合ハ地主ニナリマスケレドモ、更ニ又他ノ小作人ニ其ノ土地ヲ自作農地トシテ早ク之ヲ取得セシムルコトトスルノデアリマスカラ此ノ場合ニ於テモ小作爭議

ガ起ルト云フヤウナコトハ先ヅ心配スル必要ガナイノデアリマス

○東會長代理 ソレデハ是デ休憩致シマシテ、午後一時カラ更ニ開會スルコトニ致シマス

午後零時三十分 休憩

午後一時二十分 開議

○山本會長 ソレデハ午前ニ引續キ會議ヲ開キマス

○菅原委員 尙ホ伺ツテ置キマス、第五十七條、五十八條、五十九條、是ニハ國庫ノ補給ト云フコトガアリマスガ、五十七條ノ方ハ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ政府之ヲ補給スルト云フコトニナツテ居リマシテ、五十八條、五十九條ノ場合ハ、絶對ニ國庫ガ負擔スル、而シテ其補給額ガドレ程ニナルモノカ、先刻ノ御説明ニ依リマシテモ殆ド豫想ノ出來ナイヤウナ、マダ確定モシテ居ラナイヤウナ金額ヲ國庫ガ負擔シテ、サウシテ之ヲ國庫ノ義務ニスルト云フヤウナコトハ、餘リ今日迄先例ガナカツタヤウニ思フノデアリマスガ、何カ御調ニナツタコトガアリマスカ、サウ云フ不確定ノ債務ヲ國庫トシテ負擔スルヤウナ先例ガアリマセウカ

○松村農務局長 第五十七條ノ方ハ今御話ノアリマシタ通り豫算ノ範圍内デアリマスカラ、此計畫ハ八千萬圓ヲ限度トシテヤルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、御説ノ通り八千萬圓デヤルニ付テ必要ナ經費ヲ議會ニ協賛ヲ求メル、此案ハ八千萬圓ヲ三十五年間續ケテ行クト云フコトニナツテ居リ

マス、併ナガラ議會ノ協賛ヲ經ナケレバ八千萬ガ七千萬ニナルカモ分リマセヌ、五十八條ニナリマス
ト、一旦協賛ヲ經テ農地債券ヲ發行シタ後ニ起ル問題デアリマスカラ、五十八條ニ付テノ金額ハ一向
考ヘテ居ラナイデハナイカト云フ御話デアリマスガ、實際政府ノ損ニナルト云フノハ、計算スレバ損
ハ出テ來ナイ關係ノ場合ガ多イ、免除ヲスルト其部分ハ損ガ出テ參リマスガ、支拂方法ノ變更ノ場合
ハ餘リ損ガナイ、又年賦金ノ支拂ヲ怠ル者ガアツテモ、農地金庫デ其土地ヲ引受ケマスカラ、其關係
デ餘リ損ハ出ナイ、又一面農地債券及利札ノ紛失等ニ依ル農地金庫ノ收入モ豫想シ得ルノデ實際上ニ
於テ大シタ損失ハナカラウト思ハレマス、併シ大凡ノ見込ハ計算ヲ致シテ此案ニハ臨ムト云フ考デ、
不確定ト云フコトニハナリマスケレドモ其ノ計算モ致シテ居リマス

○山本會長 只今ノ御質問ハ金額ガ幾ラニナルカ分ラナイモノデアルカラシテ、理論ノ上カラ行ケバ
實際モナク補給ヲシナケレバナラヌ形ニナル、故ニサウ云フ先例ガアルカナイカト云フ御趣旨デアラ
ウト思ヒマス

○菅原委員 左様デス

○山本會長 染料會社ノ損失補償ノ例ガアリマスガ、是ハ幾ラ損失スルカ分ラナイ……

○小平幹事 五十八條ハ農林大臣ノ認可ヲ經テ免除スルコトニナツテ居リマス、初メ政府ガ豫算ニ計

上シタ金額ヲ以テ補給スル譯ニナリマスカラ、豫算トシテハ傳染病豫防費ノヤウニ補充費トナルカト
思ヒマス、此五十九條ハ農地金庫カラ決算ヲシテ、其結果農地金庫ガ申請シテ、其中請ニ依ツテ豫算
ヲ議會ニ提出スル、ソレカラ協賛ヲ經テ補給スルコトニナリマスカラ、濫ニ無制限ニ行ク心配ハナカ
ラウト思ヒマス

○菅原委員 三十五條、三十六條ノ免除ハ「命令ノ定ムル所ニ依リ」ト書イテアリマスガ、農林大臣
ノ認可ヲ經テヤル意味デアリマスカ

○小平幹事 左様デス

○菅原委員 サウスルト三十一條ノ末項ニ「農地金庫自作農地ノ創設若ハ維持ノ契約ヲナシ又ハ前
項ノ土地ヲ讓渡セムトスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス」ト書イテアリマスガ、同ジ農
林大臣ノ認可ヲ經テ處分シナケレバナラヌ三十五條三十六條ハ其ノコトヲ書カズニ、唯命令ニ委ネル
ト云フコトニシタ趣旨ハ何處カラ來タカ分リマセヌガ、兎ニ角農林大臣ガ認可ヲ爲サルト云フコト
ハ、ソレデ宜イトシテ、認可ヲ爲サルニシテモ爲サラナイニシテモ、不確定ノ金額デアルト云フコト
ダケハ言ハナケレバナラヌヤウデアリマス、而シテ第五十九條ニナルト尙更其範圍ガ分リマセヌ、業
務上受ケタル損失トアルダケデ甚ダ茫漠トナツテ居リマス、之ヲ補給シテ行クト云フコトハ少シ穩當

デナイヤウニ考ヘマスガ、ソコハ意見ニナリマスカラ深ク申シマセスケレドモ、私ノ言フノハ先例ガドウナツテ居ルカト云フコトヲ伺ツタノデアリマス、先例ノ有無ヲ伺フダケデ宜シイノデアリマス

○増田委員 此案ヲ實施爲サル上ニ於テ、或ハ杞憂カ知リマセムガ、其杞憂ガ杞憂デナイヤウニ思フノハ、自作農タラントシテ土地ヲ買ツタガ、十年十五年経ツ中ニ自作農ニ境遇ノ變化ガ來ル、或ハ親ノ代ガ悴ノ代ニナツテ、此ノ次ノ年賦ヲ納メルコトガ出來ナイガ賣ルコトモ出來ナイト云フノデ、農地金庫ガ引受ケナケレバナラヌヤウナコトモアリマセウ、サウスルト農地金庫ガ大地主ニナツテ小作米ノ滯納ガアル、幸ニサウ云フコトガナケレバ宜シイガ、農地金庫ヲ地主トシタ方ガ小作人トシテハ樂ダト云フコトカラ、中途カラ小作人ニラウトシハシナイカ、サウスルト他日大キナ小作爭議ヲ農地金庫ガ代ツテヤラナケレバナラヌヤウナ場合ニナツテ、随分ソコニ大キナ困難ガ起キハシナイカ、又是ハ多分中途デ以テ他ニ買手ガナイ時ニハ、是非農地金庫ニ買ツテ貰ヒタイト云フト、今年賦デ拂込ンダ金ダケハ支出シテ一時取得者ニナル、其場合ハ必ズ其土地ノ値ノ下ツタ時デアル、値ノ下ツタ時ニサウ云フコトガ起キテ來ルト、其時ノ損害ハ矢張出テ來ルト思フ、何故ナラバ割合ニソレヲ買ツテヤツテ、サウシテ又段々土地ガ下ルト云フ場合デアルカラ、ドウモ農地金庫ハ損シヤシナイカト

云フコトニ付テ伺ヒマス、農務局長ノ御考ノヤウニ始終土地價額ガ上ル方ナラバ宜シイガ、下ル場合ヲモ考ヘナケレバナラス

○松村農務局長 今ノ途中デ子供ノ代ニナツテ變ルト云フ點デス、是ハ初メニ申シマシタヤウニ設定ノ際ニ非常ニ大事ヲ取ツテ、子供ノ代ニ變ツテモ後ガ引受ケラレルヤウナ、小作人ニ有利ナヤウナコトヲ考ヘテ設定スルノデアリマスカラ、是ハ見込ノ議論ニナリマスケレドモ、私ノ方デハサウ云フコトガアツテハナラスト云フノデ、初メノ方デ慎ムヤウニナツテ居リマス、又途中デ逃ゲテハ却テ損ニナル、或ル程度ノ金額ヲ納メテ途中デ退却スルコトハ却テ損ニナリマス

○増田委員 併シ納メタ其金ハ辨償シテ呉レルノデセウ

○松村農務局長 ソレダケハ返シマス

○増田委員 サウスレバ自作農ノ方デハ何時デモ逃ゲラレルト云フコトニナル

○松村農務局長 サウ云フコトニハナリマセウガ、弊害ガアリトスレバ命令ノ時ニ考ヘマス、言フテ來タカラ直グニト云フ譯ニハ行カヌヤウナ工合ニ手續ヲ執ラナケレバナラヌカト思ヒマス、理由無しニ解除スルト云フコトハナイ、ソレハ結局運用ノ場合ニ出來ルモノデアラウト思フ、又カヤウナコトハ現在ノ補助施設ノ場合ニモ起ルコトデ、是ハ適宜ニ處置スル外ナイノデスガ、又一面サウ云フ心配

ノアルヤウナ輕卒ナ事ヲヤラナイヤウニ始ヲ慎ム、前ニモ申シマシタ通り寧ロ八千萬圓出來ルカト云フコトノ方ヲ心配スルノデアリマス、併シ御話ノヤウナコトノ起ツタ場合ハ農地金庫デ引受ケル覺悟デアリマス

○山本會長 其場合ニハ損失ニナル部分ハ利息ダケニナリマスカ

○松村農務局長 拂込ノ分ハ返シテヤリマス

○重政幹事 全部ハ返サズニ元金ニ相當スルモノヲ返シマス

○小平幹事 利息ハコツチヘ取ツテシマヒマス

○山本會長 利息ハコツチヘ取ツテシマフ、途中デヤメタ地主ハ利息ダケ損ニナル譯デスナ

○増田委員 年賦償還ダカラ毎年々々拂ツテ來タ總額ダケ返ス……

○小平幹事 總額ダケ返サナイ、利子ニ相當スルモノハ返サナイ、元金ダケ返スノデス

○橋本委員 一ツ御伺ヒシタイノデスガ、午前中ニ農務局長ノ御説明ニ依リマス、農地債券ヲ額面以下デ發行スル、ソレガ五分利ノ債券デアリマスガ、百圓ノモノガ九十圓、極クタツブリ見テアル、斯ウ云フコトデアリマスガ、私ハタツブリ見テハ逆モ九十圓デハ無理ダラウト思フ、經濟界ノ事情ヲ無視シテタツブリ見ル、斯ウ云フ御見解ナラ別デアリマスガ、金融市場ノ狀況ヲ考ヘテタツブリ見テ

九十圓ト云フ御話ノ根據ヲ御伺ヒシタイノデアリマス

○松村農務局長 ソレハ結局今有價證券トシテ世間ニ出テ居ルモノ、相場ヲ見タ譯デス、勸業債券トカ色々ノモノガアリマスガ、サウ云フモノニ照ラシテ五分ノ利息ト云フ所カラ先ヅ九十圓位ニ見テ宜カラウト云フノデアリマス

○小平幹事 大體公債ヨリモ割ノ悪イモノト見マシテ九十圓ト見テ居リマス

○松村農務局長 農地債券ノ値段ニ付テハ、此御審議ノ結果ドウ云フ程度ニ保護スルカト云フコトデ非常ニ影響シマス、法律上ノ保護ガ行届ケバ届クダケ値段ガ高クナル、尠クトモ勸業債券、勸業債券位ノ保護ガ與ヘラル、モノト解釋シマスガ、其上ニ政府ガ保證金トシテ取ル、具體的ニ保證金トシテ取ル場合ニ額面デ取ルト云フヤウニ保護ヲ加ヘレバ、寧ロ國債ニ近イ譯ニナル、尙ホ其上ニ償還ガ確實デアルカラ、場合ニ依ツテハ國債ト餘リ値段ガ違ハナイコトニナルカモ知レナイ

○橋本委員 斯ウ云フ質問ヲ出スノハ私ノ趣意ハ世間金融市場ニ於テノ有價證券ノ利廻、就中確定的ノ最モ確實ナル有價證券ノ利廻ト云フモノヲ見テヤルノカ、或ハサウ云フモノハ無視シテ唯此場合ダケ政府ニ於テ是ダケニヤルノカト云フコトヲ御聽キシタノデ、只今ノ御答デハ即チ金融市場ノ公定率ノ有價證券ノ利廻ヲ考慮シテ乃チ之ニ從フ、斯ウ云フヤウニ解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○松村農務局長 ソレハ此案ヲ立テマス場合ニ於テ九十圓ト算出シタ基礎デアリマス、併シ之ヲ運用

シテ行ク場合ニ於テ、今年ハ九十七圓デアアル、來年ハ九十五圓デアアルト云フ立方ハ如何カト思フ、寧ロ是ハ相當ノ値段デズト、或ル期間ヲ續ケテ行ク必要ガアラウト思フ、或ル期間——數年ヲ過ギテ後ニ變ヘル必要ガアレバ考慮スベキデアアルガ、發行價格ヲ始終動搖シテ行クト云フコトハドウカト思ヒマス、併シ運用ノ場合ニ御注意ニ從ツテ考慮シテ見タイト思ヒマスガ、サウ動カシタクナイ、例ハバ農地債券ハ一年ニ數回交付ス、其數回毎ニ價格ヲ異ニシテ交付スルト云フコトハドウカト思フ、殊ニ最初ニ於テハ市場ニ出テ居ラナイ、地主ハ土地ノ代リニ持ツテ居ルコトヲ趣旨トシテ居ルカラ市場ニ現ハレテ來ナイ、唯發行價格ヲ額面通りニシナイト云フコトガ趣旨デアツテ、只今ノ問題ハ運用ノ問題デアアル、額面デ交付スルコトハ酷デアアルカラ、額面ヨリモ低クシテ與ヘルト云フコトニシテ居リマス

○橋本委員 詰リ此極メ方ニ依ツテ形ハ安ク買ツタ形ニナツテ居ツテ、其實地主ニハ澤山拂フコトニナルノデ非常ニ大事ダト思フノデアリマス、併ナガラ一方ニ於テハ餘リニ割引ノ額ヲ少クスルト、地主ガ承知シナイダラウト云フコトモアリマセウガ、今ノ御説明ニ依リマス金融市場ノ状態ニハ必シモ依ラナイト云フコトデアリマスカラ、ソレ以上ハ意見ニナリマスノデ申上ゲマセヌ

○松村農務局長 金融市場ノ小サイ動搖ニハ餘リ依ラナイ、斯ウ云フ趣旨ニ御了解ヲ願ヒマス

○阪本委員 午前御説明ヲ聽キマシテ、又昨日來農地金庫ノ事ニ付テ色々御尋ガアツタノデアリマスカ、ドウモマダ了解シ兼ネルノハ、昨日モ財團法人ダト云フ御話デアリマシタ、銀行デモナケレバ官廳デモナシ、マア謂ハバ官廳ノ一部デアルト云フヤウナ意味ニカヲ入レテ御説明ニナツタノデアリマスガ、農地金庫ト云フ法人デアルケレドモ、法人ニ關スルコトハ二十二條ニ民法何條何條ノ規定ハ農地金庫ニ準用ストアリマスガ、自分等デ見ルトドウモ少シ妙ナ形ノヤウニモ見エル、役員等ノ事ニ付テハ茲ニ規定モアリマスガ、ドウモ色々仕事ヲシテ行ク上ニ於テハ必要デアリマセウガ、ソレハ何カ外ニ銀行法ニ依ルノデアルトカ、會社法ニ依ルノデアルトカ云フコトデアツテ行クノデアアルカト云フトサウデモナシ、一體ドウ見タラ宜シイノデアリマスカ

○松村農務局長 是ハ此法律デ新シク斯ウ云フモノヲ作ルノデアリマスカラ、此法人ヲドンナヤウナ工合ニ取扱ツテ行クカト云フコトニ付テ規定ガ違ツテ行クト思ヒマス、之ヲ起案シタ際ノ心持ハ成ルベク民法ニ依リタイ、民法ノ公益法人ノ財團法人ト云フ眼カラ眺メタイト云フノデ、二十二條ナドニ民法ノ規定ヲ準用致シテ居ル、大體サウ云フ心持デアツテ居ルガ、ソレデハドンナヤウニヤルガ宜イカト云フト、結局營造物ノヤウナ工合ニ眺メテ居ル、或ハ圖書館トカ病院デアルトカ、ソナ種類ノモノガ株式會社デ出來ルモノモアル、又公益法人デ出來ルモノモアル、別ニ社團法人デナクテ出來ルモノモアルカラ、ソナヤウナモノヲ參考ニシナガラ、農地金庫ノ仲介事務ト云フコトヲ公益的ニ取

扱ツテ参リタイ、カヤウニ此ノ法人ヲ眺メテ居ルノデアリマス、結局入用ナ金ハ社團法人デアレバ社員ガ出ス譯デアリマスケレドモ、是ハ要ルモノハ政府ニ於テ支出スル、政府カラ出シタ金ヲ基礎ニシテ活動シテ参ル、初メカラ纏メテ金ヲ出シマシテ、七十年間活動シテ行クノモ一ツノ方法デアリマスケレドモ、サウナルト多額ナ金ヲ醸出シテ置カナケレバナラヌカラ、必要ノ都度出スコトニシテ事務費ノヤウナモノヲ先ヅ醸出シテ置ク、即チ基金トシテ設立後十年間毎年五十萬圓ヲ醸出シテ置ク、斯ウ云フ積リデス、併シ是ハ案トシテ出シタノデアリマスカラ、法律ノ學問ノ深イ御方々ニ御覽ヲ願ツテ、適當ニ色ヲ附ケテ悪イ所ハ直シテ戴キタイト云フ考デアリマス

○阪本委員 第二十二條ヲ見マスト登記ノ手續ダケデアリマシテ、内容ニ入ツテ居リマセヌガ、只今ノ御説明ヲ承リマスト、マダ了解出来マセヌガ、何カ命令ガ出マシテ事務執行ニ付テノ規定、若クハ當局者ガ不都合ガアレバドウスルカト云フヤウナコトガ、農地金庫ガ行動スルニ付テ執ルベキ基準ガ命令デハ、ハツキリナルノデアリマスカ

○松村農務局長 其ノ積リデアリマス、命令デ業務規定ヲ作ル考デゴザイマス

○岩田委員 農地金庫ニ關聯致シマスガ、是ハ一箇ダケノ御考デアリマセウカ、或ハ農地金庫ハ數箇設立スルコトガ出来ルノデアリマスカ、ソレカラ若シ一ツデアルト云フコトデアリマスルト、勝手ニ誰デモ發起シテ早く一番先キニ許可ヲ得タ者ガ許サレルコトニナルノデアリマセウカ、或ハ前後ニ拘

ラズ相當ト御認ニナツタ者ニ許可ヲナサルノデアリマスカ

○松村農務局長 是ハ全國ニ一箇ノ積リデアリマス、設立ノ順序ハ農林大臣ガ設立委員ヲ置イテ設立スルコトニ致シマスカラ、設立委員以外ノモノノ作ツタモノハ認メマセヌ、但シ全國必要ノ所ニハ支所ヲ置ク積リデアリマス

○岩田委員 第十八條ヲ見マスト、農林大臣ノ許可ヲ受クベシト書イテアリマスカラ、誰デモ申請ガ出来ルヤウニ見エマシタノデ、一寸御尋致シマシタ

○松村農務局長 其許可ハ附則ニ關聯シテノ許可デアリマス——只今ノ法人ノ本質デスガ、岩田委員ナリ末弘委員ナリ、法律ノ大家ガ居ラレマスカラ私共ノ考ヲ能ク御酌取ヲ願ヒマシテ、法律デ法人ラシク作ツテ戴クコトハ、私共ノ深ク希望スル所デゴザイマス

○増田委員 農地債券ヲ七十年ノ年賦デ發行ナサルニ付テハ、五分ノ利子デ九十圓以内ノコトハアリハシナイカ、サウスルト政府ノ補給ガ段々殖エテ参リマス、假ニ今九十圓ニ對シテ五分トスレバ五分五厘位ニナルノデスガ、五分五厘トシテ額面デ渡シテシマツタナラバ、國庫ノ負擔ガズツト輕クナル、又小作人ガ自作農地ヲ買フ時ニ小作料標準ノ範圍内デ償還スル、サウスルト矢張其程度ハ五分五厘程度デ宜クハナイカ、其ノ方ガ將來安全デナイカト思フノデアリマスガ、其ノコトハ御研究ナサツタノデスカ

○松村農務局長 額面デ渡スト云フコトハ無理デアラウト云フコトヲ第一ニ考ヘタノデアリマス、國債ト雖モ額面デ賣買ガ多クノ場合行ハレテ居リマセヌ、有價證券ナレバ現金ヨリ値段ガ落チルト云フコトハ、一般ノ事實トシテ認メナケレバナラスト思ヒマスカラ、額面デ交付スルコトハ獨逸ノ「レンデンブリーフ」デヤツテ居リマスガ、ソレハ別ニ價ヲ維持スル方法ヲ執ツテ居リマスカラヨイトシテ、有價證券ヲ金錢ト同一ニ扱フコトハ妥當デナイ、支拂期日ノアルモノハ割引ヲヤラナケレバナリマセヌガ、即時拂デナイ有價證券ハ、現金ヨリ値段ガ低イノハ當リ前デアリマスノデ、額面デ渡スノハ無理デアルト云フコトヲ考ヘマシタ、但シ額面デアル案モ差支アリマセヌガ、サウスルト債券其物ノ値段ハ金錢ヨリ低イノデアリマスカラ、土地ノ賣買價額ガ上ツテ來ル、ソレハ困ル、サウ云フコトハ弊害ガ起ルト云フノデ、割引シテ渡シタ方ガ宜カラウト云フコトニナツタノデアリマス、尤モ九十圓ガ宜イカ九十圓以下ガ宜イカト云フコトハ程度論デ、性質論デハナイノデアリマシテ、程度論ハ運用シタ後ニ問題ガ起ルノデアリマスカラ、難シイコトデアリマスケレドモ、大體無理ノナイ所ニ極メナケレバナリマセヌノデ、先ヅ九十圓ト見タノデアリマス、債券發行ノ條件ニ依ツテ地價ガ動イテ來テハ困ルノデアリマスカラ、現金デヤレバ其問題ハ起ラナイ、債券ナレバ其問題ガ起ルノデ、考慮ヲ加ヘナケレバナラスト思ツテ、御話ノ點ハ十分ニ研究シタ次第デアリマス

○齋藤(隆)委員 條文ノコトニ付テ御尋致シマスガ、一條ノ第二項ニ抵當權ノ消滅、質權ノ消滅、債

權ノ消滅ト云フコトガ書イテアリマスガ、是ハ全部ノ消滅デアリマスカ、一部ノ消滅モ認メラレルノデアリマスカ

○松村農務局長 自作農地ニナツタ部分ニ付テハ何モナイコトニスル、自作農地ニハ全然負擔ガナイコトニスルノガ要點デアリマス、併シ全體ニ付テノ金ノナイ時ハ分筆スル考デアリマス

○齋藤(隆)委員 第三條ノ二項ニ依リマス、年賦支拂ガ原則デアツテ、一時ニ支拂ヲスルコトガ出來ナイ、唯命令ノ定ムル所ニ依ツテ一時拂モ出來ルケレドモ、年賦支拂ガ原則ノヤウデアリマス、併シ是ハ金ガ出來タ場合ニ一時ニ支拂ツテモ差支ナイヤウニ思ヒマスガ、一時ニ支拂ハシテ惡イ事情ガアルノデアリマスカ

○松村農務局長 一時拂ハ例外トシテ認ムル積リデアリマス、初メカラ一時支拂ヲ認ムルコトニ致シマス、農地金庫ヲ利用シテ土地ノ賣買ヲスル弊害ガ起ルト思ヒマス、國家ノ機關ガ世話ヲシテ有利ナ賣買契約ガ出來テ、ソレヲヤラセテ置キナガラ、直ニ代金ノ一時支拂ヲ爲シテ之ヲ他ニ賣却シ儲ケサセルト云フヤウナ弊害ガ起ル虞ガアリマス、又小作人ガ自作農地ヲ取得シタ場合ニ於テモ土地代金ノ支拂等ノ負擔ヲ從來ノ小作料程度ヲ越ヘナイヤウニシテ將來ノ生活ヲ餘リ動搖セシメナイコトヲ要件トスル關係上、年賦支拂ヲ原則トシナケレバナライコトハ必然デアルト云フ立場デアリマス、併ナガラ自作農ニナツタ結果、收益ノ増加スルコトヲ豫想シテ居リマスカラ、ソレガ積リ積ツテ金ガ出來

レバ一時ニ拂ツテモ宜シイ、ソレハ第二項ニ認メテアリマス

○齋藤(隆)委員 次ノ四條、是ハ「創設又ハ維持セムトスル土地ノ價額及第一條第二項ノ債權ノ額ハ命令ノ定ムル制限ヲ越ユルコトヲ得ズ」トアリマスガ、是ハドウ云フ制限ヲ命令デ設ケラレルノデアリマスカ

○松村農務局長 農地金庫ノ御世話スル土地ハ從來ノ補助施設ト同ジヤウニ其ノ價額四千圓迄ノ範圍ニスル積リデアリマス、四千圓ト云フコトハ大體ニ於テ一人當四千圓位、大體一町歩位、其金額ヲ範圍トシテ農地金庫ガ御世話スルノデアリマス、初メ生計ヲ維持スル程度ト云フコトヲ書イタノデスガ、議論ニナリマスカラ、從來四千圓ト云フコトデヤツテ居ル關係上、命令ノ定ムル所ニ依ルト云フコトニ致シ命令デ之ヲ規定スルコトニシタノデアリマス、維持ノ方ハ是ハ主眼トシテハ居ラナイノデスカラ、前ニモ申上ゲタ通り創設ニ準ズベキ維持ノ方ヲ考ヘテ居リマス、自作農地創設ニ農地金庫ガ介在スルノハ年ニ何遍ト云フコトニナリマスカラ、或ル小作人ハ農地金庫ノ御世話ヲ受ケル迄ノ間ニ宜イ口ガアレバ地主其他カラ金ヲ借りテ擔保ニ供シテ自作農地ヲ買ツテ置クト云フコトガ起ル、ソレヲ後カラ救ツテ其ノ土地ヲ自作農地トシテ維持出來ルヤウニシテヤラウト思ツテ居ルノデアリマス

○齋藤(隆)委員 制限ト云フノハドウ云フヤウナコトヲ制限スルノデスカ

○松村農務局長 小作人ガ現ニ農業ニ從事シテ居ル者ト云フコトガ制限デアリマス、土地ノ制限モ從

來持ツテ居ル土地モアリマスカラ、其土地ヲ合セテ幾ラト云フコトモアルト思ヒマス、大體從來ヤツテ居リマスノヲ矢張踏襲シテ行ク積リデアリマス、結局自作ヲ維持シ得ルヤ否ヤト云フコトヲ見定メテ經營ヲ持續スル見込ノアル者、小作人以外ノ者ナラバ其ノ土地ノ小作人ノ同意ヲ得タ者、或ハ小作權ヲモ併セテ買フト云フコトモ起リマスカラ、其ノ制限モ必要トスルノデアリマス、實際今ヤツテ居リマスコト、餘リ變ツタコトヲヤル考ハアリマセヌ、從來ヤツテ居リマスコトヲ續ケテ行キマス、結局簡易保險ノ金ニ合セテ之ヲヤラウト云フノデアリマス

○齋藤(隆)委員 償還方法ハ年賦償還金額ノ元本ニ對スル割合ハ百分ノ六・二三未滿ナルコト、アリマスガ是ハ……

○松村農務局長 是モ現在アリマス

○齋藤(隆)委員 現在アレバ宜シイ、ソレカラ九條ノ「左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農地金庫又ハ第七條ノ資金ノ貸付ヲ爲シタルモノハ命令ノ定ムル所ニ依リ自作農地ノ所有權ヲ取得スルコトヲ得」トアリマスガ、年賦償還ヲ怠ツタ場合ニ於テハ、矢張民事訴訟法ノ規定ニ依ツテ農地金庫ガ權利ヲ主張スルコトニナルノデアリマスカ、何カ別ノ方法ニ依ツテ民事訴訟法ノ規定ニ依ラズ、特別ノ方法ヲ簡單ニヤレルヤウナ規定ガアリマスカ

○松村農務局長 訴訟ヲ拔ク積リデアリマス、命令ノ趣旨ハ初メカラ納期ノ規定ヲ契約ノ内容トシテ、自作農創設ノ契約ニ這入ルト云フコトヲ考ヘテ居リマス、自作農地ノ創設維持者ニナツタ者ハ、第九條ニ掲ゲテ居ルヤウナ場合ハ、農地金庫カラ通告ガアレバ所有權ハ自分ノ方カラ農地金庫ニ移シテシマフ、結局民事訴訟法ノ手續ヲ抜イテシマフ、契約ノ内容ニシテシマフ、斯ウ云フデアリマス

○齋藤(隆)委員 ソレハ實際問題トシテ却々争ガ起リハシナイカト思フ、農地金庫ノ見ル所ト小作人ノ見ル所ト見解ヲ異ニシテ争ガ起リハシナイカ、サウシテ命令ノミニ依ツテ當然農地金庫ガ所有權ヲ沒收スルト云フコトハ、餘リ行キ過ギタヤウニ思ヒマスガ……

○松村農務局長 サウ云フ積リテ實ハヤツテ居リマス、行過ギテ居ルト思ヒマスガ、其際ニ一々民事訴訟ノ手續ヲヤツテカラヤルト云フコトハ大變厄介デアリマスカラ、其簡便法ヲ考ヘテ居ル、ソレガ無理デアレバ或ハ民事訴訟ニ依ラナケレバナラヌカト思ヒマスガ、趣旨ハサウデアリマス

○齋藤(隆)委員 兎ニ角政府デスルノニ命令テ勝手ニ方法ヲ極メルモノヂヤナイ、ソレデハ所有權ニ對シテ隨分殘酷ナ取扱ノヤウニナル

○松村農務局長 ソレハ結局法律ノ規定ノミデ言ヘバサウ云フコトニナルカト思ヒマス、併ナガラ私共ノ立場ハ此處ニ書イテアル法律ノ規定其物ヲ自作農地創設維持契約ノ内容ニシヤウト云フ考デアル、此規定即チ當事者ノ合意テ出來タモノデアルト云フコトニシテ行キタイ、當事者ノ承諾如何ニ拘

ラズ法律ヲ踏込ム考ヂヤナイ、全體ヲ契約事項ニシテシマハウト云フ考デアリマス

○小平幹事 ソレハ現在ノ自作農創定デモ全般ノ事ヲ條件トシテ契約シテ居リマス

○増田委員 先程モ土地ノ價額ノ質問ガ出マシタガ、如何ナル程度ニ制限サレルカト云フコトハ具體的ノ御答辯ガナカッタガ、四千圓迄ハ貸シテヤル、一町歩ヲ限度トスル、スルト一段歩四百圓以上ニナツテハナラヌ——四百圓以内ト限定シテアルヤウニ想像サレルガ、所ニ依リ土地ニ依ツテ値段ハ違フ譯デスガ、一體土地ノ價額ハ一段歩四百圓以内ト云フ見積デアアルノデスカ

○松村農務局長 四千圓ト云フ標準ハ御世話スル土地ノ總價額ノ意味デス、ソレ以上ハ農地金庫デハ御世話シナイ、併ナガラ御世話スル反當ノ價格ガ幾ラニナルカト云フコトハ、結局現在ノ小作料以内ノモノデ割出シタモノ、逆算シタ地價デナケレバイカヌト云フコトニナリマス

○増田委員 四千圓ト云フノデハバツトシテ居ルガ、一體最高地價ヲ制限スルト云フノガ御趣意ノヤウニ第四條ハ見エル、無法ナ高イ土地ヲ買ツテハイカヌ、一段歩幾ラデナケレバイカヌト云フコトヲ命令テ定メル、命令ハ一段歩四百圓ヲ最高ト見テ居ルノヂヤナイデスカ

○小平幹事 小作料ヲ標準トシテ見テ居リマスカラ、小作料ノ高イ所、土地ノ收益ノ多イ所ハソレニ相應シテ土地ノ價格モ高クテヨイ、ソノ代リ御世話スル面積ガ一町歩以下ト云フコトニナリマス

○松村農務局長 四千圓ヲ標準ニシテ居ルカラ、香川縣ノヤウナ高イ所デハ五、六段ニナツテシマフ、北海道ヘ行ケバ四、五町歩、場合ニ依ツテハ七、八町歩モ買ヘル、ツマリ面積デ制限セズニ價額デ標準ヲ決メテ居ルノデアリマス

○小平幹事 参考書ノ自作農創設維持關係規則、ソレニ算出ノ式ガ載ツテ居リマス、ソレデ計算シタノガ或ハ三町歩ノ場合モアルシ、色々ナ面積ガ現ハレテ居リマス

○那須委員 念ノ爲ニ簡單ナ事ヲ一ツ伺ヒマス、農地債券ノ額面ト發行價格ノ差額ハ國庫ノ負擔ニナリマスカ

○松村農務局長 サウデス、ソレダケ國家ガ補給シマス

○那須委員 先刻七八億圓ニナルカモ知ラスト仰ツシヤツタノハ、要スルニ差額ヲ御計算ニナツタノデアリマスカ

○松村農務局長 サウデス

○菅原委員 屢々御説明ガアツタヤウデアリマスガ、簡易生命保險ノ積立金ニ依ルモノト、農地債券ニ依ルモノトノ間ニハ甲乙ノ區別ガアツテ、其間ニ公平ヲ缺クヤウナコトニナツテ居リマスガ、ソレヲ實際ニ違ハナイヤウニ御扱ニナルニハ、ドウ云フコトニナリマスカ

○松村農務局長 ソレハ簡易保險ノ方ハ非常ニ農家ノ爲ニ有利ニ出來テ居ル、結局利廻ハ三分五厘デアル、其代リ先程説明致シマシタ如ク手續ガ煩瑣デアル、但シ條件ハ有利デアル、所ガ現在デハ一人當リ四千圓迄貸シテモ宜イト云フコトニナツテ居ルケレドモ、金額ガ千萬圓程度ニ限ラレテ居ツテ、全國カラ非常ナ要望ガアル結果、各府縣ノ査定ハ一人當リ平均八百圓餘ト云フコトニナツテ居ル、ソレ以上ニヤルト非常ニ不公平ニナル、需ヒテ廣クシタイト云フコトニナツテ居ルノデスガ、八百圓餘ノ金デハ二段歩位シカ買ヘナイカラ、一人當創設面積ノ標準ヲ假ニ一町歩トスルト、其二割位ガ簡易保險ノ方デ出ルコトニナリ、他ノ部分ヲ農地金庫ノ方カラ出ス、結局ドウ云フコトニナルカト云フト、創設維持シタ土地カラ納付スル毎年ノ年賦金ハ簡易保險ノ場合モ此ノ場合モ同ジコトニナル、唯簡易保險ノ方ハ二十五年、此方ハ尙ホ引續キ十年アル、農家ノ年々ノ負擔ハ兩方少シモ變ラナイガ、唯農地金庫ノ方ハ年限ガ延ビルコトニナリマス

○末弘委員 今菅原サンカラ御聽キニナツタ點ニ付テ私モ一寸伺ツテ見タイノデスガ、從來ノ規則ト同ジ方針デ貸付ケルコトデスカラ、今度ノ制度モ精神ガ違ハナイデ殆ド同ジデアルト云フヤウニ、昨日來局長カラ御説明デアリマスガ、此法律ヲ施行サレルニ付テノ根本問題デアアル地價ノ問題、其地價ノ問題ハ從來ノ規則ト同ジヤウニ小作料ノ方カラ逆ニ計算シテ出シテ來ルノダト言ハレル、ソコデ出シテ來タモノガ地主ニ取ツテハドウナルカト云フト、今迄ハ逆ニ計算シテ來タ其値デ賣ルト云フ地主ガ

アレバ契約が成立スル、ソレデ賣ルト云フ地主ガナケレバソレ以上何トモ出来ナカッタ、今度ハ逆ニ計算シテ出来タ假ニ地價ナルモノガアルトシテ、ソレヲ今度ハ地主ニ賣ラナイカト言ツタ時ニ、先程局長ハ地主ヘノ債券ノ交付價額ハ餘リ變ヘナイ積ダト仰ツシヤツタケレドモ、サウ行クモノヂヤナイト私ハ思フノデス、人力ヲ以テ如何トモスベカラザル公債市場、一般金融市場ノ影響ヲ以テ當然値ハ動ク、其動キダケノ割引ヲシテ地主ニ與ヘルカラ、地主ニ取ツテハ從來ノ規則デ以テ割出シテ來タ地價ナルモノデ承知出来ナイ、ソコデ地主ニハ丁度、一般金融市場ガ許サナイ、其許サナイダケヲ國庫補助ト云フ形式デ渡サウ、斯ウ云フ形ニナル譯デアリマス、所ガ小作人ニ取ツテハ利息ノ問題ガ、從來ハ國庫補助ニ依ツテ利息ヲ補給シテ貰ヘルノハ小作人デス、併シ小作人ハ利息ヲ補給シテ貰ヘルガ故ニ相當高イ土地ヲ買ツテモ宜イト云フコトガ地價ニ響イテ來マスカラ、地主ハ其爲ニ割合ニ高イ値段デ手放スコトガ出来ルト云フ結果ガ出ルニ違ヒナイ、事ハ同ジ國庫補助ト言フガ、實ハ大分違フノデアル、ソコデ私伺ヒタイノハ此法律デハ第四條デ地價ヲ決メルノハ命令ニ依ルコトニシテアル、サウシテ從來ノ如ク地方ニ委員會ノヤウナモノヲ置イテヤラレル、サウシテ片方交付價額ハ命令デ決メル、此命令デ決メルノハドウシテモ金融市場ノ影響ヲ受ケルノハ仕方ガナイガ、成ルダケ餘リ變ラナイヤウニ、官廳ノ理想ヲ振翳シツ、ヤル方ガ宜イト言ハレル、出来ル出来ナイハ別トシテ、其方ガ理想ダト御考ヘニナツテ居ルトスルト、何等カ地價ヲ決メル手續及機關ト云フモノト、發行價額ヲ決メ

ル手續及機關ト云フモノ、間ニ聯絡ガナケレバイケナイデアリマスマイカ、ト云フノハ同ジク國庫補助デ以テヤツテ居ルヤウダガ、今迄ト非常ニ違フヤウデアル、地價ヲ決メル方法ト云フコト、ソレカラ交付價額ヲ幾ラニスルカト云フコトヲ決メル方法ト間ニ聯絡ガナケレバ、ドウシテモ今迄ト同ジダト云フ譯ニイカナイヤウニ私共ニ讀メルノデアリマスガ、其點ニ付テドウ云フ御考デアリマスカ

○松村農務局長 只今ノ御話デハ國庫ノ補給ニ依ツテ地主ヲ利スルコトニナツテ、小作人ヲ利シハセヌト云フコトニナルト云フ御心配ノヤウデアリマスガ、是ハ斯ウ云フヤウニ御考ヘ下サツタ宜イ、現金デ渡ス代リニ有價證券デ渡ス、ソコデ現金ト有價證券トノ間ニハ差金ガ出テ來ル、卑近ナ例デ云フト金貨本位國トノ取引デアツタ宜カッタガ、銀貨本位國トノ取引ニナツタノデ爲替相場ト云フ問題ガ一ツ中ニ這入ル、ソレト同ジデス、現金ト有價證券ノ差ガ市場ノ變動ニ依ツテ動クコトハ當然デス、所ガ爲替相場デ申スト例ヘバ正金銀行デハ毎日々々爲替相場ヲ建テ、居ルケレドモ郵便局ハサウヂヤナイ、何弗ト云フコトヲ決メテ一定ノ期間動かサナイ、農地債券ニ付テハ其通りニ行カウト云フノデアル、毎日々々ノ相場ヲ見テ、ソレデ發行價額ヲ動かサノヂヤナイ、併ナガラ相場ニ依ルノデスカラ全ク動かサヌノヂヤナイ、或ル期間ハ一定シタ相場ヲ交付スルノデアル、結局現金ニ代ユルニ有價證券ヲ渡スカラ、必然ノ結果トシテ其間ニ相場ガアル、相場ト云フ複雑ナ要素ガ這入ルダケデア

ル、所ガ其決メ方ハ地主ニ利益ダト云フヤウナコトハナイ、地主ニ利益ニナル場合モアリ不利益ニナル場合モアル、全然地主擁護トカ小作人擁護トカ云フコトハ毛頭ニナイ、債券ト現金トノ間ノ開キハ、金錢デヤラナイ以上ハ當然起ツテ來ル、是ハ事實デアル、其値段ハ日々ニ變動スルコトハ事實デアル、其事實ヲ公平ニ扱フ、ソコデ今日ハ中間ニ機關ガアリマセヌカラ、中央ニ出來ル機關ヲ以テ農地債券ノ金額ヲドノ位ニスルカト云フコトヲ極メテ貫ヒマシテ、地主及小作人ノ爲ニ利益ヲ全然無視スルヤウナコトヲシナイヤウニ致スノデアリマス

○末弘委員 一番シマイヲ伺ツテ明瞭ニナツタノデス、私ハ何等カ地價ヲ極メル手續及機關ト云フモノト、農地債券ノ發行價額ヲ極メル手續及機關ノ間ニ聯絡ガナケレバイケナイノデアアルマイカト云フコトヲ伺ツタノデス

○小平幹事 農地委員會ヲ開イテ價額ノ決定ヲスルノデアリマシテ、此委員會ハ農林大臣ノ諮問機關ニナルノデアリマス

○末弘委員 序ニ希望デアリマスガ、特別委員會デモ御開キニナリマスナラバ、命令命令トアリマシガ、今迄ノ自作農創設維持規則ナドモ之ト關聯シテ尠クモ此要綱ハ論ズル必要ガアルト云フ感ジモ起リマスノデ、其程度迄問題ニシテ宜シウゴザイマスカ

○松村農務局長 命令ニ規定スベキ要綱モ研究シテアリマス、ソレカラ地價ハ小作料カラ逆算スルノデアリマス、地主ガ其ノ價額デ賣ラナカツタノヲ、賣ラセル爲ニ債券ノ發行價額デ細工ヲスルト云フコトハ致シマセヌ、又時價ガ低ケレバ時價デヤル、今迄兩刀主義デ行ツテ居リマス

○岡田委員 今ノ橋本サンノ御質問ニ關聯シテ居リマスカラ伺ヒマスガ、現金ノ代リニ債券ヲ渡スノデアリマスガ、額面以下デ渡サナケレバナラスト云フ御見解ハドウ云フノデアリマスカ、之ヲ債券デ渡ストシテ額面デ押付ケテハ、地主ニ非常ニ迷惑ガ掛カルト云フ御見解ノ下ニ、サウシタノデアリマスカ、元來土地ヲ持ツテ居ツテモ五分ノ利廻ニ平均ナツテ居ラナイト思ヒマスカラ、必シモ現金デ渡サナケレバナラスト云フコトヲ以テ原則トシナクモ良イ、ソレデ債券デ渡スノデアアル、債券デ渡スニシテモ額面以下トシテ議論ヲ多クスルノハドウ云フ譯デアリマスカ

○松村農務局長 此案ヲ立テルトキニ、無理ノ案ヲ立テナイヤウニト云フノデヤツタノデアリマス、若シ地主ニ對シ現金ヨリモ値段ノ低イモノヲ押付ケテ、地價ヲ上ゲル細工ガ起ラナイデ濟ムナラバ結構デアリマスガ、經濟上賣買ノ問題ハ實益ニ落着クノデ、無理ヲスルト形ヲ變ヘテ餘計ノ所ニ細工ガ出來マスカラ、無理ナコトヲシタクナイト云フノガ趣意デアリマス、額面デ押付ケレバ良イデハナイカ、利息ガ四分八厘ナラバ國家ガ儲カルデハナイカト云フコトニナレバ、ソレハ地主ヲ窘メルコトニ

モノナル、然シ地主ヲ特ニ窘メヨウトハ考ヘテ居ナイ、即チ私共ハ自然ニ無理ヲシナイヤウニシテ行カ
 ウト云フノデアリマス、又農業ヲ營ム者ガ土地ヲ所有スルノハ農業經營ノ要素トシテ持ツノデアル、
 土地ヲ利廻デ持ツノデハナイ、吾々ガ洋服ヲ著ルノハ利廻デ著テ居ルノデナイ、若シ農業ガ成立タナ
 イナラバ、國トシテ憂フベキコトデアリマスカラ、農業ヲ成立タセルヤウニシナケレバナリマセヌ
 ガ、農業經營ヲ利廻論ヲ以テ取扱フコトハイケナイト思ヒマス

○岡田委員 一寸今ノ利廻論ハ私モ其ノ問題ガ小作人ニ關係スルナラバ利廻論デイケナイト思ヒマス
 ガ、地主ト云フ立場ハ利廻論デナケレバイケナイト思フ、地主ガ田デ持ツテ居ル時ハ利廻ガ宜クナイ
 トシテモ、金ニ變ヘル時ニハ利廻ヲ宜クシナケレバナラヌト云フノガ私ノ論デアリマス

○松村農務局長 元來本案ハ簡易保險ノ金ニ加ヘテ規模ヲ擴張シタイト云フノデス、地主ガ從來ノ施
 設ニ依ツテ四千圓ノ土地ヲ賣レバ簡易保險カラ四千圓ノ現金ガ入ツテ定期預金ニ六分ノ利廻デ廻スコ
 トガ出來ル、地主ガ土地ヲ持ツテ居ルノガ不利ナラバ金ニ換ヘレバ六分ニ廻ル、併シ土地ノ所有ニハ
 目前ノ利廻計算ノ外ノ要素ガ入ツテ居ルノデアルカラ現金トカ有價證券ノ利廻ト比較スル譯ニハ行カ
 ス、從來ノ施設デハ現金支拂デアル、農地金庫ノ場合モ現金ヲ支拂フコトニスレバ問題ハナイガ、債
 券ヲ交付スルノデアルカラ現金トノ開キヲ考慮シナケレバナラヌ、併シ御多數ノ御方々ガ額面デ渡シ

テ結構デアルト云フ御意見ナラバ、國トシテハ補償金ガ減ジマスカラ、ソレニ賛成致シテモ宜シイコ
 トニモナリマセウ

○阪本委員 小作料金ト云フコトガ基礎ニナツテ居リマスガ、小作料金ハ不安定ノモノデアル、私共
 知ツテル限リニ於テ、段ニ付テ一石五斗ノ小作料ト云フコトニナツテ居テモ、二割カ三割シカ納メテ
 來ナイ、少シデモ納メルノハマダ宜シイガ、二年モ三年モ納メナイ者ガアル、一石五斗ノ小作料ト見
 ルナラバ割ハ宜シイガ、サリトテ二割三割ト云フヤウニ十分ニ取ツテ居ナイモノヲ基礎トスルト、地
 主ハ非常ナ不利益ニナル、ソコデ此ノ立案ノ趣旨ハ小作料ハドウ云フ所ヲ標準ニナサルノデアリマス
 カ、標準ガアツテモ不安定デ、時々刻々變ツテ行クト見テ居リマスガ、小作料金ノ基礎ヲ取ルコトガ
 非常ナ心配ト思ツテ居リマス、此點ハドウ云フ御考デアリマスカ

○松村農務局長 時々刻々變ル問題ハ土地ニ限りマセヌ、ソコハ思切リノ問題デアリマス、ソレカラ
 小作料トシテ一石五斗ガ段々減ツテ參ル、其關係ニ就テハ今ヤツテ居リマス簡易保險ノ場合ト、別ニ
 新シイコトヲヤルモノデナイト云フ立場ヨリ來テ居リマス、ソレデ其ノ時毎ニ公平ト認ムルモノヲ審
 査委員會ヲ開イテ、此ノ邊テ地主ガ手離スベキデナイカト云フコトヲ考ヘ、又小作人ノ立場ヲモ考ヘ
 テ、地價ガ定メラレルノデアリマスカラ、先ヅ是デヤツテ見ヤウト云フノデアリマス、之ハ現ニヤツ

テ居ル問題デアリマス、尙ホ小作料ニ付テノ考ハ、私自身トシテハ農産物ノ値段ノ増加ト貨幣ノ價ノ下ツテ行クコト、——末弘サント意見ハ一致シテ居リマセヌガ——サウ云フ所カラ眺メテ居リマス、地主ノ分前ハ下ツテ行クノデアリマス、米テ納メマスト、從來ノ一石五斗ガ四斗ニナリ三斗ニナツテ小作米ノ數量ハ減ツテ居リマスガ、金額ニスルト餘リ減ツテ居ラナイト云フノガ、私共ノ方ノ計算デアリマス、從テ今日小作料何圓トヤツテシマツテモ、結局先ニナツテ減ラシテ貰ツタ小作料ト同ジ様ナコトニナルノデ、餘リ大シタ不利益ヲ小作人ニハ掛ケナイト云フコトヲ考ヘテ居ル次第デアリマス

○阪本委員 實ハ現在オヤリニナツテ居ルト云フコトヲ餘リ詳シク存ジマセヌノデ、御尋ネスルコトガ少シ迂濶ニ失スルカ存ジマセヌガ、ドウ云フ風ニオヤリニナツテ居ルカ知リマセヌガ、私共ノ感ズル所デハ小作料ハ、地方々々ニ依ツテハ今日ハ一石ニナツテ居ルガ、來年ハ八斗ニナルカモ知レナイ、増スト云フコトハ決シテナイノデアリマシテ、一石ノモノガ八斗ニナル六斗ニナル或ハ五斗ニナル、寧ロ取レナイ所モアルト云フコトガ今日ノ趨勢デアリマスカラ、極ク悲觀ノ眼デ見ルト餘程安クシテ見テモ、小作人デハマダ——ト云フ考ガアル、ト言ツテ地主ノ立場ヲ考慮スルト、從前ハ一石五斗取ツテ居タノデアルカラ、今ハ收納ハ減ツテ居ルケレドモ多少ハ見テヤラナケレバナラナイトナル

ト、小作人ノ方ニ不服ガアル、ソレヲ一々此ノ田ハドウ、此ノ畑ハドウト云フコトヲ綿密ニ委員會デ調査シテ——恰モ神ノ如キ調査ヲシテヤルノデアリマスカ、現在オヤリニナツテ居ルノハドウデアリマスカ、ソレハ面倒ナ事デ、ソレデモ要領ヲ得ルコトハ却々困難ナ事デアリマスカ、ソレガ出來ヌト言ヘバ此法律ハ實行ハ出來ヌコトニナリマスガ、之ガ基礎ヲ定メルノハ餘程困難ナ問題デナイカト思ヒマスガ故ニ、ドウ云フコトニナリマスカト云フコトヲ御尋ネシタノデアリマス、現在ノ施設通リト云フコトデアリマスガ、現在ノ施設ニ付テハ存ジマセヌガ、ドウ云フコトニオヤリニナルカ其邊ヲ……

○小平幹事 參考ニ差上ゲタ自作農創定維持關係ノ規則ノ第七條ニアリマス、之ニサウ云フコトハ餘リ御困リニナラナイヤウニナツテアリマス、印刷物ノ補助規則ノ方ノ七頁ノ終リノ備考ニアリマス、備考ノ一トシマシテ「小作料ハ平年作ニ於ケル實納小作料ニ依ルコト但シ小作料ノ定ナキ土地ニ在リテハ其ノ土地ニ類似スル土地ノ小作料ニ依ルコト」尙ホ次ニ八頁ノ初ノ行ニ「小作料ガ平年作ニ於ケル收穫高ノ五割五分以上ナル場合ニ於テハ其ノ五割五分ニ相當スル額ヲ以テ小作料ニ代フルコト」次に「小作料カ平年作ニ於ケル收穫高ノ四割以下ナル場合ニ於テ農業經營費比較的多カラサルトキ其ノ他特殊ノ理由ナキトキハ收穫高ノ四割迄ノ範圍ニ於テ適宜ノ程度ニ認定シタル額ヲ以テ小作料ニ代フ

ルコトヲ得」トシテアリマス、尙ホ二トシテ「小作料及收穫高ヲ價額ニ換算スル場合ニ於テハ其ノ物ノ價格ハ當該地方ニ於ケル最近五年ノ平均價格ヲ用フルコト」三トシテ「小作權賣買ノ慣行アル地方ニ於テ土地購入ニ際シ其ノ土地ノ小作權ヲ併セ購入スル場合ニ於テハ小作權ノ賃借料（又小作料）ヲ含ムモノヲ以テスルコト」斯ウ云フヤウニシテアリマス、現在デモ小作爭議デ非常ニ變動ノアツタ場合ニ於テハ、此趣旨ニ依ツテ相當考慮シテヤツテ居ル譯デアリマス

○山本會長 今讀ンダノハ現在ヤツテ居ルノデスカ

○小平幹事 現在ヤツテ居ルノデゴザイマス

○阪本委員 尙ホ之ヲ見テ能ク御尋ネ致シマスガ、今承ツタ所ニ依ルト、第三號ニアル所ニ依ルト小作權ノ購入ニ對シテモ補助スル譯ニナリマスガ、此債券ヲ交付スル時分ニ、地主ト小作權者ト分配スル譯ニナリマスカ

○小平幹事 小作權ノ賣買ノ慣行ノアル所ニ於テ、小作權ヲ買取ツタト云フ場合ニハ、ソレハ考慮シテヤラナケレバナラヌノデアリマス

○阪本委員 之ヲ認メテ、小作權ノ賣買ノ慣行アル場合ハ、例ヘバ百圓トスルト二十圓ハ小作權者ガ取ル、其他ヲ地主ガ貰フト云フヤウナコトニナリマスカ

○小平幹事 例ヘバ香川縣ノ如キデアリマスト、小作ニ這入ル場合ハ地主又ハ小作權者カラ小作權ヲ買取ル、甚ダシイ例ヲ申上グルト小作權ヲ一段歩五百圓位デ買取ル所モアルノデアリマス、從テ斯ル地方ニ於テ小作人ガ小作權ノアル土地ヲ買取ル場合ナラバ、小作權モ同時ニ買ハセテヤラナケレバ完全ナ自作農地トナラナイノデアリマスカラ、是ハドウモ已ムヲ得ナイノデアリマス

○末弘委員 大分問題ガ細カイ問題ニナリマシタカラ如何デアリマセウカ、コ、ラデ總會ヲ閉チテ、特別委員會ニ御願シテ御研究ヲ願ツタラ……

〔賛成〕ト呼ブ者アリ

○山本會長 ソレデハ末弘委員カラ御發議ノ特別委員ニ移スト云フコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○山本會長 ソレデハ左様ニ致シマス、特別委員ノ選定ノ仕方ハ如何致シマスカ

○末弘委員 特別委員ノ選定方ハ會長ノ御指名ニ願ツテ、委員ノ數ハ十五名位デ如何デセウ

○小平幹事 先例ハ十五名デアリマシタ

○末弘委員 ソレデハ先ノ例ニ從ツテ十五名ニ……

○山本會長 委員ノ數ハ十五名、會長指名デ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○山本會長 ソレデハ左様ニ致シマス——私カラ委員ノ氏名ヲ申上ゲマス

長島委員 東 委員 矢作委員 佐藤委員 末弘委員 堀田委員
鶴澤委員 那須委員 岩田委員 富田委員 安藤委員 岡田委員
犬塚委員 濱田委員 山岡委員

此諸君ニ御願ヒ致シマス

○小平幹事 從來ノ特別委員會ニハ特別委員デナイ方モ出テ、色々参考ニナル事ヲ御述ベニナルヤウニナツテ居リマスガ、今度ハ如何デアリマセウ

○山本會長 今度モ左様ニ願ヒタイ、委員外ノ諸君モ御意見ノアル諸君ハ御出席下サツテ、御發議ヲ願ヒタイ、サウシテ十分ニ攻究シテ戴キタイ

○小平幹事 特別委員ノ方々ハ今日御殘リニナツテ、方針ヲ決メテ戴キタイト思ヒマス

○山本會長 ソレデハ今日ハ是デ閉會致シマス、特別委員ノ諸君ハ一寸後へ御殘リヲ願ヒマス

午後二時五十五分 散會

(第三日)

開 期 昭和二年十二月二十二日

場 所 麴町區富士見町農林大臣官舎

出席者 山本會長

犬 塚、矢 作、岩 田、淺 田、池 田、増 田、長 島、
松 村、阿 部、鶴 澤、菅 原、末 弘、山 岡、佐 藤、
堀 田、富 田、長 岡、那 須、東 郷、小 西、鹽 澤、
田 邊、安 藤、岡 田ノ各委員
小 平、重 政ノ各幹事

開 會

一 特別委員長ノ報告

二 答申ニ關スル審議

三 答 申

四 第五回總會(第三日)議事速記録

午後二時四十五分 開議

○山本會長 ツレデハ是ヨリ開會致シマス、特別委員長ノ御報告ヲ願ヒマス

○犬塚委員 特別委員會ノ結果ヲ御報告致シマス、特別委員會ハ十二月ノ五日ニ第一回ヲ開キマシテ、前後通ジマシテ五回開會致シマシタノデアリマス、第一回ヨリ第三回マデハ諮問案ノ大體及各章ニ付テ各委員ノ方々ヨリ詳細ナル質問ガアリ、之ニ對シマシテ幹事其ノ他ノ諸君ヨリ又詳シク應答ガアツタノデゴザイマス、其ノ間自然各委員ニ於カレマシテモ、間接或ハ直接ニ其ノ所見ヲ開陳セラレマシテ、略々諮問案ニ付テ問題トナルベキ事項ノ表現ヲ見マシタノデアリマス、仍テ第四回、十二月九日ノ委員會ニ於キマシテ、特別委員會ニ於テハ質問終了ノ後小委員七名ヲ指定致シマシテ、之ニ諮問案ヲ付託シ答申ノ原案ヲ作製スルコトヲ委託致シマシタ次第デゴザイマス、小委員會ハ前後確カ五回ト存ジマス、五回開會致シマシテ、何レノ會ニ於キマシテモ、毎回殆ド點燈時マデ小委員ノ方々ガ熱心ニ諮問案ノ諸項ニ付テ御考究ニ相成ツタノデアリマス、其ノ間各委員ニ於カレマシテハ、其ノ意見ヲ忌憚ナク自由ニ放膽ニ述ベラレマシテ、互ニ其意見ヲ闘ハシ、又法律ニ關係致シマシタ諸項ニ付キマシテハ、最モ細心ニ最モ詳細ニ其ノ専門ノ方々ニ於カレマシテ、仔細ノ研究ヲ遂ゲラレマシタノデゴザイマス、御承知ノ如ク委員中ニハ農政及農事經濟ニ精通セラレタ所ノ諸君モ列シテ居ラレマス、是等ノ諸君ニ於テハ又農村ノ實際ノ事情ヲ盡シ、種々ノ場合ヲ想像セラレマシテ、如何ニシテ之ニ法規ノ適用ヲ適當ナラシムルカト云フヤウナ諸點ニ付テハ、最モ慎重ナル審議ヲ加ヘラレマシタ次第デゴザイマ

ス、其ノ結果得マシタ所ノ諮問事項ニ對スル答申ノ要項ハ、即チ今日特別委員會ノ決議ト致シマシテ報告致シマスル原案ト相成ツタ次第デゴザイマス、而シテ小委員會ハ去ヌル二十日ニ特別委員會ニ對シマシテ其決定ノ次第ヲ報告致シマシタ、委員會ニ於キマシテハ小委員ノ報告ヲ仔細ニ審議セラレマシテ、希望事項ニ關スル件ニ付テ其ノ配列ヲ變へ、聊カ字句ノ修正ヲ加ヘラレマシタダケデ、何等ノ修正ヲ見ズシテ滿場一致ヲ以テ小委員會ノ報告ヲ可決セラレマシタ次第デアリマス、即チ其ノ可決ノ結果ガ今日諸君ノ御手許ニ廻シテアリマス所ノ特別委員會ノ決議報告ト相成ツタ次第デアリマス、小委員會ニ於キマシテモ、又特別委員會ニ於キマシテモ、農村ノ現状ニ照シテ自作農創定事業ノ一層規模ノ大ナル施設ヲ要スル、而シテ之ニ付テハ政府ガ十分ナル助成ヲスルコトガ必要デアルト云フ點ニ付キマシテハ、各委員一致ノ意見デアリマシタ、而シテ是ガ助成ノ方法等ニ付キマシテモ種々審議ヲ盡シマシタガ、諮問案ヲ起案サレマシタ所ノ幹事其ノ他ノ説明ヲ聽キ、又委員ニ參加サレマシタ所ノ政府當局ノ意見等ヲ聽キマシテ、諮問案ノ骨子ニ於テハ之ヲ是認スルト云フニ一致致シマシタノデアリマス、隨テ修正スベキ點トシテ答申スル事項ハ、多クハ法律關係ニ屬スルノデアリマス、其ノ法律關係ニ屬シマス事項ノ中ニハ、之ヲ議定致シマシタ理由ハ、或ハ法文ヲ簡明ナラシメ、或ハ法律ノ精神ヲ明確ナラシメル、或ハ又此法案ノ實行ニ當リマシテ公正ト圓滿トヲ期スルガ爲ニ或ル事項ヲ補充致シマス、即チ農地委員會ニ關スル修正ノ如キガ其例デアリマスガ、凡ソ是等ノ大體理由ヲ以テマシテ、十二項

ニ亙リマシテ修正セラル、コトヲ適當ト認ムル箇條ヲ決議致シタノデアリマス、委員會ハ小委員會ノ報告ニ基キマシテ、最後ニ附帶希望トシテ二事項ヲ附加致シマシタ、其ノ第一ハ「自作農地ニ付テハ年賦支拂ヲ終ル迄ハ小作ノ場合ニ比シテ租稅其ノ他ノ公課ノ負擔ヲ重カラシメサル様適當ノ保護ヲ加ヘラレムコトヲ望ム」、是ハ自作農ヲ創定致シタ後ニハ之ヲ撫育シテ行クコトガ必要デアアル、之ヲ撫育シテ參リマスニハ此處ノ希望決議ニ述ベタル如ク、其ノ負擔ヲ考慮致シテ之ヲ助成スルノ精神ヲ徹底スルコトガ必要デアアル、斯ル趣意ヨリ決議致シマシタ事項デアリマス、ソレカラ第二ノ小作法ニ關係致シマスル附帶希望ハ、是ハ一ツハ此小作調査會ニ於テ曩ニ主務大臣ノ諮問ニ依リマシテ、緊急施設ヲ要スルモノト致シテ小作法ノ要綱ヲ答申致シマシタ、此答申ニ基イテ小作法制定ヲ實現致シタイト云フノガ此決議ノ目的ノ一ツデアリマス、又他ノ理由ハ自作農地法ト相伴ヒマシテ、兩々相助ケテ將來農村ノ安定ヲ圖ラナケレバナラヌト云フノガ理由ノ第二デアリマス、以上ノ理由ヲ以チマシテ此附帶希望決議ヲ決定致シマシタ次第デアリマス、特別委員會ノ經過竝ニ結果ノ大體ハ只今御報告致シタヤウナ次第デアリマス、此決議ハ特別委員會ニ於テ前ニ申述ベマシタ如ク、滿場一致ヲ以テ可決致シマシタ次第デアリマスルカラシテ、本會ニ於キマシテモ翼クバ諸君ノ御採用ヲ希望致ス次第デゴザイマス

○山本會長 一寸十五分間ばかり用ガアリマシテ中座致シマスカラ、犬塚委員ニ代理ヲ御願致シマス

〔山本會長退席犬塚委員代リ着席〕

○犬塚會長代理 ソレデハ代理ヲ致シマス、特別委員會ノ決議ヲ議題ニ供シマス、御質問ガゴザイマスレバ……

答申ニ關スル特別委員會ノ決議事項

自作農地ノ創設ハ我國農村ノ現狀ニ鑑ミ政府ノ助成ニ依リ速ニ規模ヲ擴張シ之ヲ實施スルノ必要アリ而シテ本事業實施ニ付テハ諮問法案ノ如ク農地金庫ヲ設ケ農地債券ヲ發行セシムルノ方法ニ依リ可然ト認ムルモ法案ニ對シテハ左ノ修正ヲ加フルヲ適當ナリト認ム

一 自作農地ノ維持ハ創設ニ進スヘキ場合ニ限ルノ趣旨ヲ以テ左ノ如ク改ムルヲ適當ト認ム（案第一條第二項參照）

自作ノ目的ヲ以テ土地ヲ購入シタル者カ其ノ購入代金ノ爲ニ負擔シタル低當債務ハ創設ニ進スル契約ヲ締結スルコトニ依リテ之ヲ消滅セシメ得ルコト

二 年賦金ノ期限前ノ支拂ハ命令ノ定ムル條件ニ合致スルトキハ之ヲ認ムヘキ趣旨ヲ以テ左ノ如ク改ムルヲ適當ト認ム（案第三條第二項參照）

命令ノ定ムル所ニ依リ期限前ニ未支拂年賦金ノ全部又ハ一部ノ支拂ヲ爲シ得ルコト

三 農地委員會ヲ設ケ之ヲシテ自作農地ノ價格、創設者又ハ維持者ノ資格其ノ他創設維持ニ關スル重要事項ヲ慎重ニ調査審議セシムルコトトシ其ノ旨法律ニ明定スルノ要アルモノト認ム（案第四條第五條參照）

四 農地金庫ニ依リ創設維持シタル自作農地ニ準スルモノハ簡易生命保險積立金及之ニ準スル資金ノ運用ニ依リ國庫補助金ノ交付ヲ受ケテ創設維持シタル自作農地ニ限ルノ趣旨ヲ明ニシ且農地金庫ニ依ル自作農地ニ關スル規定トハ分離シテ之ヲ規定スルヲ可ナリト認ム（案第七條參照）

五 自作農地ハ之ヲ「自作以外ノ目的ニ供ス」ルコトヲ得サルノ字句ニ改メ自作農地讓受人ノ權利義務ノ承繼ニ關スル規定ハ之ヲ命令ニ定ムルヲ可ナリト認ム（案第八條參照）

六 破産ノ場合ニ於テモ差押ノ場合ト同様ニ之ヲ自作農地解消ノ原因ト爲スヲ適當ト認ム（案第十一條參照）

七 自作農地ニ關シテハ民事訴訟ノ手續ニ依ル前ニ成ル可ク農地委員會ニ於テ簡易ニ調停セシムルコトヲ適當ト認ム（案第九條參照）

八 農地金庫ノ業務範圍ニ關シ借入金及餘裕金ニ付キ左ノ趣旨ニ依リ規定ヲ設クルヲ適當ト認ム（案第二章第三節參照）

(一) 農地金庫ハ每事業年度内ニ於ケル農地債券ノ償還及利子支拂ニ必要ナル限度ニ於テ借入金ヲ

爲シ得ルコト

(二) 農地金庫ノ餘裕金運用ノ制限ニ付テハ命令ヲ以テ之ヲ定ムルコト

九 農地金庫カ未支拂年賦金ノ支拂方法ノ變更ヲ爲シ得ル旨ノ規定ハ左ノ趣旨ニ改ムルヲ適當ナリト認ム（案第三十六條參照）

農地金庫命令ノ定ムル已ムヲ得サル事由ニ依リ未支拂年賦金ノ支拂方法ヲ變更セムトスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受クルコト

十 農地債券ノ償還ニ付テハ抽籤償還ノ外ニ買入銷却ヲモ爲シ得ルコトトスルヲ適當ト認ム（案第四十八條參照）

十一 農地債券ノ利子ニ對シテハ所得稅ヲ免除セサルヲ適當ト認ム（案第五十二條參照）

十二 自作農地法實施前ニ自作農創設維持補助規則ニ依リ創設維持シタル自作地ハ本法ニ依ラシムルノ必要ナキモノト認ム（附則第六項、第七項參照）

附帶希望決議

一 自作農地ニ付テハ年賦支拂ヲ終ル迄ハ小作ノ場合ニ比シテ租稅其ノ他ノ公課ノ負擔ヲ重カラシメサル様適當ノ保護ヲ加ヘラレムコトヲ望ム

二 政府ハ速ニ小作法ヲ制定實施セラレムコトヲ望ム

○山岡委員 私ハ特別委員會ニ於テ御決議ニナツタモノヲ通讀致シマシテ、洵ニ適當ナ案デアルト考ヘマス、私モ特別委員デアリマシタガ、最後ノ日ニハ刑訴委員會ガアリマシテ、丁度時間ガ同ジニナリマシタノデ已ムヲ得ズ缺席ヲ致シマシタ、尙ホ一寸申上ゲタイコトガアリマスカラ、此機會ニ於テ一言其ノ點ヲ申上ゲヤウト思ヒマス、ドウカ其ノ點ハ御許シテ願ヒタイト思ヒマス、無論私ハ特別委員トシテ此事ニ付テハ贊成ノ一人デアリマス、此案ガ法律的ニモ經濟ノ上カラ見テモ非難ナキ立派ナモノトシテ生レ出ルコトヲ希望致ス爲ニ一ニ申上ゲタイ、其ノ一ツトシテ、此農地委員會ヲ御設ケニナツタノハ洵ニ此案トシテ餘程強キ意味ガ加ハルコト、存ジマシテ特ニ結構ノコト、考ヘマス、唯々其ノ事ニ關聯致シマシテ此項目ノ七デアリマスガ、自作農地ニ關シテハ民事訴訟ノ手續ニ依ル前ニ、成ル可ク農地委員會ニ於テ簡易ニ調停セシムル、斯ウ云フ事ガアルノデアリマス、此包容シテ居ル所ハ勿論廣イノデアリマシテ、今直ニ此内容ガ決マル譯デハナイカラ、此字義ニハ別ニ異存ハ申上ゲマセヌ、唯々之ヲ單純ナル調停ニアラズシテ、其ノ調停ノ成立スル場合ニ於テ、委員會ニ於テ裁決ヲスル、其ノ委員會ノ爲シタル裁決ニ付テハ三十日以内ニ不服ヲ唱ヘナケレバ、其ノ裁決ハ矢張有效ノモノニシタイ、斯ウ云フ風ニ致シタイノデアリマス、其ノ法制ハ外ニモ行政裁判ニ關係致シマスコトニ幾ラモアルノデアリマス、不服アル者ハ三十日以内ニ異議ヲ唱ヘルコトガ出來ル、斯ウシテ置ケバ私權ノ保護ハ十分出來

マス、此法制ガ愈々出來マス時ニハ、サウ云フ具合ニ立案致スコトヲ希望致ス次第デアリマス、ソレカラ此破産ノ場合ヲ差押ノ場合ト同様ニ致シマシテ、第十一條ニ、農地ノ解消ノ原因トナツテ居ル場合、此報告ノ第六ニナツテ居リマスガ、破産ノ場合ハ勿論解消スルノハ結構デアリマスガ、差押、破産ト云フモノハ人爲的ニ當事者ガ共謀シテヤルト云フヤウナコトハ、ソレハ出來マセヌ、大體出來ナイコトデアリマスガ、公正證書ナドヲ作ツテ農地ヲ解消セシメルト云フヤウナコトハ決シテ出來ナイコトデハナク、幾ラデモヤラウト思ヘバ出來ル譯デアリマス、ソレデアリマスカラ私ハ此原案トシテ寧ロ第九條ノ方デ、其ノ土地ハ差押ガアレバ農地金庫ノ方ニ歸屬スル、斯ウ云フ行方ノ方ガ宜クハナイカト云フ考ヲ持ツテ居ル譯デアリマス、ソレハ即チ差押ハ自由ニ許スノデアリマス、決シテ出來ナイノデナイカラ差押ハ許ス、サウシテ其ノ差押ノアリマシタ場合ニハ、農地金庫ノ考ニ依ツテ九條ニ依ツテ所有權ヲ取得スルコトガ出來ル、サウ云フコトニナツタ場合ニ其結果ハドウナルカト言ヘバ、農地金庫ハ先取權ガアリマスカラ、其ノ先取權ニ依ツテ擔保トシテ居ル金額ハ農地金庫ガ取ツテ、其ノ殘額ヲ差押者ニ交付スルカラ少シモ差支ナイ譯デアリマス、唯々ソコニ問題ニナルノハ、土地ノ價額ハ命令ノ定ムル所ニ依ツテ決マルノデアリマスカラ、大體此行政權ニ依ツテ土地ノ價格ヲ判斷スルコトニナリマス、故ニ此契約ニ何等ノ關係ノナイ人ニ依ツテ、行政權ニ依ツテ土地ノ價格ヲ決メルノデアリマスカラ、私權ノ保護ニ於テ多少ソコニ問題ガアリマス、ソレ故ニ是ハ土地收用法ノ價格ニ付テ議論

ガアレバ民事訴訟ニ於テ出來ル、其ノ行方デ價格訴訟ヲ許スト云フコトニナレバ、其點ハ解決出來ルト思ヒマス、サウ云フ考ヲ一ツ持ツテ居ルノデアリマス、唯第十一條テ解消スルガ宜イカ、或ハ金庫ニ歸屬セシメルコトガ宜イカ、是ダケハ多少尙ホ考慮ヲ要スルト考ヘマスノデ、法制トシテ法文ニ御書キニナリマス場合ニ於テ、之ヲモ御考慮ヲ煩シタイト思フノデアリマス、今一ツハ經濟問題デアリマス、證券ハ、記名式ヲ所有者ノ請求ニ依リ之ヲ無記名式トナスコトヲ得、斯ウ云フコトガ矢張考ヘテ宜イ問題ト思フノデアリマス、此事ハ屢々私ハ此席ニ於テ證券ヲ土地ト結付ケテ、土地ト云フモノヲ兎ニ角基本ニ置イタモノデアルカラ、ソレヲ市場ニ持出シテ公債ト同等ノ働キヲサセルト云フコトハ目的デハナイノデアリマス、其ノ證券ト云フモノハ土地的ニ考ヘルノガ本當ハ宜イノデアアル、斯ウ云フコトヲ屢々申上ゲタノデアアル、其ノ意味ハ、公債ヲ發行シテ市場ニ二十何億ト云フ公債ガ出ルト云フコトハ、金融方面ニ於テ確ニ色々ナ議論ノアルコトデアラウト思フノデアリマス、ソレデアリマスカラ成ル可ク其ノ公債ト同等ノ作用ノナイヤウニスルト云フコトガ肝要デアラウト思フノデアリマス、是故ニ記名式ヲ原則トシテ、僅カノ例ヘバ一萬圓位ノモノヲ農地ニスル地主ニ對シテハ記名式ヲ交付スル、澤山ノ金額ニナル場合ニハ其ノ幾分ヲ無記名式ニスル、澤山ノ金額ヲ記名式ノモノデ持ツテ居ツテハ融通ニ不便デアリマシテ、ソレハイケマセスカラ、澤山ノ場合ニハ無記名式ニスル、サウ云フ風ニシテ、兩々相俟ツテ此市場ニ出マスモノガ、言ハハ半分位ノモノガ市場ニ出ル、半分ハ矢張記

名デアツテ、土地ヲ簡易ニ銀行ナドニ擔保ニスル、此記名式ニ依ツテ擔保ニスルト云フ位ノ所ニシマスレバ、證券ハ直ニ市場ニ出テ來ナイト思ヒマス、公債金融關係ニ於テ洵ニ好キ働キヲスルノデハナイカ、斯ウ云フヤウニ考ヘル譯デアリマス、其點モ適當ニ御考慮ヲ煩シタイト思フノデアリマス、唯々左様ニ御考慮ヲ當局ニ煩スト云フコトダケヲ申上ゲルノデアリマス、此報告書ニ對シマシテハ贊成ノ一人デアリマス、殊ニ此自作農地法案自體ニ對シマシテハ、其ノ際ニ申上ゲマシタヤウニ、尠クトモ是ガ成立スルコトガ今日ノ社會狀態ニ於テ必要ナリト私ハ深く考ヘルノデアリマス、實ニ今日ノ地方ニ於キマスル社會問題ハ、モウコ、ニ來テ居リマス、モウ非常ニ切迫シテ居ルノデアリマス、殊ニ岐阜縣ノ如キハ丁度今其ノ争ノ最中デアアル、岐阜縣ノ一部分デアリマス、全部デアリマセヌガ、非常ニ争ツテ居ル、立毛ヲ差押ヘル、之ヲ競賣スル、所有權ガ移轉シタ、借、刈取ニ行クト澤山ノ人ガ棒ナドヲ擔イデ來テ妨害シテ刈ラセナイ、斯ウ云フコトデ殆ド所有權ヲ持ツテ居ツテモ何等ノ働キモセヌヤウニナツテ居ル、是等ノ事ハ此間ノ新聞ニ出テ居ル、アノ時ハ二千人或ハ五千人集ツテ焼打ヲシタト云フコトデアリマスガ、ソレハ全然虛偽デアリマス、其ノ時ニ偶々或ル者ガ火ヲ附ケタ疑ガアル、ソレモマダハツキリ致シマセヌ、唯々ソレニ結付ケテ焼打ナド、云フ大キナコトヲ傳ヘタ、甚ダ遺憾ニ存ジマス、其群衆ハ直グニ解散シマシタ、決シテ今ノ所恐ロシイ危險狀態ハナイノデアリマス、洵ニ幸ヒデアリマスケレドモ、併ナガラサウ云フ狀況ニ在ル場合ニ於テハ、速ニ此自作農地法ト云フモノ

ヲ作ツテ、大地主ガ無クナルヤウニ致スト云フコトガ至ツテ肝要ナル、ソレニハドウシテモ斯ウ云フ法案ニ依ツテ國家ガ介入シテ、地主ト小作ノ間ヲ仲介スル所ノ機關ガナケレバ出來ナイ、地主ニシテモ手放シタクテモサウ云フ機關ガナケレバ手放セナイ、依然トシテ爭ヲ續ケテ行クノデアリマスカラ、普選ガ通過シテ民衆運動ノアル時代ニ、サウ云フ所ノ解決ノ出來ナイノハ、國政ガ滑カニ行カナイ所以デアリマスカラ、經濟上ノコトモ十分斟酌シ、法制ノコトモ十分研究シテ、而シテ今日ノ社會問題ヲ解決スル所ノ最重要ナル法案ヲ成立致サシメルヤウニ致スコトガ私ノ希望デアリマス、今日ハ刑訴委員會ヲ今ヤツテ居リマスノデ、中座致ス譯デアリマスガ、是ダケヲ申上ゲテ、此案ニハ心カラ賛成致ス次第デアリマス

○犬塚會長代理 山岡委員ニ一寸申上ゲテ置キマスガ、申スマデモナク御説ノ通り此案ハ法律、經濟社會問題ニ亘リマス重大ナル案デゴザイマスカラ、小委員會等ニ於キマシテ審議ノ際ニモ、小委員一致、若クハ會ノ意見ト云フ體ハ備ヘマセヌデシタケレドモ、各員ガ考究サレマシタ諸點ニ付キマシテ各員ノ希望ト致シマシテ、當局者ニ將來ノ希望ヲ述ベマシタ點ガ多クアリマスノデ、即チ山岡委員ノ只今ノ御氣付ノ點モソレダト思ヒマスノデ、當局者ノ慎重ナル考慮ヲ求メマシテ宜シウゴザイマスト存ジマス、又今御述ベニナリマシタ事項中ニ付キマシテ既ニ前回ニ於テ御述ベニナリマシタ事柄ガアリマスガ、ソレ等ハ小委員會等ニ於キマシテモ十分ニ審査サレマシテ、而シテ山岡委員ノ御趣意ノ在ル

所ハ委員總體ニ於テ認メテ居リマシタケレドモ、尙ホ考究スベシト云フヤウナ諸點モアリマシテ、是等ハ未決ノ問題トナツテ居ル事項デアリマス、斯ノ如キ今迄ノ經過デアリマスカラシテ、其邊十分ニ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス、有益ナル御意見ノ御陳述ニ對シマシテハ感謝ノ意ヲ表シマス

○岡田委員 一寸御伺ヒ致シマスガ、今此ノ議題デアリマスルガ、直接デハナイガ、少シ重大ナ關係ガアルノデ、保險局長ニ一寸質問シテ御高見ヲ伺ヒタイコトガアルノデアリマスガ、今申シテ宜シウゴザイマスカ

○犬塚會長代理 宜シウゴザイマス

○岡田委員 ソレデハ私ハ一寸保險局長ニ御伺ヒシタイト思ヒマス、ガソレハ先日帝國農會デ道府縣農會ノ會長會議ガアリマシタ、其際ニ此自作農地創設ノ問題ガ大分研究サレ協議サレ、非常ナ熱心ヲ以テ此農林省ノ計畫ヲ賛同シ實現ヲ要望シタヤウナ次第デアツタラシイノデアリマス、其ノ決議ヲ以テ關係當局、政黨等ニ向ツテ、全國農業者ノ代表トシテ意思ヲ聴キ且ツ陳情シテ廻ツタノデアリマスガ、其際ニ大藏大臣ハ自作農創設其ノモノハ無論結構デアアル、異議ハナイガ、併シ農林省ノ今研究中ノ農地法案ト云フヤウナモノハ俄ニ賛成ハ出來ナイ、ソレヨリカハ自分ノ考ニ依ルト、既ニ始メテ居ル簡易保險ノ積立金ガ五千萬圓位ハ融通ガ出來ル、其ノ方デヤツタ方ガ簡便デ宜イデハナイカト云フヤウナ御意見デアツタサウデアリマス、ソレデ陳情者モ、ソレハ結構デアリマスガ、併シアノ積立金ニ

ハ色々條件ガアツテ面倒デイカヌガ、サウ云フヤウナ點ハドウナリマスカト聽クト、マアサウ云フコトハ便宜ヲ圖ルト云フコトデアツタ、ソレデハ五千萬圓位ハ融通出來マスカト尋ネルト、ソレハ出來ルト云フ御話デアツタサウデアリマス、ソコデ陳情委員ガ歸ツタノデ、其ノ報告ナリ模様ヲ伺ツテ見マスト、大藏大臣ハ尠クトモ其ノ當時農林省ノ研究中ノ此案ニハ賛成デナイラシイ、併ナガラ簡易保險ノ積立金ヲ五千萬圓マデハ出セルカラ、ソレデヤル方ガ宜イト云フ意見ラシイ、斯ウ云フコトヲ言ツテ居リマス、併シ其結果之ニ列席シマシタ各農會長ノ意思ハ別ニ變リモシマセヌ、矢張全國ノ農會長ノ意見トシテハ、此農林省ノ提案ヲ是非實現スルヤウニシタイト云フノガ第一ノ希望デゴザイマスルガ併ナガラ一面ニハ簡易保險ノモソウ云フ風ニナルラシイ、萬一何カノ都合デ是ガイカナカツタナラバ、簡易保險ノハ既ニ端緒ヲ開イテ居ルノデアルカラ、出來ルダラウト云フ考デ歸ツタヤウデアリマヌガ、是ハ私共此案ノ委員ノ一人デアリ、ノミナラズ始終地方ノ農業者ニ向ツテ斯様ナコトヲ指導シタリ獎勵シタリスル關係上非常ニ重要ナコト、思フ、アノ積立金ガ五千萬圓位ハ此自作農創設ニ容易ニ流用ガ出來ルモノデゴザイマセウカ、其ノ邊ヲ簡易保險局長ノ御意見ガ伺ヘレバ結構デアリマス

○田邊委員 只今岡田サンヨリ御尋ネガアリマシタノデアリマスガ、簡易保險ノ積立金ノ運用ニ付キマシテハ、運用委員會ガアリマシテ、運用委員會ノ決議ヲ經ナケレバ運用ガ出來ナイノデアリマスルカラ、是カラ先ノコトヲ確定的ニ申上ゲルコトハ當然出來ナイコトデアリマス、唯々私ガ關係シテ居

リマス立場カラ、是迄ノ狀況ヨリ推測リマシテ、將來ハドウナルデアラウカト云フ大凡ノ見込位ハ申上ゲルコトガ出來ルノデアリマス、ドウカ其ノ御積リデ御聽取ヲ願ヒタイトデアリマス、今日迄ハ簡易保險ノ積立金カラ、自作農ニ廻シテ居リマスモノガ約三千萬圓程ニナツテ居ルノデアリマスルガ、一箇年ニ出シマシタノハ此昭和二年度、本年度ノ一千萬圓ガ一番多イノデアリマス、是カラ先キ矢張漸次幾ラカ宛ハ増加シテ行クコト、思フノデアリマスガ、餘リ多額ノ増額ヲ一時ニ見ルト云フコトハ、到底困難ナコトデアリマス、其ノ事情ハ、御承知ノ通り簡易保險ノ積立金カラ、自作農ニ貸シマスモノハ、利子ガ四分八厘トナツテ居リマシテ、之ニ國庫ノ補助ガ一分三厘アリマスカラ、實際借リマス者ハ三分五厘ノ利子ヲ拂ツテ居ルコトニナツテ居ルノデアリマスガ、簡易保險局ニ這入りマス利子ハ四分八厘デアリマス、所ガ簡易保險事業ノ確立ト云フ立場カラ申シマシテ、積立金ノ運用ハ成ルベク利率ヲ高ク廻シタイトデアリマシテ、本年度ノ利廻ハ五分九厘位ニナツテ居ルノデアリマス、是ハ年ニ依リマシテ幾ラカ高低ハアルノデアリマスルガ、成ルベク利率ノ高イモノニシタイトデアリマスルガ、尠クトモ五分七厘位ノ見當ニドウシテモ全體ノ利廻ヲシナケレバナラヌノデアリマス、サウ致シマスト、此四分八厘ノ利廻デ自作農ニ廻スモノヲ、サウ多額ニ増スコトハドウシテモ出來ナイ、是ガ一ツノ理由デアリマス、ソレカラモウ一ツハ、簡易保險ノ方デハ資金ノ還元ト云フコトヲ非常ニヤカマシク申シテ居ルノデアリマシテ、保險事業ノ成績ノ擧ツタ方ニ餘計貸ス、餘リ擧ラナイ方ニハ少ク

スルト云フコトヲ大體ノ原則トシテ居ルノデアリマス、是ハ要スルニ保險ノ積立金ハ加入者ノ金デアリマスカラ、サウシナケレバナラヌモノトナツテ居ルノデアリマス、而シテ今日迄ノ保險成績カラ申シマス、都市ト町村ニ分ケマス、都市ガ大體ノ四割、町村ガ六割ト、斯ウ云フヤウナ成績ニナツテ居ルノデアリマス、積立金ヲ貸付ケルノニ付キマシテモ矢張其ノ比例デ、都市ガ四割、町村ガ六割ト云フ比例ヲ保ツテ貸シテ居ルノデアリマス、サウシテ此町村ノ中ニハ所謂商工ノ町村モ少クナイノデアリマシテ、町村ニ貸付ケル全部ヲ自作農ニ廻スコトハ無論困難デアルノデアリマシテ、今日迄ノ經過ハ大體此町村ニ廻シマスモノ、三割五分ガ自作農ニ廻ツテ居ル、六割五分ハ其レ以外ノ事業ニ貸付ケテ居ルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ大體狀況ニナツテ居リマシテ、ソレガ公平ヲ得テ居ルモノト私共ハ信ジテ居ルノデアリマス、サウ致シマシテ此積立金ヲ運用致シマス總額ガ、年々下ノ位増シテ行クカト申シマス、本年度ハ丁度七千萬圓ニナルノデアリマスルガ、其ノ七千萬圓ノ内五千五百萬圓ヲ一般ノ貸付ニ致シテ居リマシテ、其ノ五千五百萬圓ノ内ノ一千萬圓ヲ自作農ニ廻ス、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、來年度ハ大體此七千萬圓ガ九千萬圓位ニハナルデアラウト云フ見込ミテ居ルノデアリマス、九千萬圓ニ總額ガナリマスレバ、大體七千萬圓位一般ノ貸付ニ廻セル、サウシテ從來ノ比率カラ參リマス、自作農ニ廻スモノガ一千三百萬圓位ノ大體ノ見當ニナラウ、斯ウ云フ見込ミテ居ルノデアリマス、隨テ此額ハ只今申上ゲマスヤウナ狀況デアリマスカラ、年々増シテハ參ルノデアリマシ

テ、來年ハ本年ノ約三割増スノデアリマスガ、其ノ次ノ年ハソレナラ來年ノ三割増スカト云フト、必シモサウハ行カナイノデアリマス、先ノ事ハ此席デ申上ゲルダケノ、實ハ計算ハ出來テ居ナイノデアリマスガ、大體ソレ位デ御推察ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、隨テ大藏大臣ガ仰セニナツタトカ云フ其ノ五千萬圓ト云フヤウナコトハ、コ、二年ヤ三年デハ實現ハムヅカシイノデヤナカラウカト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、併シ又方針ガ變リマスレバ別デアリマスケレドモ、今日迄ノ方針狀況カラ申シマス、私ガ只今申上ゲタヤウナ狀況ニ相成ツテ居リマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

○那須委員 今ハ逐條ノ質問デゴザイマス、總括的ノ意見ヲ述ベテモ宜シウゴザイマス

○大塚會長代理 全體ニ付テモ宜シウゴザイマス、逐條デモ宜シウゴザイマス

○那須委員 意見ヲ述ベル機會ヲ後デ御與ヘヲ願ヒマス

○大塚會長代理 質問ガ終リマシタ所デ、各項ニ就テ討論決議ヲシテ行キタイト思ヒマス、其際ニ御述ベニナツテモ宜イシ、又今御述ベニナリマシテモ差支アリマセヌ

○菅原委員 是ハ逐條的ニ委員ノ方カラノ御説明ハナイノデアリマセウカ、モウ刷物ヲ見レバ分ルカラト云フ譯デスカ

○大塚會長代理 サウ云フ譯デハアリマセヌガ、委員長ノ方カラハ省略シタノデアリマスガ、御希望ニ依リマシテ逐條ニ這入りマシテ、各項々々ニ就テ委員ノ方カラ説明致シマシテ、此處デ討論ヲ願ツ

テ、御意見ノ發表ヲ願ツテ、サウシテ決シテ行キタイト思ヒマス

○菅原委員 一應説明ヲ願ツタ方ガ宜イダラウト思モマス

○犬塚會長代理 サウ致シマス、議事ノ御便宜ノ爲ニ是カラ各條ニ這入りマシテ、其ノ各條ニ就テ幹事ノ方カラ修正ノ趣意ヲ御説明ヲ致シテ、ソレニ付テ質問ト討論トヲ同時ニ行ツテ參リマスガ、御差支アリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○犬塚會長代理 然ラバ左様ニ致シマス、前文並ニ第一項、幹事ノ説明ヲ請ヒマス

○小平幹事 一應前文ト第一項ヲ朗讀致シマス

「自作農地ノ創定ハ我國農村ノ現狀ニ鑑ミ政府ノ助成ニ依リ速ニ規模ヲ擴張シ之ヲ實施スルノ必要アリ而シテ本事業實施ニ付テハ諮問法案ノ如ク農地金庫ヲ設ケ農地債券ヲ發行セシムルノ方法ニ依リ可然ト認ムルモ法案ニ對シテハ左ノ修正ヲ加フルヲ適當ナリト認ム

一 自作農地ノ維持ハ創設ニ準スヘキ場合ニ限ルノ趣旨ヲ以テ左ノ如ク改ムルヲ適當ト認ム（案第一條第二項參照）

自作ノ目的ヲ以テ土地ヲ購入シタル者カ其ノ購入代金ノ爲ニ負擔シタル抵當債務ハ創設ニ準スル契約ヲ締結スルコトニ依リテ之ヲ消滅セシメ得ルコト」

○小平幹事 説明ヲ申上グマス、此前文ノ方ハ是ハ説明スル迄ノコトモナイカト思フノデアリマスガ、我國ノ現在ノ農村ノ事情ニ鑑ミテ、自作農地ノ創設ハ小作問題ノ解決トシテ又農村ノ振興安定ヲ圖ル上ニ於テ、最モ有效ナルモノデアルト云フヤウナ御意見デアリマシテ、此事業ヲ相當ノ規模ニ實施スルト云フコトガ洵ニ必要ノコトデアツテ、而シテ政府ハ斯ウ云フヤウナ事業ノ實施ノ爲ニハ國家ノ信用ヲ提供スルナリ、或ハ補助金ヲ支出スルナリ、相當ノ犠牲ヲ拂ツテ、本事業ノ達成ヲ計ルベキモノデアルト云フヤウナ御意見デアツタノデアリマス、而シテ此事業ノ實施方法トシテハ、農地金庫ヲ設ケテ農地債券ヲ發行スルコトノ方法ガ、最モ良案デアルト云フヤウナコトニ意見ガ一致シタ譯デアリマス、尙ホ其ノ實際ノ細カイ點ニ付テハ、左記ノ色々ノ點ニ付テ修正シタ方ガ宜カラウト云フヤウナ御意見ニナツタ譯デアリマス、ソレデ其ノ一ツノ事項ハ創設維持ノ契約、第一條ノ第二項ニ書イテアルノデアリマスガ、是ハ諮問法案ニ於キマシテモ維持契約ハ創設ノ契約ニ準ズベキ場合ニ限ル趣旨デアリマシテ、自作ヲ爲ス目的ヲ以テ土地ヲ購入シタ者ガ、其ノ購入代金ノ爲ニ抵當債務ヲ負擔シタ場合ニ其ノ債務ヲ辨濟スル爲ニ此事業ニ依ツテ助成ヲ受ケテ、債券ノ交付ニ依ツテ此抵當債務ヲ免レシメタ方ガ宜カラウト云フノデ、サウ云フ意味ニ限定シテ一般ノ廣義ノ債務ニハ及バナイコトヲ明ニシタ方ガ宜カラウト、サウ云フ趣旨カラシテ諮問案ノ第一條第二項ノ修正ヲ見ルニ至ツタ譯デアリマス